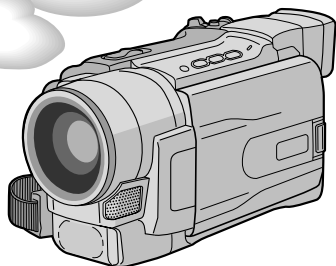
取扱説明書

デジタルビデオカメラ

型名 GR-DV500K

Mini DV NTSC

家族み〜んなで使える
簡単・キレイなデジタルビデオカメラ
楽しみかたがわかる お楽しみガイド 付き

3.5型液晶画面で見やすい

簡単操作で誰でも使える！

デジタルだから高画質！

⚠ ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（32〜33、157〜163ページ）は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LYT0967-001B

お楽しみガイド　目次

取扱説明編　目次

付属品については、6ページをご覧ください。

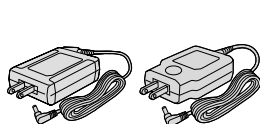
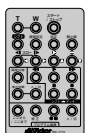
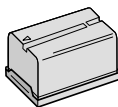
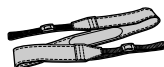
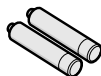
再生

デジタルスチルカメラ

手動

編集

付属品について

本機の付属品をお確かめください。

ACアダプター
AP-V12またはAP-V11

リモートコントロール
RM-V717（リモコン）

バッテリー
BN-V416

ショルダーストラップ

フェライトコア
（別売DVコード用）

単4乾電池（2本）
（リモコン動作確認用）

USBケーブル
長さ：約1.1m

CD-ROM

メモリーカード（8MB）
（ビデオカメラに入って出荷されています。☞56ページ）

レンズキャップ
（取り付け方は☞39ページ）

レンズフード
（ビデオカメラに取り付けて出荷されています。）

AV（映像/音声）コード（φ3.5）
φ3.5ミニプラグ　▶ピンプラグ×3
長さ:約1.5m
ビデオカメラとテレビ、
またはビデオデッキ接続用

編集コード
長さ：約1.5m
自動編集用

S映像コード
長さ：約1.5m
ビデオカメラとS映像対応のテレビ、
またはビデオデッキ接続用

映像機器と接続したときにおきるノイズを軽減するために付属のコードにフェライトコアがつくことがあります。
この場合、フェライトコアのついている側の端子をビデオカメラに接続してください。

フェライトコアの取り付けかた

別売のDVコードをお使いになるときに取り付けてください。映像機器と接続したときにおきるノイズを軽減することができます。

1 両端のストッパーをはずして開く

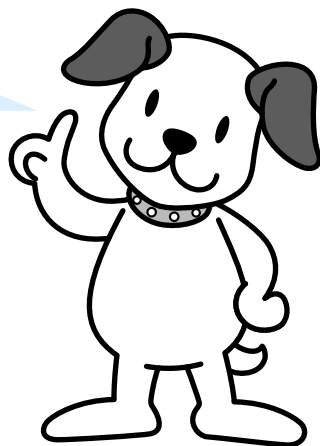
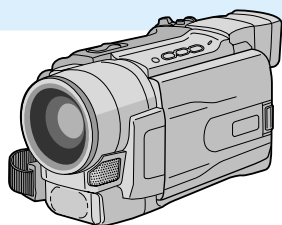
2 フェライトコアにコードを2回巻く
●端子から約3cmの位置にフェライトコアを取り付けます。

3 コードをはさみ、カチッと音がするまで閉じる

■ 接続するときは、フェライトコアを取り付けた側の端子をビデオカメラに接続してください。

お楽しみガイド

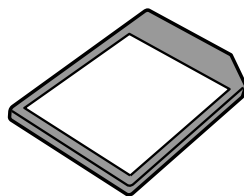
このデジタルビデオカメラの楽しみかたを、僕がご紹介します。

便利な機能や、楽しい使いかたを覚えて、あなたのビデオライフをエンジョイしてくださいね。

この「お楽しみガイド」では、本機の使いかたの簡単操作ガイドや、ビデオライフの楽しみかたなどをご紹介しています。まずはじめにお読みください。

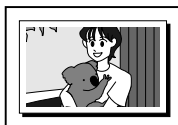
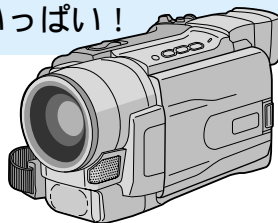
主な特長　ビクターのデジタル

パソコンで画像が遊べる「メモリーカード対応」

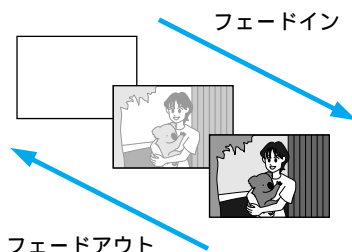
付属のCD-ROMとUSBケーブルを使うとメモリーカードに記録した静止画を簡単にパソコンに取り込めます。

☞ 138ページ

記念日に、育児日記に「静止画モード」

動画の中に、アクセントで静止画（記念写真）を入れることができます。

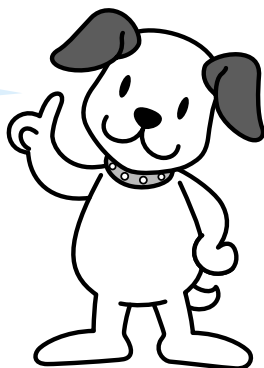
☞ 68ページ

このデジタルビデオカメラは、こんなに便利で楽しい機能がいっぱい！

映像に変化をつけて楽しめる「デジタル演出」

映像に変化をつけてさまざまな演出をほどこした録画や再生ができます。

☞ 114、116ページ

ビデオカメラで楽しさこんなに拡がる！

逆光でも簡単に補正できる「逆光補正」

太陽などで背景が明るい場合に被写体が暗く写ります。逆光補正ボタンを押すだけで暗くならないように補正できます。

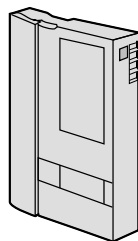
☞ 70ページ

暗いところでもOK!「オートライト」

撮影時にまわりの明るさを感知して、自動的にライトが点灯します。暗い場所でも撮影が可能です。

☞ 67ページ

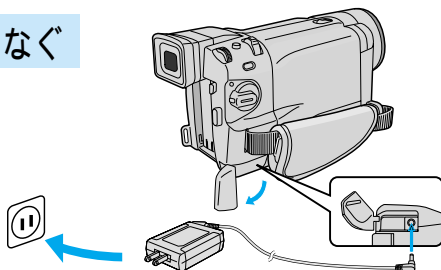
デジタル編集ができる「ＤＶ入力/出力対応」

別売のDVケーブルでDV端子を搭載するデジタルビデオ機器などと接続することで、画質・音声劣化のないダビング編集ができます。

☞ 122ページ

カセットテープにいますぐ撮影してみよう

さっそくカセットテープに撮影してみよう！

必要なもの

本体

ACアダプター

Mini DV（ミニ）
カセットテープ（別売）

2 コンセントに差し込む

1 DC入力端子に差し込む

3 電源を入れる

1 「押ー開」ボタンを押したまま

2 液晶画面を開く

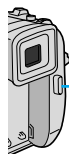
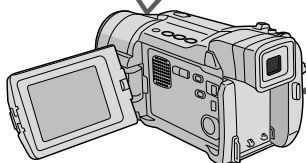
3 ビデオ／静止画スイッチを「ビデオ」に合わせる

4 ロック解除ボタンを押しながら

5 電源ダイヤルを「撮影」に合わせる
電源ランプが点灯し、画面に被写体が映ります。

M
撮影
切
再生

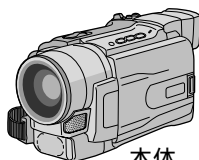
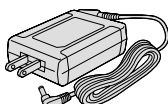
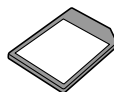
4 撮る

1 撮影ボタンを押す
・撮影が始まります。（画面表示：録画）
・撮影中ランプが点灯します。

2 再度撮影ボタンを押すと、撮影一時停止になります

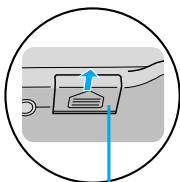
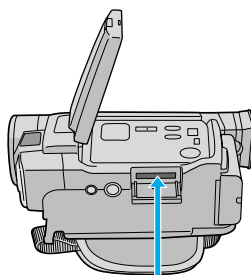
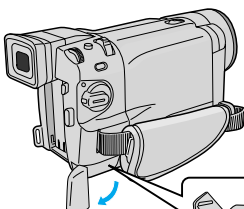
簡単だから、誰にでも操作できるよ！

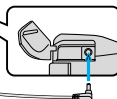
メモリーカードにいますぐ撮影してみよう

さっそく静止画をメモリーカードに撮影してみよう！

必要なもの

本体

ACアダプター

メモリーカード

1 メモリーカードを入れる

1 メモリーカードカバーを開く

2 メモリーカードを入れる

2 電源をつなぐ

2 コンセントに差し込む

1 DC入力端子に差し込む

3 電源を入れる

1 「押ー開」ボタンを押したまま

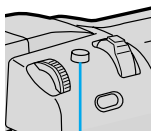
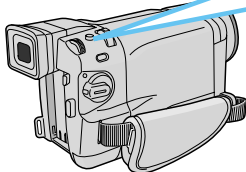
2 液晶画面を開く

3 ビデオ/静止画スイッチを「静止画」に合わせる

4 ロック解除ボタンを押しながら

5 電源ダイヤルを「撮影」に合わせる
電源ランプが点灯し、画面に被写体が映ります。

M
撮影
切
再生

1 静止画ボタンを押す
静止画像がメモリーカードに記録されます。

簡単だから、誰にでも操作できるよ！

いますぐ見てみよう

カセットテープの映像を再生して見てみよう！

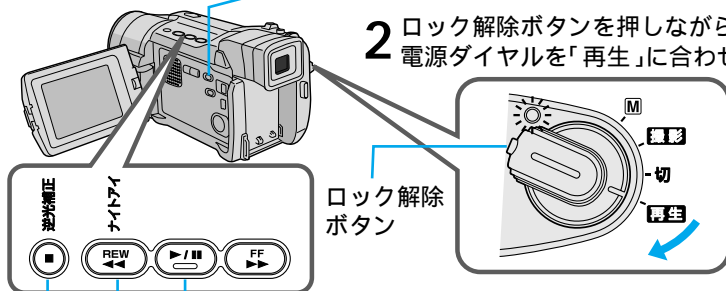
カセットテープを再生する

1 ビデオ／静止画スイッチを「ビデオ」に合わせる

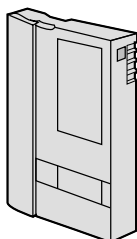
2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「再生」に合わせる

逆光補正
ナイトアイ
REW
FF
M
撮影
切
再生

ロック解除ボタン

停止ボタン

3 巻戻しボタン(REW ◀◀)を押してテープを巻戻す

4 再生ボタン(▶/❚❚)を押す

・再生をやめたいときは、停止ボタン(■)を押します。

メモリーカードの画像を再生して見てみよう！

メモリーカードを再生する

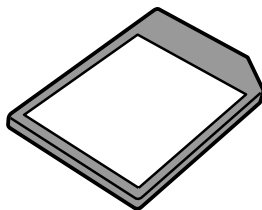
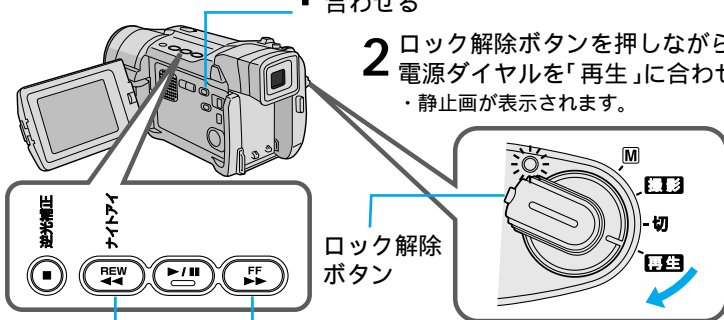
1 ビデオ／静止画スイッチを「静止画」に合わせる

2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「再生」に合わせる

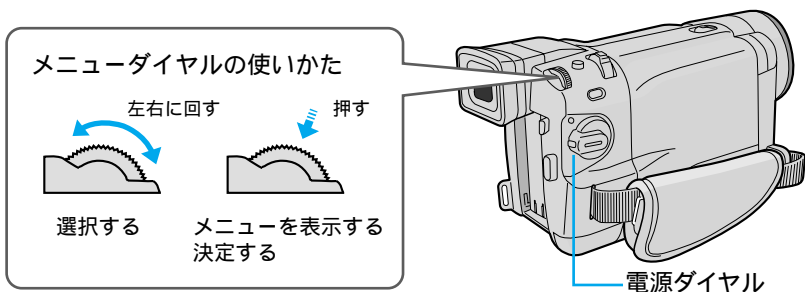
・静止画が表示されます。

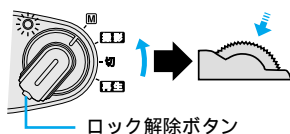
ロック解除ボタン

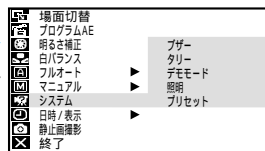
3 巻戻しボタン（REW ◀◀）を押して前の静止画を見る

4 早送りボタン（FF ▶▶）を押して次の静止画を見る

デモンストレーションを見てみよう

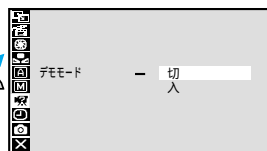
デモンストレーションを見ると主な機能がわかるよ！

本機には、演出効果などの機能を確認するための実演（デモンストレーション）モードがあります。ビデオカメラをお使いになる前に、是非一度ご覧になってください。
お買い上げ時は、「デモモード」の設定が「入」になっていますので、カセットテープを入れずに電源ダイヤルを「撮影」、または「M」に合わせてから約３分間なんの操作もしないと自動的にデモモードが始まります。
デモモードを見終わったら、以下の手順で設定を「切」にしてください。

1 **ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す**

●メニュー画面が表示されます。

2 メニューダイヤルを回して「 システム」を選び、ダイヤルを押す

●システム設定メニューが表示されます。

3 メニューダイヤルを回して「デモモード」を選び、ダイヤルを押す

●「切」と「入」が表示されます。

4 メニューダイヤルを回して「切」を選び、ダイヤルを押す

5 メニューダイヤルを２回押す

メニューを終了し、通常の撮影画面に戻ります。

■デモモード表示中にズームスイッチを動かすなどの操作をすると、デモモードを一時的に中断します。
その後約３分間、なんの操作もしないとデモモードが再開します。

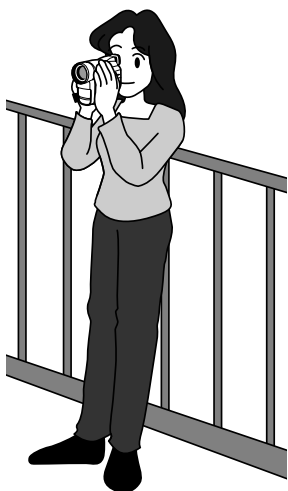
撮影の基本（上手に撮るコツ）

ブレなくてキレイな映像を撮影することができるよ！

わきをしめる

わきをしめて、左手もビデオカメラにそえる。

カメラを安定させる

壁や柱によりかかり、安定させる。

両手でカメラを持つ

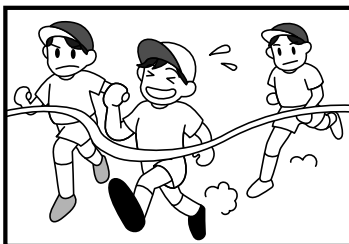
低い姿勢で撮影するときも、わきをしめて、両手でビデオカメラを持つ。液晶画面を上に向けたり、ファインダーを上に向けて撮影すれば地面に咲いている花なども撮影できます。子供を撮るときは低い姿勢で子供の目線で撮りましょう。

高い位置からの撮影

高い位置から撮影する場合は、液晶画面を下に向けて、撮影する。

ビデオカメラを動かさない

安定した映像で撮影するためには、ビデオカメラを固定して撮ります。

左右に動かすとき（パンニング）や上下に動かすとき（チルディング）は、ゆっくり動かします。撮り始めと撮り終わりは、ピタッと止めます。

液晶画面を回転させる

液晶画面は上に180°、下に90 °回転します。液晶画面にご自分を映し、映り具合を見ながら撮影することもできます。液晶画面を開いて180 °回転させ前に向けてください。レンズをご自分に向ければ、ビデオ日記などを撮影するときに役立ちます。

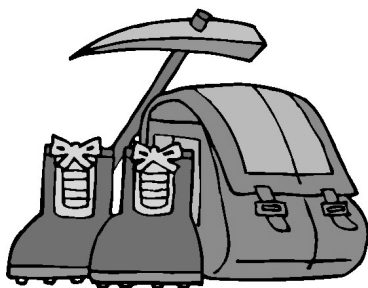
三脚を使う

三脚（別売）に取り付けると、安定した撮影ができます。

わたしの楽しいビデオライフ

あるご家庭のビデオライフをご紹介しましょう！

お父さんはアウトドア派　四季の自然を撮るのが趣味

　私は、山登りをしたり、バードウォッチングが趣味なんです。四季折々の自然を撮影して、自宅でのんびり見る時間が一番楽しいです。

お母さんは陶芸の作品集づくり

　２年前から陶芸教室に通っています。焼き上げた作品は、出来がいいほど知人にプレゼントしたりすることが多いので、手元に残らないんです。だから、デジタルビデオカメラで作品集を作っているんです。将来、陶芸教室の仲間と個展を開くのが夢です。

長女は海外旅行の思い出を

私は、海外旅行が大好き。この間はヨーロッパへ友達３人と行ってきました。現地の人の服装やお店のショーウインドウを撮ると面白いんですよね。撮影した映像（画像）は、メールで友人に送ったり、ホームページにアップロードして楽しんでいます。

長男は、撮ってもらうのが大好き！

僕は小学校の運動会や、発表会などをお父さんやお母さんに撮ってもらうのが大好き。後で見ると、友達のおもしろい顔が映っていて楽しい！

みなさんも、デジタルビデオカメラをいろんなところで使って楽しんでね！

いつでもどこでもどんなときでも楽しめる

こんな機能を使えば、素敵なシーンがたくさん撮れるよ！

暗い場所の撮影もライトで明るく撮影できる！

撮影時にまわりの明るさを感知して、自動的にライトが点灯します。暗い場所でも撮影が可能です。

操作方法：

ライトスイッチを設定する

- 「切」　：常にライトが消灯します。
- 「オート」：一定の暗さになると点灯します。
- 「入」　：常にライトが点灯します。

☞ 67ページ

こんなとき

花火大会、夜桜見物のときなど、暗い場所で撮りたいとき、ライトスイッチを「オート」にしておけば安心です。

ライトを点灯させなくても撮影できる！

ライトを点灯させたくない暗い場所でも、被写体を明るく撮影することができます。

操作方法：

① ロック解除ボタンを押しながら、電源ダイヤルを「M」に合わせる

② ナイトアイボタンを押す

☞ 118ページ

こんなとき

暗い場所で眠っている赤ちゃんやペットをそっと撮影したいときに最適です。ライトがつかないから、眠りの邪魔をしません。

逆光でも簡単に補正できる！

太陽などで背景が明るい場合に被写体が暗く写ります。逆光補正ボタンを押すだけで暗くならないように補正できます。

操作方法：

①ロック解除ボタンを押しながら、電源ダイヤルを「撮影」または「M」に合わせる

②逆光補正ボタンを押す

☞ 70ページ

こんなとき

運動会など被写体が移動して、逆光でも撮影したいときに便利です。

ビデオで記念写真が撮れる！

ビデオ映像の中に静止画を３つのモード（フレーム、フル、ピンナップ）で撮影できます。

操作方法：

①ビデオ／静止画スイッチを「ビデオ」に合わせる

②ロック解除ボタンを押しながら、電源ダイヤルを「M」または「撮影」に合わせる

③静止画ボタンを押す

■モードの選択は、メニュー画面で行います。

☞ 68ページ

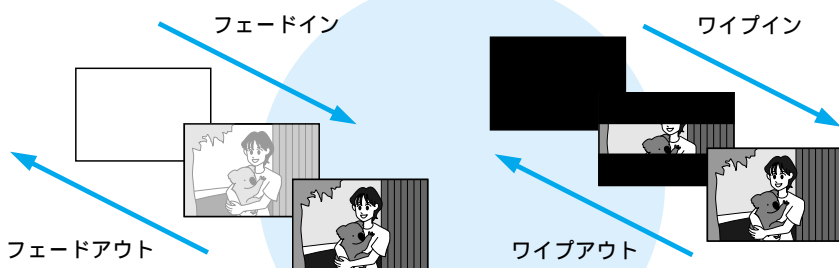
こんなとき

遊園地での素敵な笑顔や、旅行先でのスナップを動画の中に入れておくと、再生したときに楽しめます。
もちろん、メモリーカードにも静止画を撮影することができます。
ただし、フルモードでのみの撮影となります。

いろいろな場面でこの機能を使ってみてね！

あなたも今日から映画監督

ワンランク上のテクニックを使ってドラマチックな映像に！

フェードイン、フェードアウトで場面をつなごう！

場面と場面のつなぎ目に変化を入れることによって、映画やドラマのような映像を楽しむことができます。

操作方法：

①ビデオ／静止画スイッチを「ビデオ」に合わせる
②ロック解除ボタンを押しながら、電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す
③メニューダイヤルで「場面切替」を選び、ダイヤルを押す
④メニューダイヤルでお好みの場面切替を選ぶ
⑤メニューダイヤルを2回押す
⑥撮影する

☞ 114ページ

こんなとき

結婚式や紹介ビデオなどの、はじまりや終わりにはフェードを、日付や場所が変更になったところでワイプを使うと素敵な演出ができます。

映像に変化をつけて楽しもう！

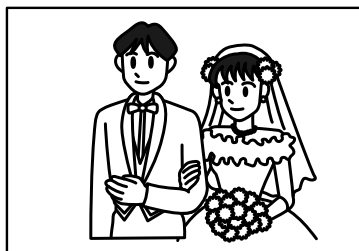
被写体をセピア色で撮影したり、暗い場所の被写体を明るく撮影することなどができます。

操作方法：

①ロック解除ボタンを押しながら、電源ダイヤルを「M」に合わせる
②メニュー ー ダイヤルを押す
③メニューダイヤルで「 プログラムAE」を選び、ダイヤルを押す
④メニューダイヤルでお好みのモードを選ぶ
⑤メニューダイヤルを２回押す
⑥撮影する

セピア

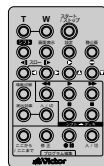
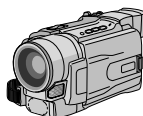
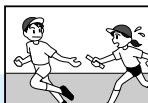
スポット
ライト

B/W　B/W
白黒

映画効果

☞ 116ページ

ビデオレターを作るときなどに、映像の途中で画面をセピア色にしたり、白黒にしたりすることによって、個性的な演出が楽しめます。

ズームしたり、演出をしながら再生しよう！

付属のリモコンを使うと、テープを再生しているときに、画面をズームしたり、映像に演出効果を加えることができます。

操作方法：

ズーム

①再生中にリモコンの「T」ボタンを押す
②拡大した状態で画面を移動するには、シフトボタンを押しながら上下左右ボタンを押す

☞ 82ページ

演出効果

①再生中にリモコンの演出効果ボタンを押す
②演出効果ボタンを押して演出効果を選ぶ

運動会や結婚式のビデオを家族やお友達と見るときなどに最適です。

☞ 83ページ

撮影した映像を編集して楽しもう！

ダビングしたり、声や映像を入れ替えて楽しもう！

ダビングして両親や友人に見せよう！

ビデオデッキと本機を使ってダビングすることができます。また、ＤＶ端子付きのビデオ機器でデジタルダビングも可能です。

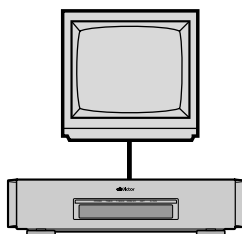
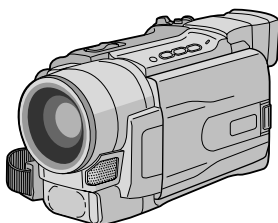
操作方法：
ダビング

①電源を入れない状態で、本機のAV入力／出力端子とビデオデッキの映像／音声入力端子をAVコードで接続する
②本機を再生し、ダビングしたいところで、ビデオデッキの録画ボタンを押す

☞ 120ページ

デジタルダビング

①電源を入れない状態で、本機のＤＶ入力／出力端子とＤＶ端子付ビデオ機器をDVコードで接続する
②本機を再生し、ダビングしたいところで、ＤＶ端子付ビデオ機器の録画ボタンを押す

☞ 122ページ

撮影したテープにナレーションなどを入れよう！（アフレコ編集）

録画モードＳＰで、音声モードを12BITで撮影しておくと、後でオリジナルテープにナレーションなどを追加することができます。

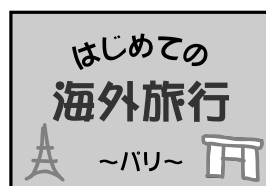
操作方法：

①テープを再生し、アフレコ編集したい場面でビデオカメラを一時停止する
②リモコンのアフレコボタン（⊖）を押しながら、一時停止ボタン（❚❚）を押す
③再生ボタン（►）を押し、ビデオカメラのマイクに向かってナレーションなどを吹き込む
④停止ボタン（■）を押して、アフレコ編集を終了する ☞ 124ページ

タイトルなどを入れて編集しよう！（インサート編集）

録画モードＳＰで撮影済みのテープに、後でタイトルなどの別の場面を挿入することができます。

操作方法：

①テープを再生し、インサート編集を終える場面でビデオカメラを一時停止する
・タイムコードを確認してください。
②インサート編集を開始する場面までビデオカメラを巻き戻し、一時停止ボタン（❚❚）を押す
③リモコンのインサートボタン（▶）を押しながら、一時停止ボタンを押す
④インサート編集するタイトルなどをカメラに映るようにしてリモコンの「スタート／ストップ」ボタンを押す
⑤リモコンの「スタート／ストップ」ボタンを押して、手順①で確認したタイムコードの位置でインサート編集を終了する
⑥リモコンの停止ボタン（■）を押して、インサート編集を終了する ☞ 126ページ

パソコンにつなげて楽しもう！

静止画をパソコンに取り込もう！

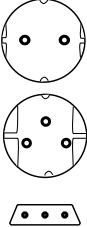
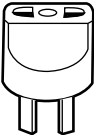
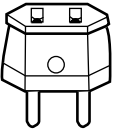
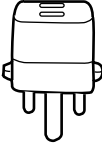
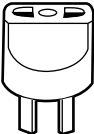
まずはパソコンにつなげよう！

付属のパソコン接続キットを使用すると、メモリーカードに記録した静止画をパソコンに取り込むことができます。取り込んだ静止画を日付や内容で分類したり、お気に入り画像をまとめたりして、楽しいオリジナルアルバムを作りましょう。

☞ 138ページ

パソコンに画像を取り込むには、まず付属のCO-ROM内のUSBマススストレージクラスドライバをインストールして、取扱説明書に従って操作してください。

別冊のソフトウェア取扱説明書も見てね！

お客様Q&Aコーナー

海外旅行にビデオカメラを持って行きたいのですが、付属のACアダプターは海外でも使えますか？

付属のACアダプターは海外でも使用可能です。バッテリーをビデオカメラに取り付けて充電したりコンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なります。訪問国のコンセントに合った変換プラグをご用意ください。詳細は旅行代理店、またはビクターサービス窓口（☞170ページ）にご相談ください。

コンセントの形状と使用する変換プラグ

子供の運動会があり、朝から夕方まで撮影し続けたいのですが、長時間撮影ができるバッテリーはありますか？

長時間の撮影を可能にするベルトホルダータイプのバッテリーキットVU-V840KITとVU-V856KITの２種類があります（別売）。バッテリーキットには、バッテリー、充電器、バッテリーポーチが付属されています。バッテリーをビデオカメラに直接取り付けることはできません。

VU-V840KIT

VU-V856KIT

連続撮影時間の目安

バッテリーキット	ファインダー使用時	液晶画面使用時
VU-V840KIT	約5時間40分（約3時間30分）	約4時間25分（約2時間55分）
VU-V856KIT	約8時間30分（約5時間5分）	約6時間40分（約4時間15分）

（　　）はライト使用時の時間

実撮影時間の目安

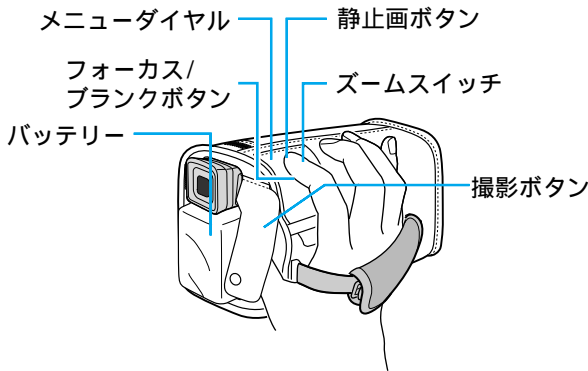
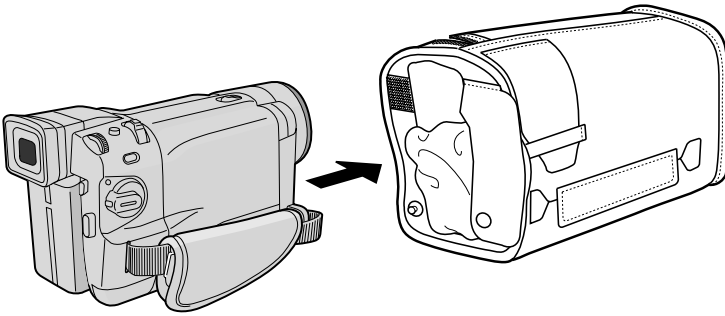
バッテリーキット	ファインダー使用時	液晶画面使用時
VU-V840KIT	約2時間50分（約1時間45分）	約2時間10分（約1時間25分）
VU-V856KIT	約4時間15分（約2時間30分）	約3時間20分（約2時間5分）

（　　）はライト使用時の時間

連続撮影時間はズームを使ったり、撮影一時停止を繰り返すなどで短くなります。
実撮影時間は、撮影、撮影一時停止、電源の入/切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間です。実際はこれよりも短くなることがあります。

バッテリーキットをお買い求めの際は、専用のDCコード VC-VBN856も合わせてお買い求めください。

夏は海辺で、冬はスキー場でビデオカメラを使いたいのですが、水や雪はビデオカメラによくないと聞きます。どうしたらいいですか？

小雨や小雪からビデオカメラを守る別売の「スノー＆レインジャケットCB-V270」があります。下図のようにジャケットを取り付けたまま、撮影することができます。

⚠ 安全に使っていただくために

安全のために必ずお守りください

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵記号が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵記号の意味をよく理解して本文をお読みください。

●注意（危険、警告を含む）が必要なことを示す記号

一般的注意

手がはさまれる

高温に注意

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

禁止

水場での使用禁止

接触禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

水ぬれ禁止

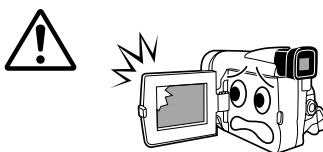
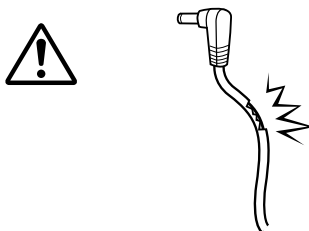
●必ずしてほしい行為（強制、指示行為）を示す記号

一般的指示

プラグをコンセントから抜く

⚠警告

こんなときはバッテリーをはずすか、電源プラグを抜いてください。

煙が出たり、へんな臭いがするとき	落としたり、壊れたとき
内部に水や異物が入った	AC アダプターのコードが傷んだとき

・販売店に修理を依頼してください。
・そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

157 ～ 163 ページの「安全上のご注意」もお読みください。

ご使用の前に

大切な撮影の前に

- 本機はデジタルビデオカメラとデジタルスチルカメラの機能を搭載しています。
  （MiniDV）マークの付いたデジタルビデオテープをご使用ください。
  （*MultiMediaCard*）マーク、または（SD）マークのついたメモリーカード（マルチメディアカードまたは SD メモリーカード）をご使用ください。
- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- 万一、デジタルビデオカメラ、テープ等の不具合により、正常に録画、録音や再生できなかった場合、内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機のマイクやカメラセンサー部分に手や指をかけないようにしてください。雑音が入ったり正しい明るさで撮影できなかったりすることがあります。

著作権について

あなたがビデオカメラで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。（なお、鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。）

アイコンの見方

操作上の注意などが書かれています。

知っているとちょっと便利な内容が書かれています。

機能や操作の補足説明などが書かれています。

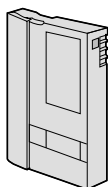
参照ページや参照項目を示しています。

できない機能を説明しています。

機能や操作のワンポイントアドバイスや、操作に困ったときの対処法が書かれています。

準備

撮影する前に準備しましょう

ミニDVカセットテープを用意しましょう！（別売）

バッテリーを充電して おきましょう！

各部のなまえとはたらき

ビデオカメラ本体

ズームスイッチ
映像のズームを行います。（☞66ページ）

静止画ボタン
静止画を撮るときに押します。
（☞68、86ページ）

音量スイッチ
テープの再生中にスピーカー音量を
調節します。（☞73ページ）

メニューダイヤル
メニュー操作や液晶画面の明るさ
調節を行います。
（☞60、139ページ）

フォーカス／ブランクボタン
・ピント合わせに使用します。
・ビデオテープの中にある5秒以上の無記録部
分を探します。
（☞75、110ページ）

バッテリー取外しボタン
バッテリーを取りはずすときに
押します。
（☞51ページ）

OPEN/EJECTスイッチ
カセットを出し入れするとき
に横にスライドさせて手でカ
セットカバーを開きます。
（☞53ページ）

端子カバー

撮影ボタン
撮影の開始、一時停止をし
ます。
（☞64ページ）

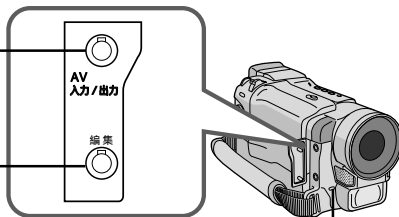
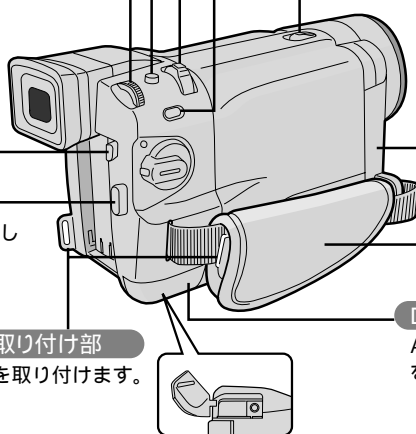
グリップベルト
（☞49ページ）

DC入力端子
ACアダプターのDCプラグ
を接続します。
（☞50、52ページ）

ショルダーストラップ取り付け部
ショルダーストラップを取り付けます。
（☞48ページ）

AV入力／出力端子
付属のAVコードでテレビや
ビデオデッキに接続します。
（☞74、120、130ページ）

編集端子
付属の編集コードでリモコンに
接続します。
（☞130ページ）

撮影中ランプ
テープに撮影中、点灯します。
（☞64ページ）

各部のなまえとはたらき

インデックスボタン
メモリーカード内の静止画を一覧表示します。（☞90ページ）

スピーカー
テープを再生すると音声が出ます。ただしAVコード接続時は音は出ません。
（☞72ページ）

液晶画面
撮影中、再生中に映像が映ります。
（☞64、72ページ）

押ー開ボタン
液晶画面を開くときにボタンを押します。

インフォボタン
静止画の情報を表示します。（☞91ページ）

ビデオ／静止画スイッチ
本機をビデオカメラまたはデジタルスチルカメラのどちらで使用するかを選択します。
（☞64、72、86、88ページ）

DV入力/出力端子（i-LINK*）
DV端子付きのビデオ機器と接続します。
（☞122ページ ）
*：i-LINKは、IEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様です。
i はi-LINKに準拠した商品につけられるロゴマークです。

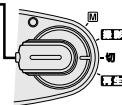
ライトスイッチ
ビデオライトを使うときに「オート」または「入」にします。（☞67ページ）

USB端子
付属のUSBケーブルでパソコンに接続します。
（☞138ページ）

S入力／出力端子
S映像コードでS端子付きのビデオ機器に接続します。
（☞74、120、130ページ）

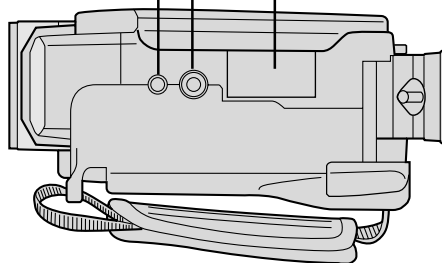
バッテリー取り付け部
バッテリーを取り付けます。
（☞50ページ）

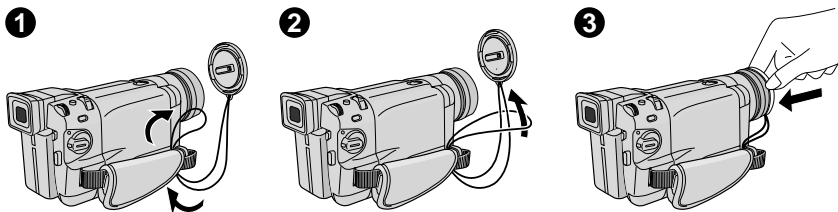
電源ダイヤル

ロック解除ボタン
ボタンを押しながら、電源ダイヤルのモードを切り替えます。

M **マニュアル撮影モード**
撮影方法を細かく設定できます。（☞109、139ページ）

撮影 **フルオート撮影モード**
全自動で撮影ができます。
（☞64、86ページ）

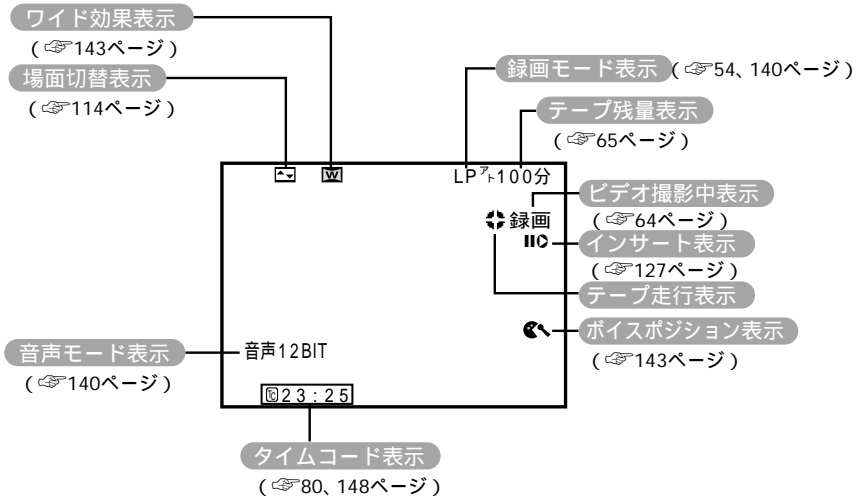
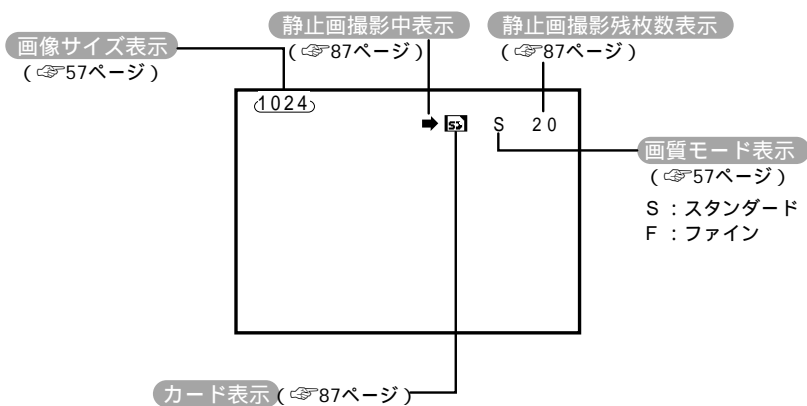
切 **電源が切れます。**

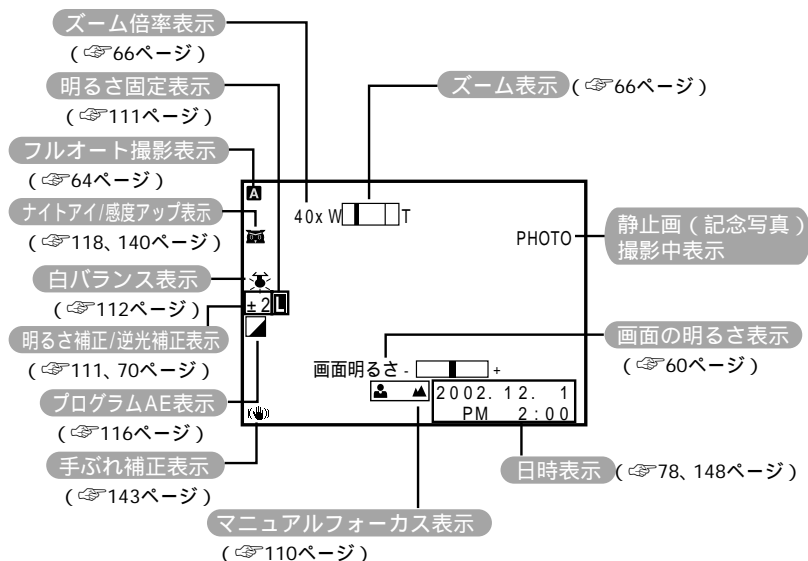
再生 **再生モード**
撮った映像を見るときに、切り替えます。
（☞72、86ページ）

レンズキャップの取り付け方

レンズ保護のために付属のレンズキャップを取り付けてください。

● レンズフードが外れた状態では、レンズキャップを取り付けることができません。

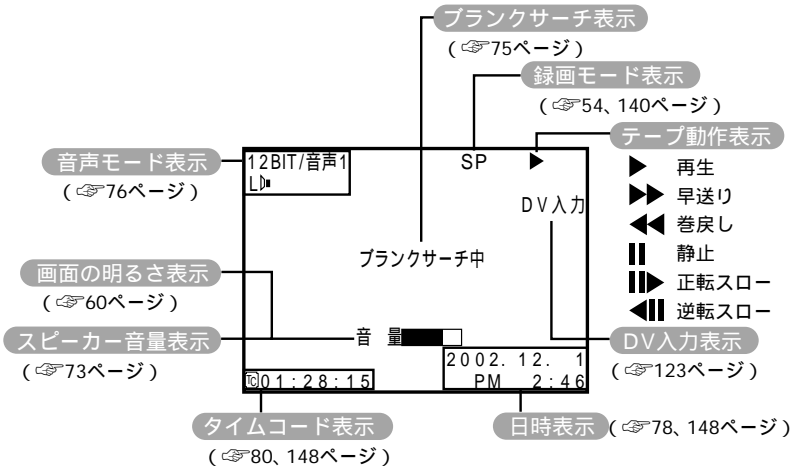
液晶画面とファインダー表示

ー撮影時の表示ー

(テープに撮影するときの表示［ビデオ撮影表示］)

(メモリーカードに撮影するときの表示［静止画撮影表示］)

• カードが入っていないと点滅します。
  ：SDメモリーカードを入れたとき
  ：マルチメディアカードを入れたとき
• カード情報を読み込んでいるときは、黄色く点滅します。

(ビデオ撮影時／静止画撮影時共通の表示)

次ページへつづく

ー再生時の表示ー

（テープ再生画面）

（メモリーカード再生画面）

お知らせ表示

表示	表示内容	参照
[バッテリー表示]	バッテリーの残量を表示します。 残量多い → 残量なし バッテリーが少なくなると [ ] が点滅します。 バッテリーがなくなると自動的に電源が切れます。	☞65
[テープ表示]	テープが入っていないときや、テープの誤消去防止用ツマミが「SAVE」側にあるときに表示されます	☞165
テープを入れて下さい！	テープが入っていないときに撮影ボタンや静止画ボタンを押すと表示されます。	—
テープおわり	録画や再生中に、テープが終わると表示されます。	—
レンズキャップ	レンズキャップがレンズについていると表示されます。	—
日時を設定して下さい	内蔵の時計用電池の容量がなくなり、日時情報が失われると表示されます。電池の交換は最寄りの「ビクターサービス窓口」にご相談ください。	☞166
テープがちがいます!	異なるフォーマットのテープを入れたときに表示されます。	—
テープへ記録できません テープのツマミを確認して下さい	誤消去防止用ツマミが「SAVE」側のテープで録画しようとしたときに表示されます。	☞165
コピーガードがかかっています	コピーガードがかかった信号を本機でダビング（録画）しようとしたときに表示されます。	—
音声16BIT (12BIT)	電源ダイヤルを「撮影」または「M」に合わせて電源が入ると、音声モードが約5秒間表示されます。	—
DV入力	DV入力状態で録画一時停止または録画中に表示されます。	☞123
メモリーカードを入れて下さい！	メモリーカードが入っていないときに静止画ボタンを押すと表示されます。	—
メモリーがいっぱいです	メモリーカードのメモリー（容量）がいっぱいになったときに表示されます。	—
カードエラー	メモリーカードの認識を60秒以内にできなかったときに表示されます。メモリーカードを入れなおしてください。数回くり返しても表示が消えないときはメモリーカードのデータがこわれています。	—

次ページへつづく

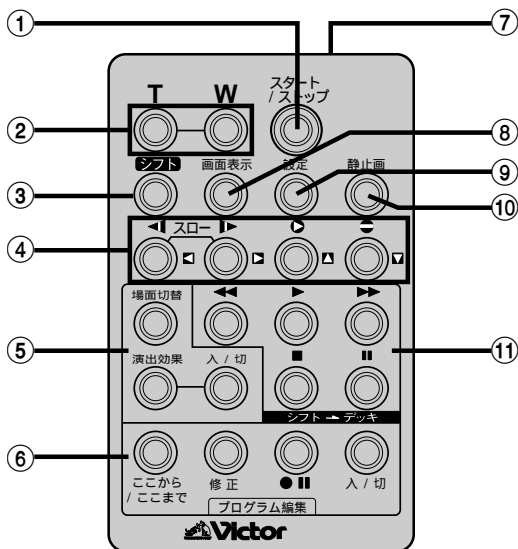
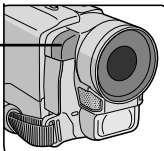
表示	表示内容	参照
静止画がありません	静止画が記録されていないメモリーカードを再生したときに表示されます。	—
メモリーカードへ記録できません	テープからメモリーカードへ静止画をコピーするとき、メモリーカードが入っていない、メモリーカードの容量がない、メモリーカードがフォーマットされていない、またはSDメモリカードのライトプロテクトがかかっているときに表示されます。	☞100
メモリーカードをフォーマットして下さい	フォーマットされていないメモリーカードを入れたときに表示されます。	☞107
ライトプロテクトがかかっています	ライトプロテクトのかかったSDメモリカードで撮影しようとしたときに表示されます。	—
音声アフレコできません	テープの無記録部分でアフレコ編集しようとしたときに表示されます。	☞124
音声ｱﾌﾚｺできません <LPモードで記録されています> <16BITで記録されています> <テープのツマミを確認して下さい>	• LPモードで記録されたテープでアフレコ編集しようとしたときに表示されます。LPモードで記録されたテープにはアフレコ編集できません。 • 16BIT音声で録音されたテープでアフレコ編集しようとしたときに表示されます。16BIT音声で録音されたテープにはアフレコ編集できません。 • 誤消去防止用ツマミが「SAVE」側のテープでアフレコ編集しようとしたときに表示されます。	☞124
インサート録画できません	テープの無記録部分でインサート編集しようとしたときに表示されます。	☞126
インサート録画できません <LPモードで記録されています> <テープのツマミを確認して下さい>	• LPモードで記録されたテープでインサート編集しようとしたときに表示されます。LPモードで記録されたテープにはインサート編集できません。 • 誤消去防止用ツマミが「SAVE」側のテープでインサート編集しようとしたときに表示されます。	☞126

表示	表示内容	参照
E01、E02、E06 セーフティーが働きました バッテリーを外して付け直して下さい	ビデオカメラに生じたトラブルを判断するための表示です。 バッテリーと電源をはずして付けなおしてください。 動作させて同じメッセージが表示されなければ問題ありません。 2、3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げ販売店またはビクターサービス窓口（☞170）にご相談ください。	—
E03、E04　セーフティーが働きました テープを取り出し、入れ直して下さい	ビデオカメラに生じたトラブルを判断するための表示です。 テープを取り出して入れなおしてください。 動作させて同じメッセージが表示されなければ問題ありません。 2、3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げ販売店またはビクターサービス窓口（☞170）にご相談ください。	—
ヘッドが汚れています クリーニングカセットをためして下さい	ヘッドが汚れているときに表示されます。 クリーニングカセットを再生して、ヘッドを清掃してください。	☞155
ツユが付きました しばらくお待ち下さい	つゆつきが発生したときに表示されます。 表示が消えるまで1時間以上お待ちください。	☞156

準備

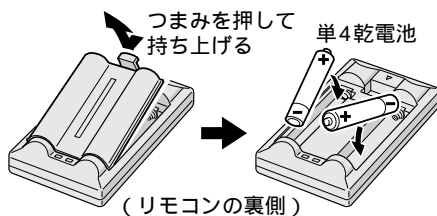
各部のなまえとはたらき

リモコン

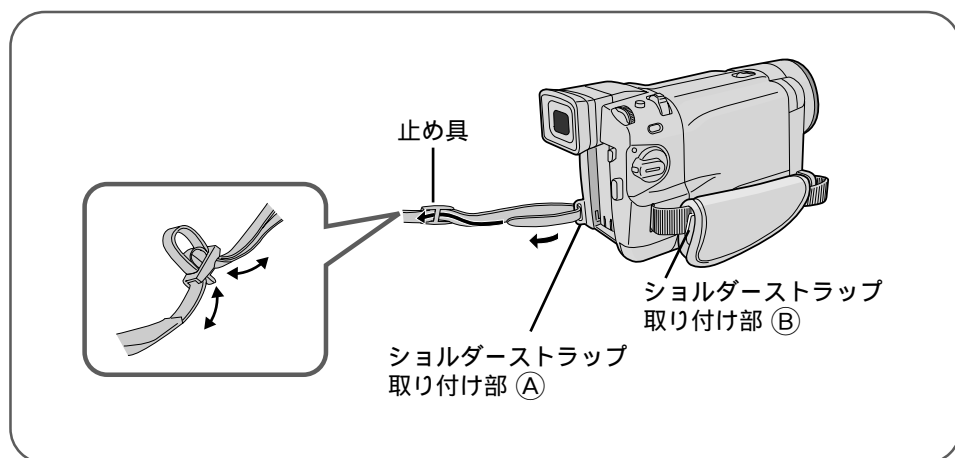
付属のリモコンを使って、ビデオカメラをリモートコントロールすることができます。ビデオカメラのリモコン受光部に向けて使用します。

リモコンの操作方法

操作範囲は屋内で約 5m です。
ビデオカメラのリモコン受光部に向けて操作してください。角度によっては操作できない場合があります。また、ビデオカメラのリモコン受光部に直射日光や照明の強い光が当たるとビデオカメラが誤動作したり、動作しないことがあります。

リモコン電池の入れかた

（リモコンの裏側）

ボタン名			ボタンの機能	参照ページ
①		スタート/ストップボタン	撮影をスタートまたはストップする。	–
②	T	ズームボタン	映像が大きくなる。	66、82
	W	ズームボタン	大きくした映像が元に戻る。	
③		シフトボタン	拡大した再生映像を上下左右に動かす。	82、128
④	◀❙	スロー(逆転)ボタン/左ボタン	テープをスローで巻き戻し再生する。 再生ズームした映像を左に動かす。	73、82
	❙▶	スロー(正転)ボタン/右ボタン	テープをスローで再生する。 再生ズームした映像を右に動かす。	73、82
	▶	インサートボタン/上ボタン	インサート編集を行う。 再生ズームした映像を上に動かす。	82、126
	⊖	アフレコボタン/下ボタン	アフレコ編集を行う。 再生ズームした映像を下に動かす。	82、124
⑤		場面切替ボタン	自動編集中、場面切替効果を選択する。	130、131
		演出効果ボタン	再生中や自動編集中、演出効果を選択する。	83、131
		演出効果 入/切ボタン	再生映像に演出効果を加える。	83
⑥		ここから/ここまでボタン	自動編集の開始と終了を指定する。	130、131
		修正ボタン	自動編集を修正する。	132
	●❚❚	ビデオ準備ボタン	自動編集でビデオデッキを録画一時停止にする。	132
		入/切ボタン	自動編集表示画面を表示する。	130
⑦		リモートポーズ（入力） 端子	編集コードを接続する。	130
⑧		画面表示ボタン	テレビに出てくる日時表示を出したり、消したりする。	120、148
⑨		設定ボタン	編集に使用するビデオデッキのメーカーを設定する。	128
⑩		静止画ボタン	静止画を撮影する。	–
⑪	◀◀	巻戻しボタン	テープを巻き戻す。 前の静止画を再生する。	73、88
	▶	再生ボタン	テープを再生する。 オートプレイを開始する。	73、88
	▶▶	早送りボタン	テープを早送りする。 次の静止画を再生する。	73、88
	■	停止ボタン	テープを停止する。 オートプレイを停止する。	73、88
	❚❚	一時停止ボタン	テープを一時停止する。	73

ショルダーストラップを取り付ける

移動中、落下したりしないようにしっかりと取り付けます。

❶ ショルダーストラップ取り付け部 Ⓐ に通す

ショルダーストラップの先をショルダーストラップ取り付け部 Ⓐ に通します。

- バッテリーやDCコードは、はずしておきます。

❷ 止め具に通す

ショルダーストラップの先を長さ調整用の止め具に通します。

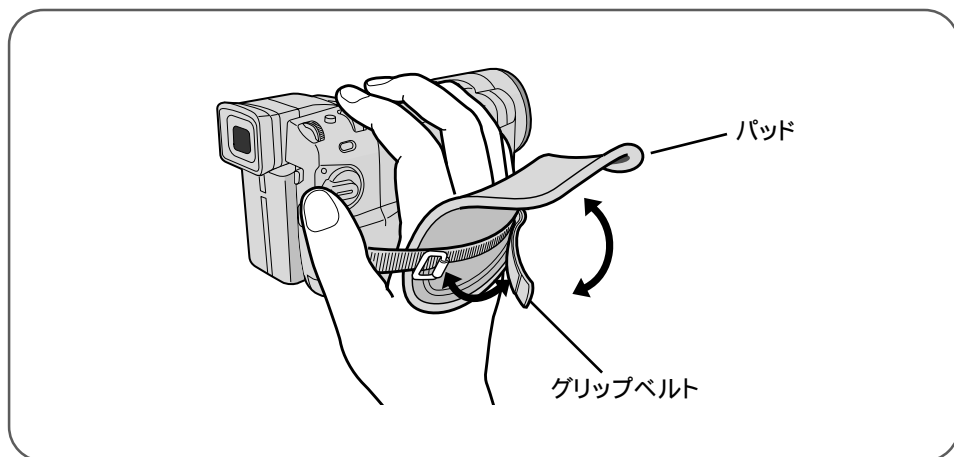
❸ 長さを調節する

調整用バックルに通っているショルダーストラップを少しゆるめて、長さを調節します。

❹ ショルダーストラップ取り付け部 Ⓑ についても同様に❷～❸を繰り返す

ショルダーストラップを引っぱり、確実に取り付けられたか確認します。

グリップベルトを手に合わせる

手の大きさに合わせて、グリップベルトを調節します。

準備

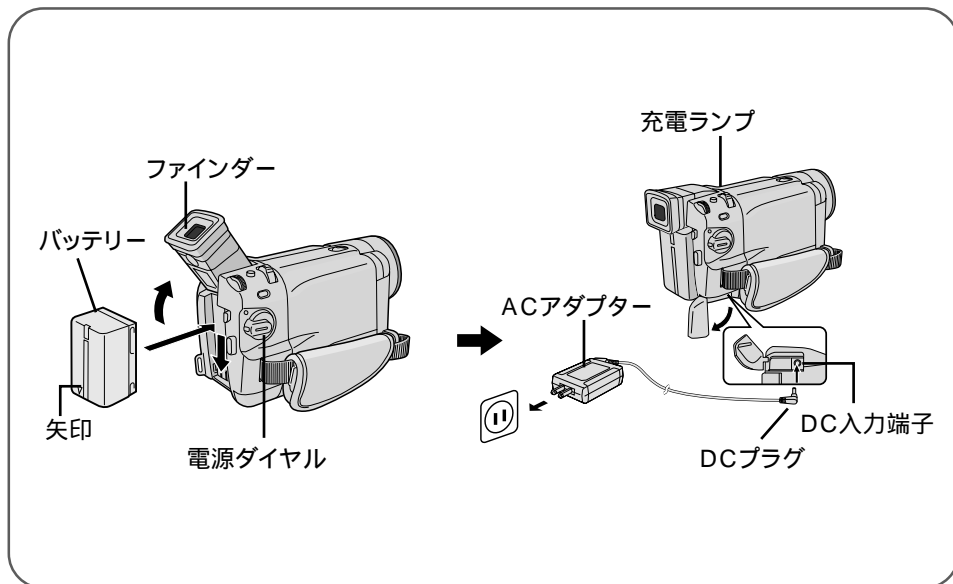
1 パッドをはがす

2 グリップベルトを調節する

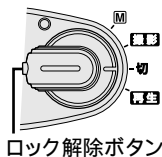
- 手を入れてズームスイッチと撮影ボタンを操作しやすいように調節してください。

3 パッドをはりつける

バッテリーを充電する

バッテリーをビデオカメラに取りつけ、AC アダプターを使用して充電します。
バッテリーをビデオカメラに取りつけるときは､バッテリーのキャップをはずしてください。

1 バッテリーを取りつける

- ファインダーを上にあげ、バッテリーの矢印を下向きにしてビデオカメラに押しつけるようにしながら下にスライドさせます。

2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「切」に合わせる

❸ AC アダプターの DC プラグをビデオカメラの DC 入力端子に差し込む

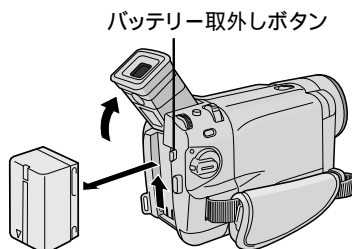
❹ AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込む

- 充電ランプが点滅します。
- 点滅から点灯に変わったら充電完了です。AC アダプターをはずしてください。

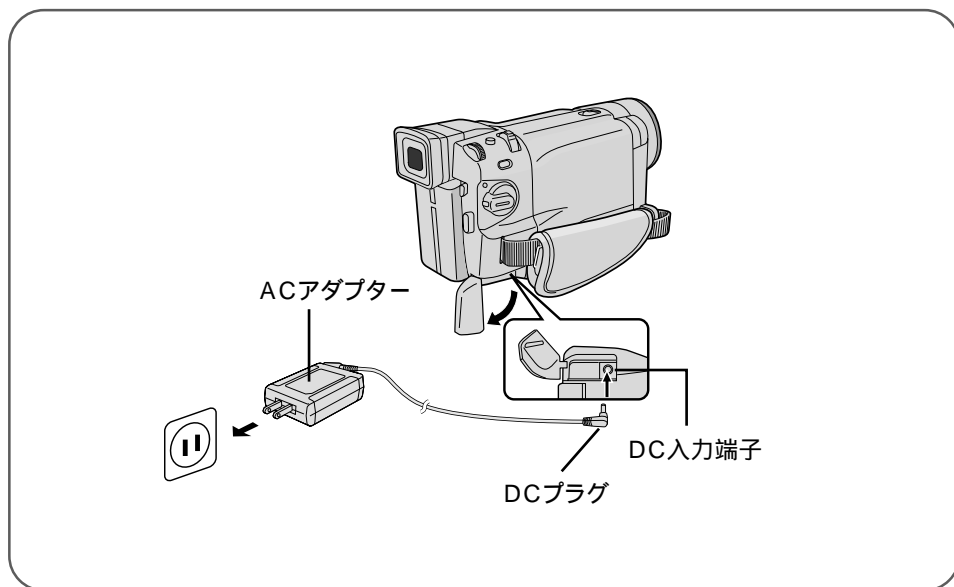
準備

バッテリーの取りはずし

バッテリー取外しボタンを押したまま、バッテリーを取りはずす

●下から上へスライドさせて手前に引いて取りはずしてください。

● **充電時間の目安（室温 10℃～ 35℃）**	➡	バッテリー（BN-V416：付属）で約 3 時間 バッテリー（BN-V428：別売）で約 5 時間
● **充電しても撮影時間が短い**	➡	寿命です。新しいバッテリーに交換してください。
● **充電できない**	➡	電源ダイヤルが「切」以外になっているときは、充電できません。
● **バッテリーについて**	➡	166 ページもご覧ください。

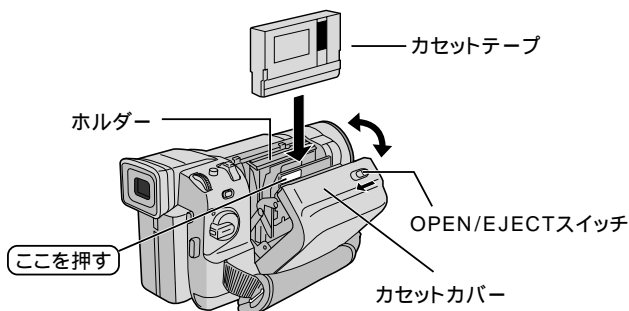
コンセントの電源でビデオカメラを動かす

室内で使うときは、ACアダプター（付属）を使ってコンセントから電源をとると便利です。変換プラグを使用すると海外でもご利用できます。（☞168 ページ）

1 DCプラグをビデオカメラのDC入力端子に差し込む

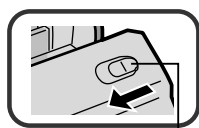
2 電源プラグをコンセントに差し込む

●AC アダプターが、温かくなることがあります。

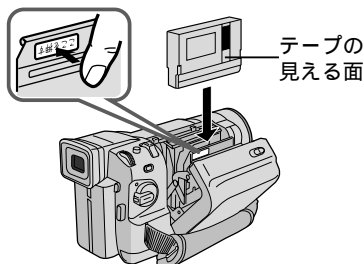
カセットテープを入れる・取り出す

電源（バッテリーまたは AC アダプター）がつながれていれば、電源ダイヤルが「切」のままでもホルダーを開けることができます。

❶ OPEN/EJECT スイッチを矢印方向にスライドさせて、カセットカバーを開く

- 自動的に、ホルダーが開きます。

●内部の部品を直接手でさわらないでください。

❷ カセットテープをホルダーに入れ ここを押す を押す

- カセットテープは奥まで確実に入れてください。
- 自動的にテープが収納されます。

● ここを押す 以外は押さないでください。

❸ カセットカバーを「カチッ」と音がするまで閉める

- テープが収納されない場合は、カセットカバーを一度完全に開いて、カセットを取り出し、少し待ってからカセットを入れ直してください。

●ホルダーに指をはさまないようにご注意ください。
●テープがからまるなど、一度トラブルのあったテープをご使用になると、ビデオカメラの故障の原因となりますので、使用しないでください。

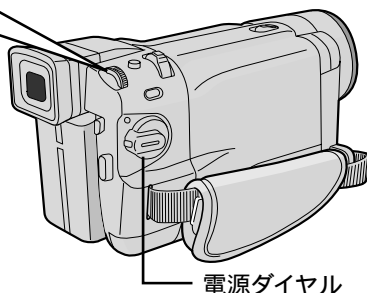
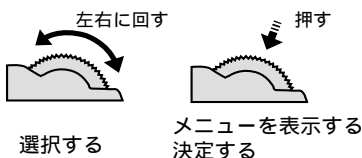
カセットテープを取り出す

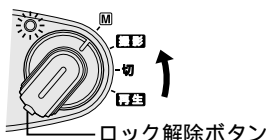
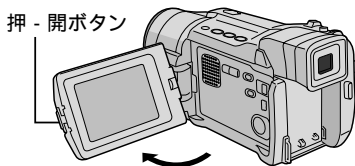
上の手順 ❶ のあとでカセットテープを引き上げて取り出す

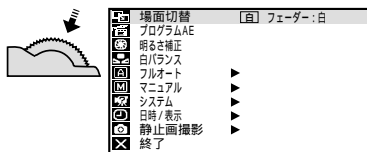
テープへ記録する録画モードを選ぶ

録画モードとは

● SP モード：標準、LP モード：1.5 倍

SP モードと LP モードの 2 種類の録画モードがあります。LP モードでは SP モードに比べ 1.5 倍長く撮影することができます。ただし LP モードにするとアフレコ編集（☞124 ページ）とインサート編集（☞126 ページ）ができなくなります。

1 ロックヤ解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「M」に合わせる

● 電源ランプが点灯し電源が入ります。

2 「押－開」ボタンを押して液晶画面を開く

3 メニューダイヤルを押す

● メニュー画面が表示されます。

❹ メニューダイヤルを回して「Aフルオート」を選び、ダイヤルを押す

- 「録画モード」が選択されます。

❺ メニューダイヤルを押す

- 「SP」と「LP」が表示されます。

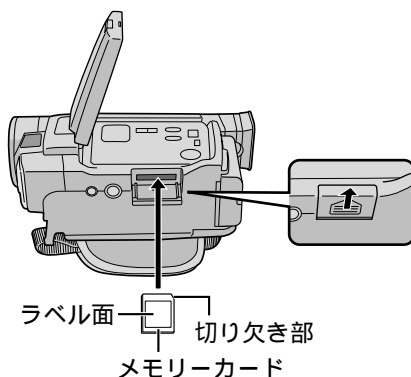
❻ メニューダイヤルを回して「SP」または「LP」を選び、ダイヤルを押す

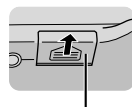
❼ メニューダイヤルを 2 回押す

- 撮影画面に戻ります。

メモリーカードを入れる・取り出す

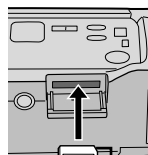
本機をデジタルスチルカメラとして使用するときは、メモリーカードを使用します。

操作はココ！

1 メモリーカードカバーを開く

● メモリーカードカバーをスライドさせて開きます。

2 メモリーカードを入れる

● 奥までしっかり入れてください。

ご注意

- **必ず電源を切ってから入れてください。**
- **電極に手を触れないでください。**

3 メモリーカードカバーを閉める

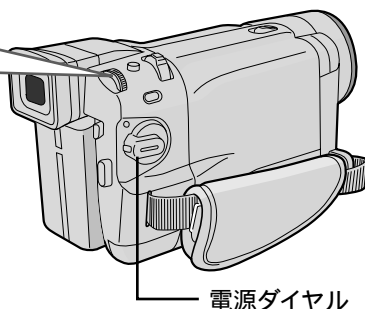
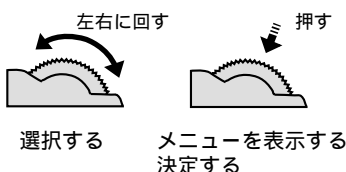
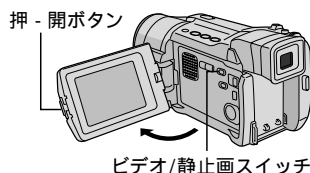
● メモリーカードが正しく入っていても、本機がカードを認識するまでに多少時間がかかることがあります。

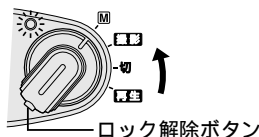
メモリーカードを取り出す

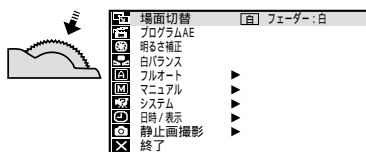
上の手順 1 のあとでメモリーカードを押すと出てきます

- **メモリカードはマルチメディアカード（MultiMediaCard）、またはSDメモリーカード（SD Memory Card）をご使用ください。**
- **新たに購入したメモリーカードを使用するときは、本機で初期化してください。**（☞107 ページ）

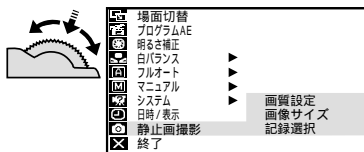
メモリーカードへ記録する画質／サイズを選ぶ

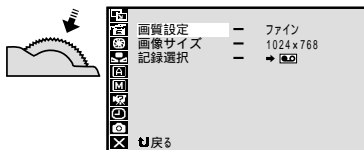
メモリーカードに記録する静止画の使用目的に応じて画質と画像サイズを選ぶことができます。画質は良い順にファイン、スタンダードの 2 種類があります。
画像サイズは大きい順に 1280 × 960 ドット、1024 × 768 ドット、640 × 480 ドットの 3 種類があります。

1 「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「静止画」にする

2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「M」に合わせる

● 電源ランプが点灯し電源が入ります。

3 メニューダイヤルを押す

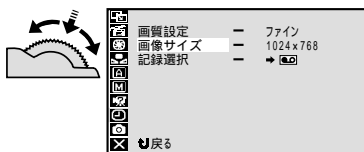
● メニュー画面が表示されます。

次ページへつづく

❹ メニューダイヤルを回して「[カメラアイコン] 静止画撮影」を選び、ダイヤルを押す

● 「画質設定」が選択されます。

❺ メニューダイヤルを押す

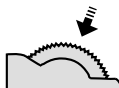
● 「スタンダード」と「ファイン」が表示されます。

❻ メニューダイヤルを回して「スタンダード」または「ファイン」を選び、ダイヤルを押す

❼ メニューダイヤルを回して「画像サイズ」を選び、ダイヤルを押す

● 「640×480」、「1024×768」、「1280×960」が表示されます。

❽ メニューダイヤルを回して「640 × 480」、「1024 × 768」または「1280×960」を選び、ダイヤルを押す

❾ メニューダイヤルを 2 回押す

- 撮影画面に戻ります。

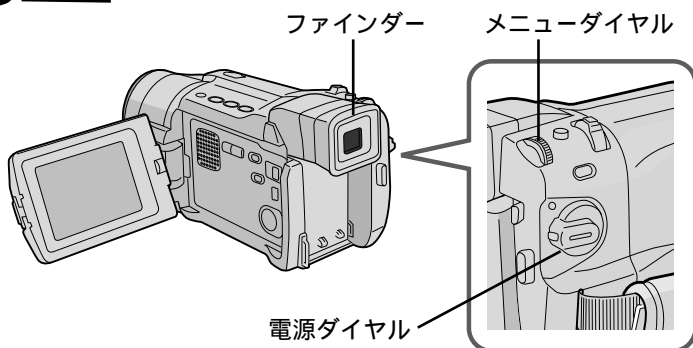
準備

撮影可能枚数の目安

画像サイズ	画　質	マルチメディアカード			SDメモリーカード			
		8MB(別売)	16MB(別売)	32MB(市販)	8MB(付属)	16MB(市販)	32MB(市販)	64MB(市販)
1280 x 960	ファイン	約16枚	約32枚	約64枚	約12枚	約28枚	約62枚	約120枚
	スタンダード	約50枚	約100枚	約200枚	約44枚	約98枚	約205枚	約405枚
1024×768	ファイン	約25枚	約50枚	約100枚	約20枚	約46枚	約98枚	約190枚
	スタンダード	約80枚	約160枚	約320枚	約66枚	約145枚	約310枚	約605枚
640×480	ファイン	約50枚	約105枚	約210枚	約46枚	約98枚	約205枚	約405枚
	スタンダード	約160枚	約320枚	約640枚	約150枚	約295枚	約625枚	約1215枚

- 使用するメモリーカードや撮影する被写体の画像内容などによって撮影可能枚数は変化します。
- 撮影画面では、ファインモードは「F」、スタンダードモードは「S」と表示されます。
- 1280 × 960 モードでは、撮影した画像をデータ変換して保存しています。

- **メモリカードはマルチメディアカード（MultiMediaCard)、またはSDメモリーカード（SD Memory Card）をご使用ください。**

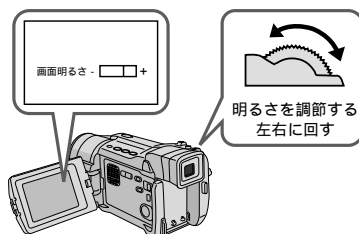
画面の明るさを調節する

液晶画面やファインダーの明るさを調節してから、撮影や再生を行います。

1 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「撮影」に合わせる

● 電源ランプが点灯し電源が入ります。

2 「押－開」ボタンを押して液晶画面を開く

3 メニューダイヤルを回す

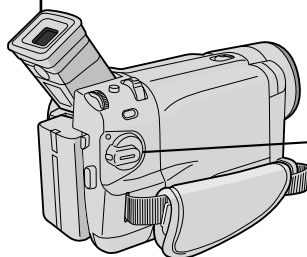
● 画面の明るさを調節します。

ファインダーの明るさ調節

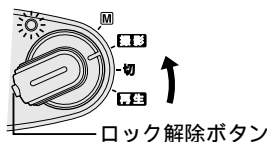
上の手順 ❷ で液晶画面を閉じて手順 ❸ を行う

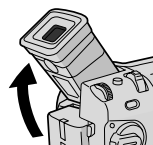
ファインダーを調節する

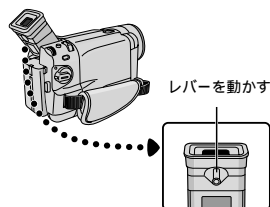
●視力とファインダー表示が合わないとき

ファインダー内の表示が見やすくなるように調節します。

操作はココ！

1 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「撮影」に合わせる

● 電源ランプが点灯し電源が入ります。

2 ファインダーを上げる

● 液晶画面は閉じておいてください。

3 ファインダーをのぞいてレバーを動かす

● ファインダー内の表示が良く見えるように調節します。

●**ファインダーの角度調節**
ファインダーは映像が見やすいように約 90 ° 動かすことができます。

知って得する ビデオ撮影のコツ

楽しいビデオアルバムを作りましょう

ポイント 1

楽しいビデオアルバムを作るには、撮影前にシナリオを考えておきます。

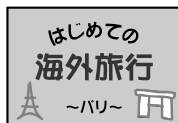
ポイント 2

ズームイン・アウトをうまく使ってメリハリを。

ポイント 3

人物だけではなく、周囲の様子も撮影して、雰囲気を残しましょう。

海外旅行編

1 タイトルを作る

これから撮影するビデオのタイトルをつくり、５秒程度撮影します。

2 旅行前の様子

旅行用ビデオのシナリオを考えます。旅行のポイントを押さえておきます。

3 出国／入国

出国・入国の際には、ビデオカメラの日時を現地時間に設定しましょう。

4 名所

名所の前で記念写真を撮影。ズームインして、迫力をもたせます。

5 夜の散歩

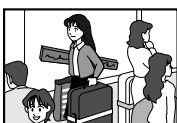
暗い場所でも、ライトが自動的に点灯して、被写体が暗くなりません。

6 ディナーも記念に

旅行先での豪華な食事。接写してもきれいに撮影できます。

7 買い物風景

ストリートショップでおみやげを購入。撮影禁止場所に注意しましょう。

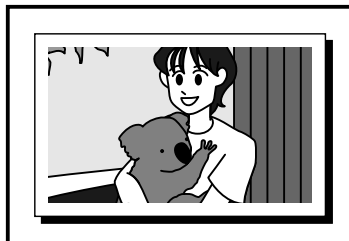
8 帰国

帰国した様子を最後とし、シナリオを締めくくりましょう。

•「海外でお使いになるときは」（168 ページ）もお読みください。

撮影

撮りたいものを撮ってみよう！

ズーム撮影で、迫力ある映像を撮ろう！

記念写真モードで撮って被写体に変化をつけてみよう！

ビデオライトを使って暗い場所でも撮影してみよう！

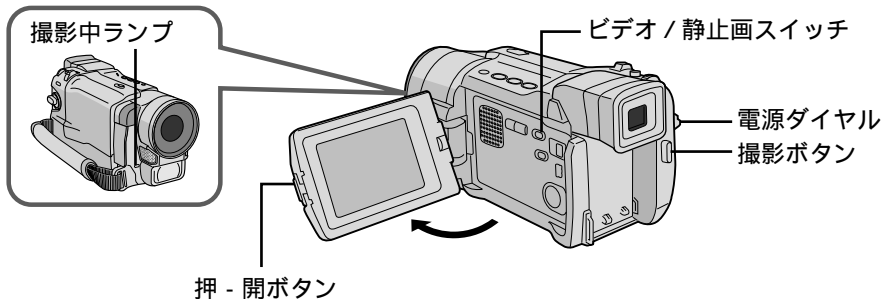
逆光でも、暗くならないので場所を気にしないで撮ろう！

暗い

明るい

録画モード設定は☞54ページ、日時表示設定は☞149ページ

テープに撮影する

ピントや露出合わせも自動（フルオートモード）で、簡単に撮影できます。

1 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「撮影」に合わせる

- 電源ランプが点灯し電源が入ります。

2 「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「ビデオ」に合わせる

- 撮りたい被写体に合わせます。

撮影を一時停止している画面

A　SP ｱﾄ　17分
ストップ

電源ダイヤルが「撮影」のときのみ表示されます。

3 撮影ボタンを押す

- 録画が始まります。
- 撮影中ランプが点灯します。
- 再度押すと録画一時停止になり、ストップ表示がでます。

撮影中の画面

連続撮影時間の目安

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-V416（付属）	約2時間25分（約1時間30分）	約1時間55分（約1時間15分）
BN-V428（別売）	約4時間20分（約2時間40分）	約3時間25分（約2時間15分）
VU-V840KIT*（別売）	約5時間40分（約3時間30分）	約4時間25分（約2時間55分）
VU-V856KIT*（別売）	約8時間30分（約5時間5分）	約6時間40分（約4時間15分）

（　）はライト使用時の時間

＊ VU-V840KITおよびVU-V856KITは、バッテリーを付属のバッテリーポーチに入れ、DCコードでバッテリーポーチと本体を接続して使用します。バッテリーをビデオカメラに直接取り付けることはできません。

実撮影時間の目安

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-V416（付属）	約1時間10分（約45分）	約55分（約35分）
BN-V428（別売）	約2時間10分（約1時間20分）	約1時間40分（約1時間5分）
VU-V840KIT*（別売）	約2時間50分（約1時間45分）	約2時間10分（約1時間25分）
VU-V856KIT*（別売）	約4時間15分（約2時間30分）	約3時間20分（約2時間5分）

（　）はライト使用時の時間

連続撮影時間は、ズームを使ったり、撮影一時停止を繰り返すなどで短くなります。バッテリーは撮影予定時間の約 3 倍分をご用意されることをおすすめします。
実撮影時間は撮影、撮影一時停止、電源の入 / 切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間です。実際にはこれよりも短くなることがあります。

● **5 分以上撮影を一時停止したときは**

ビデオカメラの節電とテープ保護のため、自動的に電源が切れます。再び撮影したいときは、電源ダイヤルを一度「切」にしてから「撮影」または「Ⓜ」に戻してください。

● **液晶画面が見づらいときは**

光の反射などで液晶画面が見づらいときは、液晶画面を閉じてファインダーをのぞいて撮影することをおすすめします。液晶画面とファインダーは同時に使用できません。

● **テープの残量を確認するには**

撮影中は、自動的にテープの残量が表示されます。テープ残量は目安としてお使いください。使用するテープによっては正しく表示されないことがあります。また、80分テープの巻き始めでは、正しい残量表示をするまでに時間がかかったりすることがあります。テープの残量が残り 2 分となると表示が点滅し、テープが終わると「テープおわり」と表示されます。

● **バッテリー残量表示（　）が点滅したら**

バッテリーの残量が少なくなっています。バッテリーの残量がなくなると自動的に電源が切れます。電源が切れる前にバッテリーを交換してください。

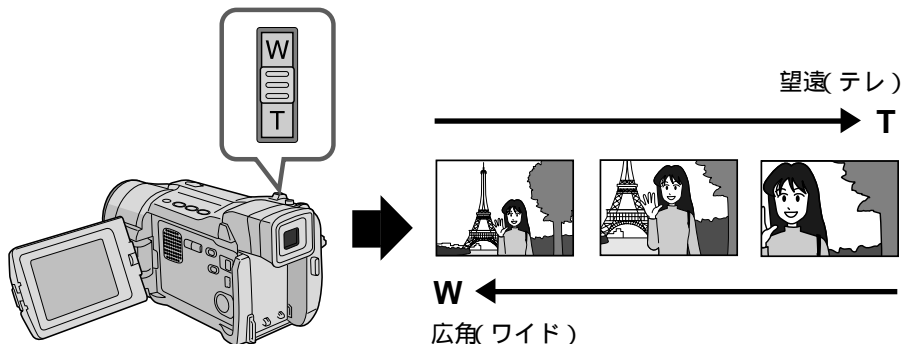
● **正常に録画できない**

ビデオヘッドが汚れているかもしれません（☞155ページ）。大切な撮影の前には試し撮りをして、正常に録画、録音されていることをご確認ください。

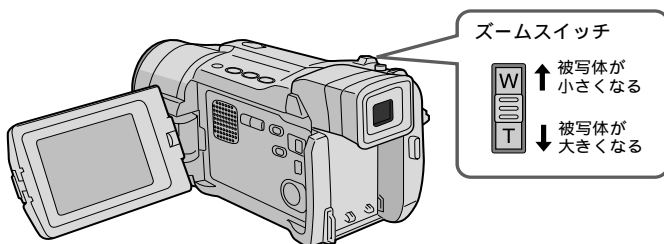
撮影

ズームして撮影する

●被写体が遠いところにいるときや、画面に変化をつけたいとき

被写体をズームして撮影することができます。

●使いすぎると見づらい映像になります。

1 ズームスイッチを動かす

● 軽く動かすとゆっくりズームし、強く動かすと早くズームします。

●最大ズーム倍率 ➡ 何倍までズームを可能にするか変更できます。（☞140 ページ）

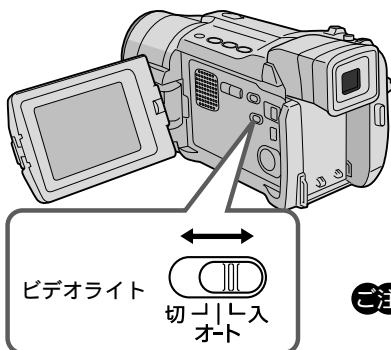
●接写したいとき（マクロ撮影） ➡ W 側にいっぱいまで押すとレンズから約 5cm まで被写体に近づいて撮影可能
T 側のときは、約 1m、（テレマクロ“ 入 ”のときは約 60cm）（ピントが合わない距離では、▲、▲、▼、● が点滅して自動的にズームが W 側になります。）

●10 倍以上のズーム（デジタルズーム） ➡ 10 倍までの映像に比べて多少映像品質が劣化します。（デジタル処理をするため）

●10 倍以上のズームが使用できない ➡ ●映像をデジタル処理する機能との併用はできません。
●ビデオ／静止画スイッチが「静止画」のときは使用できません。

ビデオライトを使用する

●被写体や周囲が暗いとき

被写体や周囲が暗いときにライトを使用して撮影ができます。

ご注意

●ビデオライトの点灯中や消灯直後は、ビデオライトが熱くなっています。手を触れたり物を近づけたりしないでください。

1 ライトスイッチを設定する

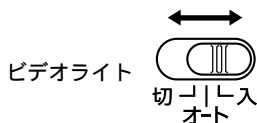
● ライトスイッチをお好みの位置に合わせます。

「切」　　：常にライトが消灯します。

「オート」：一定の暗さになると点灯します。

「入」　　：常にライトが点灯します。

ビデオライト　切　オート　入

ご注意

●小さなお子様の目などに直接光が入らないようにご注意ください。

●ビデオライトを点灯した状態でビデオカメラをキャビネットや箱に入れないでください。

●ビデオカメラを固定してビデオライトを点灯させる場合は、机の上に置かず三脚等に固定してください。

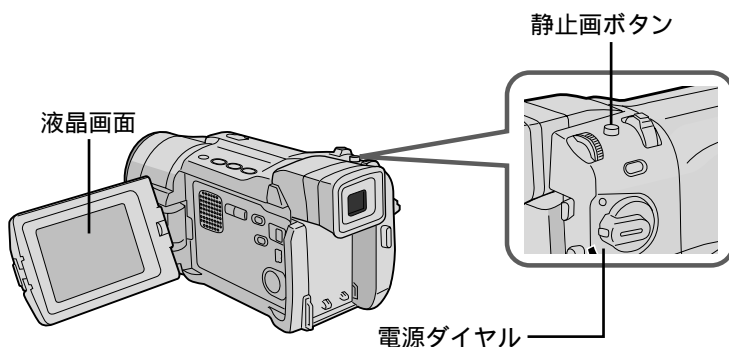
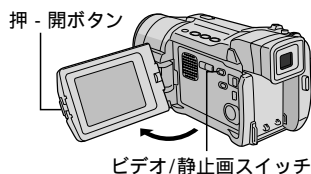
●ビデオライトが点灯しないとき
ライトスイッチを「オート」に設定していてもプログラムAE（☞116ページ）で「夜景」を選択しているとき、またはナイトアイ（118ページ）を設定しているときはビデオライトは点灯しません。

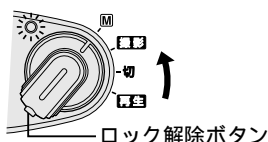
●バッテリーを長持ちさせて撮影するために
撮影しないときはライトスイッチを「切」にしてください。室内では付属の AC アダプターのご使用をおすすめします。

●ビデオライトの交換は最寄りの「ビクターサービス窓口」にご相談ください。（☞170 ページ）

テープに静止画（記念写真）を撮る

●被写体の表情などをワンポイントで記録したいとき

ビデオテープの中に写真のような映像を挿入することができます。

1 「押－開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「ビデオ」に合わせる

2 ロックボタンを押しながら電源ダイヤルを「M」または「撮影」に合わせる

- 電源ランプが点灯して電源が入ります。

静止画ボタンを押す

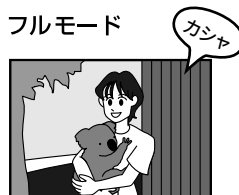
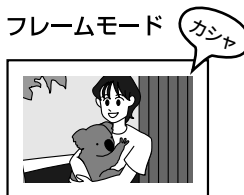
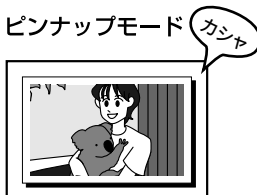
- 静止画像が約 6 秒間記録されます。
- 押し続けると静止画像が約 1 秒ごとに連写されます。

記念写真(静止画)モードについて

記念写真モードには、3 つのモードがあります。これらのモードはメニュー画面で選択することができます。(☞142 ページ)

ピンナップモード

フレームモード

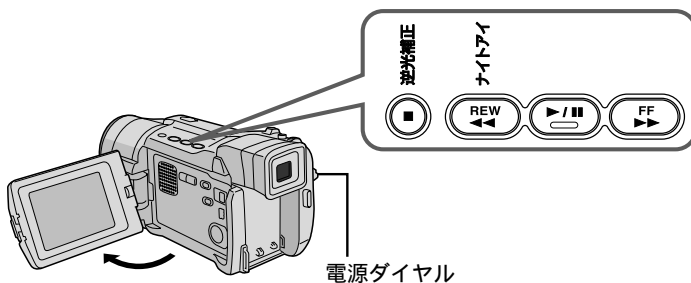
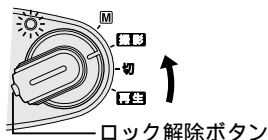
フルモード

撮影

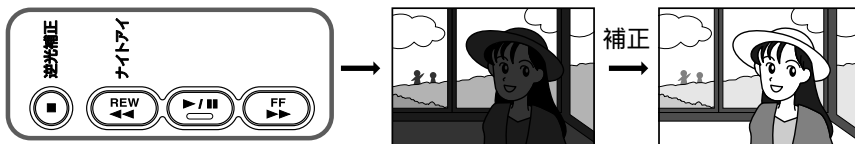
- **撮影中に記念写真を撮影したときは**
  静止画像が約 6 秒間記録され通常の撮影に戻ります。
- **記念写真撮影ができないときは**
  記念写真ボタンを押したとき画面に「PHOTO」が点滅してお知らせします。
- **AV 端子にコードが接続されているときは**
  「カシャ」音は出ません。ただし、テープには記録されます。
- **「静止画撮影」メニューの「記録選択」が「➡ 📼 / ➡ Ⓜ 」のときは**
  テープだけでなくメモリーカードにも静止画が記録されます。テープが入っていないときは、メモリーカードにのみ記録されます。また、連写はできません。(☞175 ページ)

- 演出効果を設定していても記念写真撮影時に働かないものがあります。
  このようなときは、演出効果アイコンが点滅してお知らせします。
- **再生中も記念写真モードを使えます**
  「ビデオ再生モード」メニューの「📼 ➡ Ⓜ コピー」を「切」にしてご使用ください。(☞175 ページ)
  「カシャ」音は出ません。

逆光を補正する

●太陽などで背景が明るすぎて被写体が暗くなるとき

逆光補正ボタンで被写体が暗くならないように補正します。

1 ロックを解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「撮影」または「M」に合わせる

2 逆光補正ボタンを押す

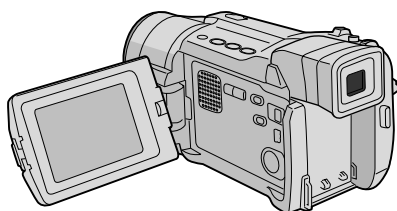
- 画面に逆光補正マークが表示されます。
- 再度押すと、逆光補正を解除します。

●逆光補正ボタンを使うと
被写体の周囲が明るくなりすぎて白くなることがあります。

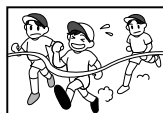
●より適切な明るさに調節するときは
手動で明るさ補正してください。
（☞111 ページ）

●手動で明るさ補正しているときは、逆光補正ボタンは、使えません。

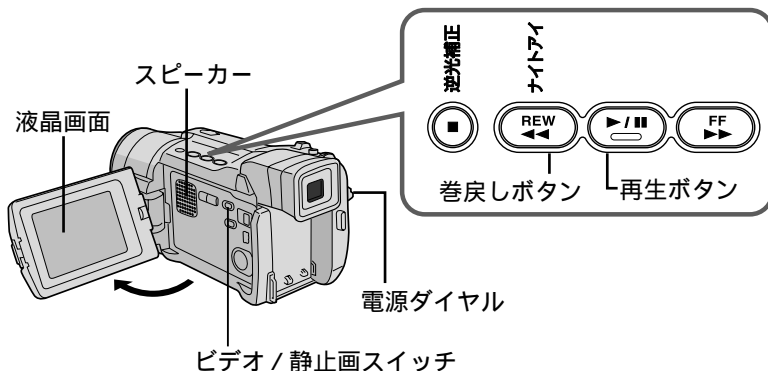
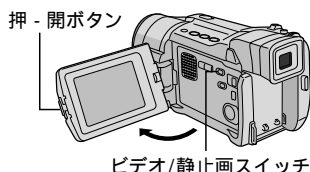
再生

撮った映像を見てみよう！

撮ったその場で
すぐ映像をチェック！

テレビやビデオデッキにつないで
家族や友達と見よう！

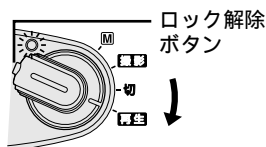
ズームして再生すれば
迫力満点の映像に！

ビデオカメラの画面で見る

●撮ったその場で映像を確認したいとき

ビデオカメラの液晶画面で再生映像を見ることができます。

1 **「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「ビデオ」に合わせる**

2 **ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「再生」に合わせる**

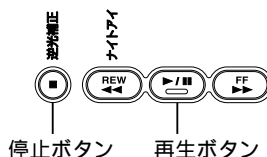
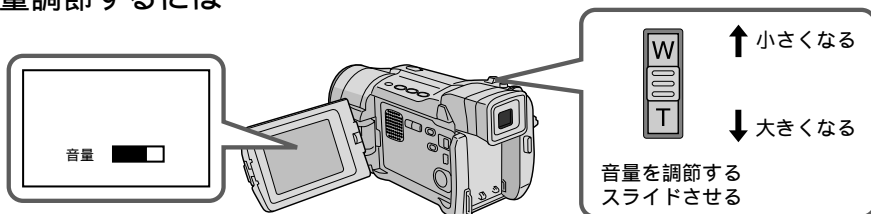
- 電源ランプが点灯し、電源が入ります。

3 **巻戻しボタン（◀◀）を押してテープを巻戻す**

4 **再生ボタン（▶/II）を押す**

- 画面に再生映像が映り、音声がスピーカーから出ます。ただし、AV コード接続時は音声が出ません。
- 再生をやめたいときは、停止ボタン（■）を押します。

音量調節するには

音量

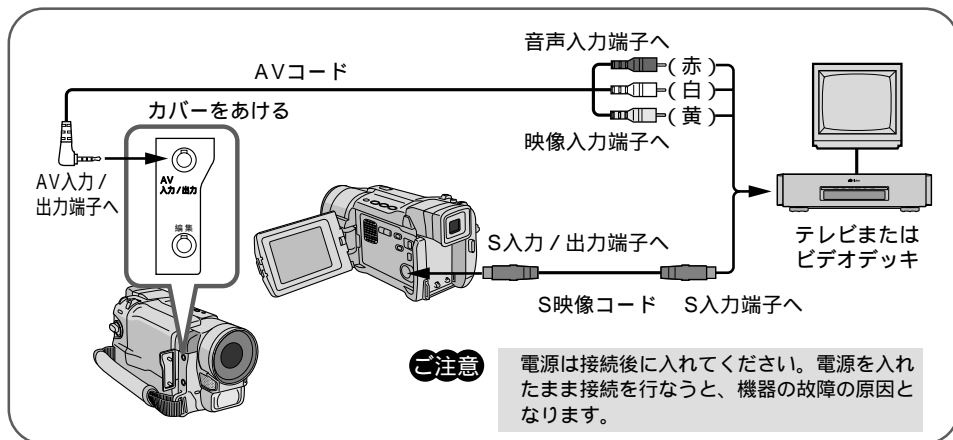
W
小さくなる
T
大きくなる
音量を調節するスライドさせる

色々な再生

こうして見たい	このボタンを押す		ふつうの再生に戻す
・画面を見ながら早送りして探し見したい（早送り再生）9倍速	再生中に FF ►►	1度ポンと押す	►/❚❚ 再生ボタンを押す
		押し続ける	指を離す
・画面を見ながら巻戻しして探し見したい（巻戻し再生）9倍速	再生中に REW ◄◄	1度ポンと押す	►/❚❚ 再生ボタンを押す
		押し続ける	指を離す
・画面を一時停止させて見たい（静止画再生）	再生中に ►/❚❚		►/❚❚ 再生ボタンを押す
・スローで再生したい（スロー再生）	通常再生または静止画再生中に（リモコンで操作） ◄❚ スロー ❚► どちらか一方を2秒以上押す		►/❚❚ ► ビデオカメラまたはリモコンの再生ボタンを押す 正転スロー再生を約2分、または逆転スロー再生を約1分続けると自動的に通常再生に戻ります。
・コマ送りで再生したい（コマ送り再生）	通常再生または静止画再生中に（リモコンで操作） ◄❚ スロー ❚► どちらか一方を押すたびにコマ送りします または静止画再生中にメニューダイヤルを回します。（＋側:正転、－側:逆転）		►/❚❚ ► ビデオカメラまたはリモコンの再生ボタンを押す

再生

●静止画再生を約 3 分以上続けると自動的に停止します。
●高速再生、スロー再生中は多少モザイクのかかったような映像になります。また、音声は出ません。
●スローボタンを押すと数秒間静止画になり、その後青い静止画（ブルーバック）が数秒間表示されるときがあります。故障ではありません。
●停止状態を 5 分以上続けると電源が自動的に切れます。ただし、電源ダイヤルが「再生」で、ACアダプターからの電源供給時は、電源が切れません。
●静止画にするために ►/❚❚（またはリモコンの ►）を押しても映像が静止するまでに多少時間がかかることがあります。
●モザイク状のノイズが出たり、青い画面のまま映像が出ないときは、ヘッドを清掃してください。（☞155 ページ）

テレビまたはビデオデッキにつないで見る

みんな揃ってビデオを楽しみたいときなど、ビデオカメラをご家庭のテレビやビデオデッキにつないで再生することができます。S映像端子付きのテレビまたはビデオデッキと本機をS映像コードを使ってつなぐと、より高画質の映像をお楽しみいただけます。

1 ビデオカメラをテレビまたはビデオデッキに接続する

2 テレビ、またはビデオデッキの電源を入れる

3 テレビのチャンネルやビデオデッキの入力モードを設定する

- ビデオカメラをテレビに接続したとき
  テレビの入力モードをビデオカメラを接続した端子に切り替えます。
  （例えば「ビデオ 1、ビデオ 2、ムービー」など）。
- ビデオカメラをビデオデッキに接続したとき
  テレビをビデオを見るチャンネルに合わせ、ビデオデッキの入力モードを外部入力に切り替えます。

4 再生する（☞72 ページ）

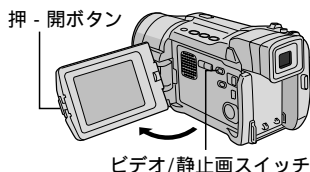
- ご使用になるテレビやビデオデッキによって、入力モードの設定方法は異なります。詳しくはテレビやビデオデッキの取扱説明書を参照してください。
- テレビから「ピー」「ウワーン」というノイズ音が出るときは、テレビからビデオカメラを離すか、テレビの音量を下げてください。

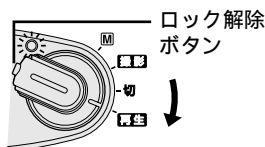
- **再生時のメッセージ表示を消すには**
  （☞78、80、148 ページ）
- **テレビに映像／音声が出ないときは**
  ビデオ再生モードメニューで「アナログ入力」を「切」にしてください。
  （☞175 ページ）

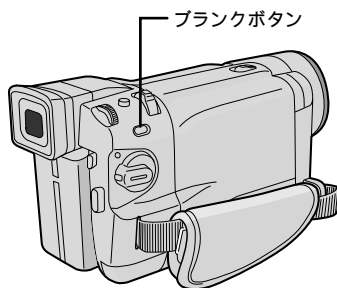
テープの録画されていない部分を探す（ブランクサーチ）

●テープの途中から撮影したいとき

ビデオテープの中にある5秒間以上録画されていない部分を探します。途中まで記録したビデオテープを取り出したり、再生したあとなどに撮影開始点を効率よく見つけることができます。

1 「押－開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「ビデオ」に合わせる

2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「再生」に合わせる

● 液晶画面に青い画面が表示されます。

3 ブランクボタンを押す

● ブランクサーチがスタートします。
5秒間以上の録画されていない部分を見つけると、約3秒手前で自動的に停止します。
● ブランクサーチを中止するには、停止ボタン（■）を押します。

● すでに映像が記録されている部分でも、5秒間以上の録画されていない部分があると停止します。停止した位置以降に記録されている部分がないか、録画を開始する前によく確認してください。

● 録画されていない部分から約3秒手前まで巻き戻して停止しますので、そこから録画をスタートすると、約3秒間映像が上書きされてしまいます。必要に応じて再生し、スタート位置を確認してください。

● ブランクサーチを映像の記録された部分からスタートすると早送り方向に、録画されていない部分からスタートすると巻き戻し方向にブランクサーチを行います。

再生音声を切り替える

● テープを再生するとき、ステレオ音声または左右どちらかの音声のみで再生するか設定するとき（音声切替）

● アフレコ編集したテープを再生するとき、撮影時の音声を再生するか、アフレコ音声を再生するか設定するとき（12BIT 音声）

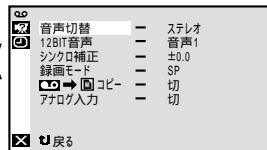
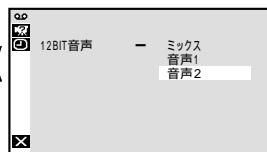
アフレコ編集（☞124ページ）したテープでは、撮影時の音声とアフレコ時に録音した音声（アフレコ音声）のどちらを再生するか選択できます。また、ビデオカメラは常にステレオ音声で録音しますが、片方のスピーカの音声のみを再生することもできます。

1 「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「ビデオ」に合わせる

2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「再生」に合わせ、メニューダイヤルを押す

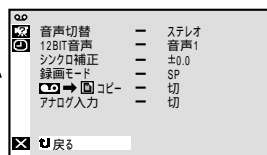
● メニュー画面が表示されます。

3 メニューダイヤルを押す

❹ メニューダイヤルで「音声切替」、または「12BIT音声」を選び、ダイヤルを押す

❺ メニューダイヤルでお好みのモードを選び、ダイヤルを押す

- 「音声切替」のモードについて
  - ステレオ : ステレオ音声で聞きたいとき
  - 音声L : 左の音声のみ聞きたいとき
  - 音声R : 右の音声のみ聞きたいとき
- 「12BIT音声」のモードについて
  - ミックス : 撮影時の音声とアフレコ音声を同時に聞きたいとき
  - 音声1 : 撮影時の音声を聞きたいとき
  - 音声2 : アフレコ音声を聞きたいとき

❻ メニューダイヤルを2回押す

- メニューを終了し、通常の再生画面に戻ります。

再生

- **再生中の音声モード（12BIT/16BIT）を確認するには**
  ビデオカメラは、ビデオの音声モードを自動判別して再生します。ビデオを再生すると、画面の左上端に再生中の音声モードが表示されます（早送り/巻戻し再生中は自動判別できません）。

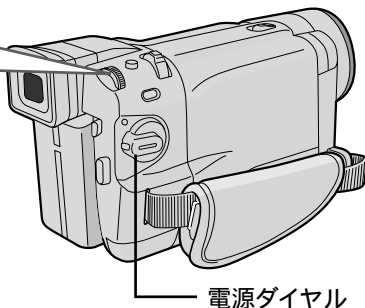
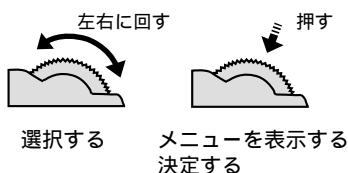
- **12BIT/16BIT音声について**
  従来のビクター製ビデオカメラでは、12BIT音声を32kHz音声、16BIT音声を48kHz音声と表現しています。

日時表示を切り替える

●日時表示を出したり、消したりしたいとき

テープに撮影すると、撮影した日時が自動的にテープに記録されます。テープを再生するときに日時表示を出したり消したりすることができます。

操作はココ！

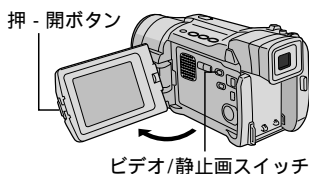
メニューダイヤルの使いかた

左右に回す　　押す

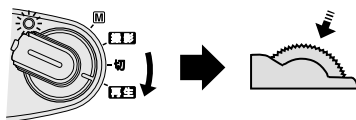
●選択する　　●メニューを表示する
●決定する

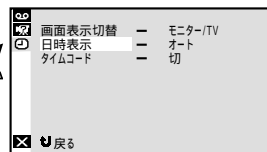
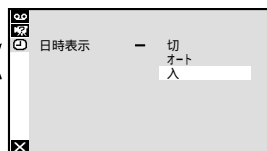
電源ダイヤル

1 **「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「ビデオ」に合わせる**

押ー開ボタン

ビデオ/静止画スイッチ

2 **電源ダイヤルを「再生」に合わせ、メニューダイヤルを押す**

● メニュー画面が表示されます。

3 **メニューダイヤルで「日時／表示」を選び、ダイヤルを押す**

❹ メニューダイヤルで「日時表示」を選び、ダイヤルを押す

❺ メニューダイヤルで「お好みのモード」を選び、ダイヤルを押す

●「日時表示」のモードについて

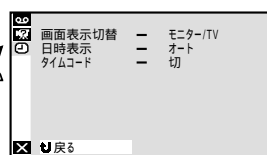
切　　：日時表示を出したくないとき

オート：日時表示を再生開始から 5 秒間のみ出したいとき
（撮影された日時が表示されます。）

入　　：常に日時表示を出したいとき

❻ メニューダイヤルを２回押す

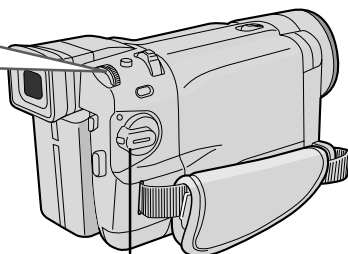
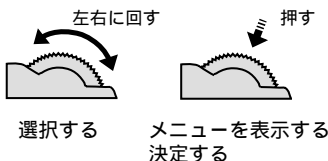
● メニューを終了し、通常の再生画面に戻ります。

再生

● 日時表示メニューは、電源ダイヤルが「M」のときも表示することができます。
（☞148 ページ）

●「オート」に設定すると電源ダイヤルを「撮影」または「M」にしたときも 5 秒間のみ日時表示が出ます。

タイムコード表示を設定する

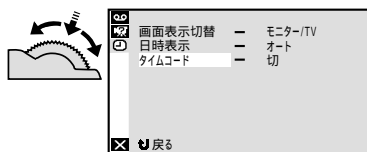
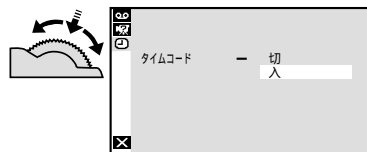
●テープの位置を確かめたいとき

テープに撮影すると、タイムコード（ビデオ撮影開始からの「分:秒:フレーム」）が自動的にテープに記録されます。ビデオの再生、編集、撮影の際にタイムコードを表示すると、テープの位置を確かめる目安となります。

例)「タイムコード」を「入」に設定する

1 ビデオ／静止画スイッチを「ビデオ」にする

2 電源ダイヤルを「再生」に合わせ、メニューダイヤルを押す

3 メニューダイヤルで「日時／表示」を選び、ダイヤルを押す

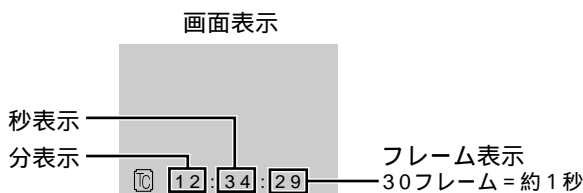
4 メニューダイヤルで「タイムコード」を選び、ダイヤルを押す

5 メニューダイヤルで「入」を選び、ダイヤルを押す

6 メニューダイヤルを２回押す

● メニューを終了し、通常の再生画面に戻ります。

ひとくちメモ

日時表示メニューは
電源ダイヤルが「M」のときも表示することができます。（☞148 ページ）

タイムコードとは

撮影中、ビデオカメラはテープの１コマ１コマに「タイムコード」と呼ばれる数字を記録していきます。「タイムコード」はビデオの撮影、再生や編集の際に、映像の位置を確かめる目安になります。自動編集（☞128 ページ）などはタイムコードを利用して行います。

● 早送り、巻き戻し時のタイムコード表示は、ビデオカメラがテープの位置を確認するため、タイムコードが数秒間前後することがあります。
● 撮影中は、分と秒のみ表示されます。

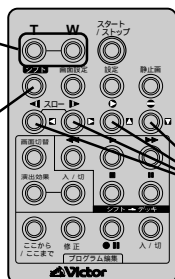
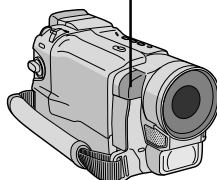
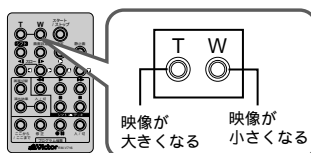
テープの途中に無記録部分があると誤動作の原因となります

テープに何も記録されていない部分を無記録部分と言います。同じテープの中の何も記録されていない部分から撮影を開始すると、タイムコードは「00:00:00」（分:秒:フレーム）から新たにタイムコードを記録していきます。１本のテープの中に複数の同一タイムコードが記録されるため、自動編集などの誤動作の原因になります。

次のような場合は一度再生して、場面の終わりを確かめてから撮影してください。
● 撮影後に確認のため再生してみたテープで引き続き撮影するとき
● 撮影の途中で電源やバッテリーが切れたとき
● 使い切っていないテープをビデオカメラから出し入れして撮影するとき
● 途中まで撮影したテープを使って撮影するとき
● テープの途中にある無記録部分に撮影したいとき
● 撮影後にテープのテープカバーを開閉した後で撮影するとき

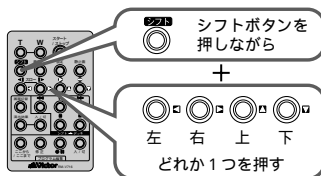
ズームして再生する

●再生中に画面をズームしたいとき

付属のリモコン（☞46ページ）を使うと、ビデオカメラでテープを再生しているときに、画面をズームすることができます。また、ズームした映像の中のお好きな場所に画面を移動させることができます。

1 再生中に画面をズームするには、リモコンの「T」ボタンを押す

通常再生

ズーム再生（10倍まで）

• 静止画再生／スロー再生中もズームできます。

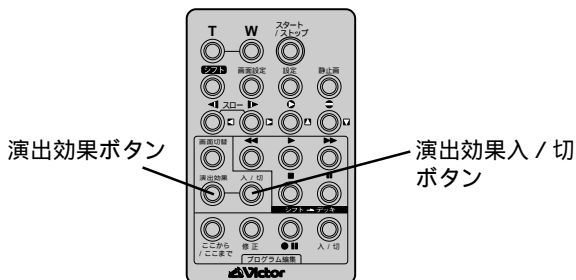
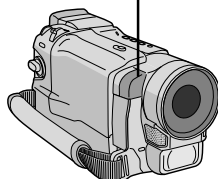
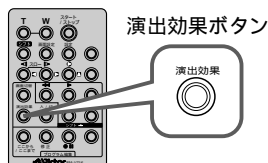
2 拡大した状態で画面を移動するには、シフトボタンを押しながら上下左右ボタンを押す

拡大再生　画面移動

●ズームをやめたいときは
通常の再生画面の大きさに戻るまで「W」を押します。または、リモコンの停止ボタンを押した後に再生ボタンを押します。

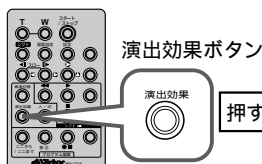
●ズームしたときの映像は
通常の再生画面よりも多少再生映像が粗くなります。

演出効果を加えて再生する

●再生中に効果を加えて楽しみたいとき

付属のリモコンを使うと、テープを再生しているときの映像に演出効果（プログラム AE ☞116 ページ）を加えることができます。

1 ビデオカメラの再生中にリモコンの演出効果ボタンを押す

再生演出効果

切		
1		映画効果
2	B/W	白黒
3		セピア
4		ストロボ

2 演出効果ボタンを押して演出効果を選ぶ

再生演出効果

切		
1		映画効果
2	B/W	白黒
3		セピア
4		ストロボ

●演出効果入／切ボタンで選んだ演出効果をいつでも入／切できます。

再生

Column コラム

知って得する ビデオ撮影のコツ

お子様の元気な様子を鮮明に残しましょう

ポイント 1

プログラムは事前にチェックします。演技の順番や場所、スタートの位置を確認し、場所を選びます。

ポイント 2

運動会の当日だけではなく、前日の様子や始まる前、お昼休み中などの様子も撮影します。

ポイント 3

遠くから撮影する場合やオートでピントが合わないときは、手動で撮影する方法もあります。

運動会編

1 入場門

始まる前に、校舎やタレ幕、はしゃいでいる子供達の様子を撮ります。

2 入場行進

入場門の横で低い位置に構えて待ちます。人物の動きに合わせてゆっくり撮影。

3 玉入れ

空を一緒に撮ると、子供達が暗く写るので、高い位置からねらいます。

4 徒競走

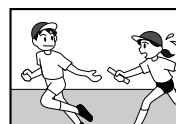
ゴールに近い位置からズームインし、ズームアウトしながらゴールを。

5 お昼の休憩

お弁当を食べている様子も撮りましょう。三脚を使うと全員入ります。

6 綱引き

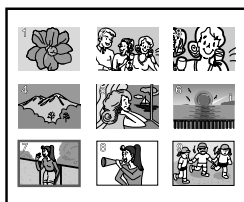
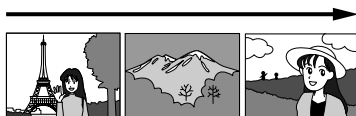
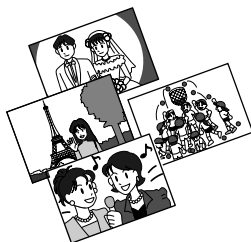
まず全員をズームアウトして撮り、お子様の顔や勝利の瞬間をアップで。

7 リレー

バトンタッチの少し手前で構え、走っている様子を追いかけます。

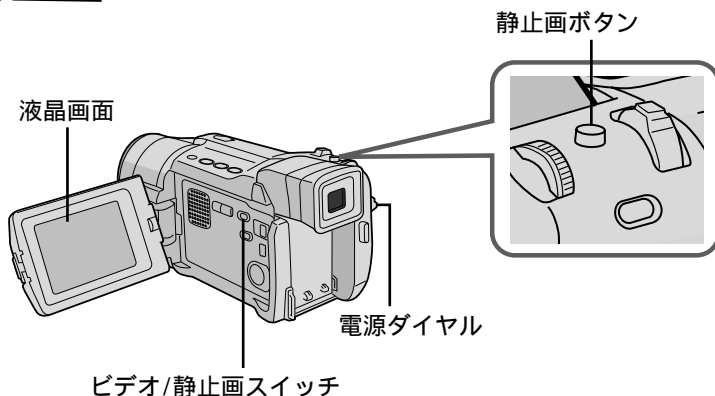
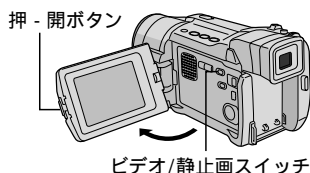
8 表彰式

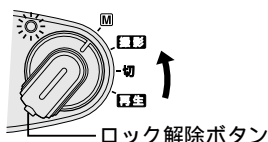
喜びの表情、くやしい表情など、子供達の表情や全体を撮ります。

デジタルスチルカメラとして楽しもう！

**撮った静止画を一覧表示して
お気に入りの静止画を探そう！**

**オートプレイを使えば
簡単に試写会ができる！**

**たくさんの静止画を撮って
メールやホームページを楽しもう！**

静止画をパソコンへ取り込むときは☞138ページ

メモリーカードに静止画を撮る

本機をデジタルスチルカメラとして使用することができます。撮影するとメモリーカードに静止画が記録されます。

1 「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「静止画」に合わせる

2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「M」または「撮影」に合わせる

- 電源ランプが点灯して電源が入ります。

静止画ボタンを押す

- フルモードで静止画が記録されます。
- 記録中は ➡ が点滅します。

• カードが入っていないと点滅します。
SD：SDメモリーカードを入れたとき
M：マルチメディアカードを入れたとき
• カード情報を読み込んでいるときは、黄色く点滅します。

●撮影可能枚数の目安は

画像サイズ	画　質	マルチメディアカード			SDメモリーカード			
		8MB(別売)	16MB(別売)	32MB(市販)	8MB(付属)	16MB(市販)	32MB(市販)	64MB(市販)
1280 x 960	ファイン	約16枚	約32枚	約64枚	約12枚	約28枚	約62枚	約120枚
	スタンダード	約50枚	約100枚	約200枚	約44枚	約98枚	約205枚	約405枚
1024×768	ファイン	約25枚	約50枚	約100枚	約20枚	約46枚	約98枚	約190枚
	スタンダード	約80枚	約160枚	約320枚	約66枚	約145枚	約310枚	約605枚
640×480	ファイン	約50枚	約105枚	約210枚	約46枚	約98枚	約205枚	約405枚
	スタンダード	約160枚	約320枚	約640枚	約150枚	約295枚	約625枚	約1215枚

●演出効果を設定していても静止画撮影時に働かないものがあります。
このようなときは、演出効果アイコンが点滅してお知らせします。

●記録された静止画像ファイルは
DCF (Design rule for Camera File system) に対応しています。DCF対応していない機器とは互換性がありません。

●SD メモリーカードについて
大切な画像を消してしまわないように、メモリーカードへ記録できなくすること（ライトプロテクト）ができます。ライトプロテクトをかけるには、メモリーカード側面のスイッチを「LOCK」の位置に合わせてください（スイッチを戻すと、再び記録できます）。

●画質／サイズを変更したいときは
(☞57 ページ)

●不要な静止画を削除したいときは
(☞96 ページ)

●静止画撮影ができないときは
静止画ボタンを押したとき画面に「PHOTO」が点滅してお知らせします。

●映像をズームしたいときは**(☞66ページ)**

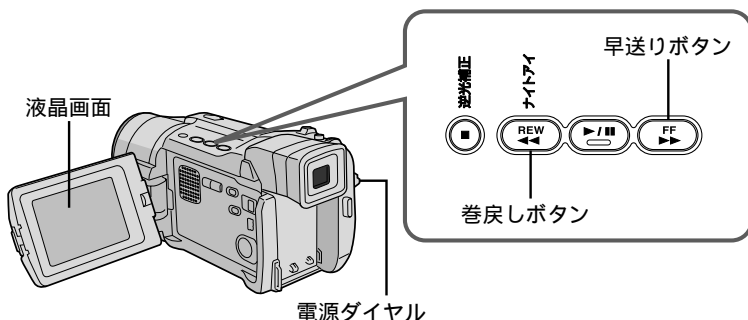
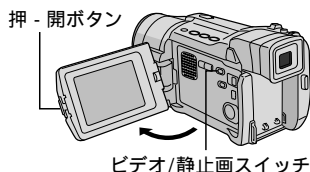
●ビデオライトを使用したいときは
(☞67 ページ)

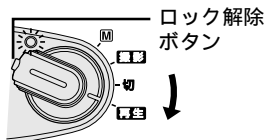
●逆光を補正したいときは**(☞70 ページ)**

●バッテリー使用時に5分以上撮影を一時停止したときは
ビデオカメラの節電のため、自動的に電源が切れます。再び撮影したいときは、電源ダイヤルを一度「切」にしてから「撮影」または「M」に戻してください。

●AV端子にコードが接続されているときは
「カシャ」音は出ません。

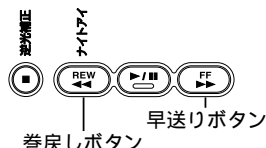
メモリーカードを再生する

撮ったその場で静止画を確認することができます。

1 「押－開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「静止画」に合わせる

2 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「再生」に合わせる

- 電源ランプが点灯し、電源が入ります。
- 静止画が表示されます。

3 早送りボタン（▶▶）を押す

- 次の静止画が表示されます。

巻戻しボタン（◀◀）を押す

- 前の静止画が表示されます。

静止画を１枚ずつ自動で再生するには（オートプレイ）
再生ボタン（▶/II）を押します
- 静止画が１枚ずつ自動で表示されます。
- オートプレイ中に巻戻しボタン（◀◀）を押すと逆方向のオートプレイを実行します。
- 止めたいときには、停止ボタン（■）を押します。

- **本機に対応していない画像サイズの静止画を再生したときは**
  静止画が縮小されて表示されます。また、この静止画はパソコンに取り込めません。
- **DCF対応していない機器で記録された静止画を再生したときは**
  「サポートされていません」と表示されます。
- **テレビにつないで静止画を見たいときは**
  （☞74 ページ）

静止画を一覧表示で見る（インデックス画面）

●見たい静止画を探すとき

メモリーカードに撮影した静止画を一覧表示します。再生またはプリントしたい静止画を探すときなどに役立ちます。

デジタルスチルカメラ

1： ファイル番号
ファイル番号は記録された順に 1、2、3‥‥というように付けられます。静止画が1から10の10画像あるとき、2、4、6の3画像を削除するとファイル番号は新しく付け直されて、1から7までの 7 画像になります。

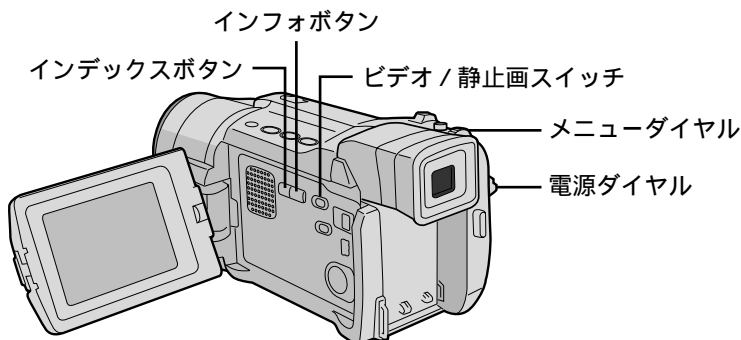
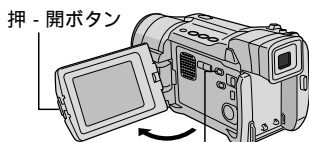
選択枠
静止画を選ぶときは、メニューダイヤルを回して、枠を選択したい静止画のところへ移動させます。
枠で囲まれた静止画が現在選択されている静止画です。

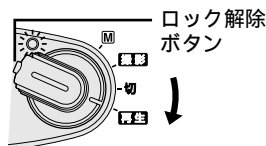
次ページへつづく

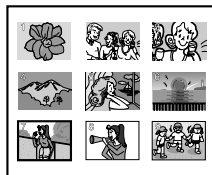
静止画を一覧表示で見る（インデックス画面）

インデックス画面から静止画を選んで再生する（インデックス再生）

インデックス画面で静止画を選んでからメニューダイヤルを押せば、選んだ静止画を再生することができます。

操作はココ！

1 液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「静止画」に合わせる

2 電源ダイヤルを「再生」に合わせる

- 電源ランプが点灯し、電源が入ります。

3 インデックスボタンを押す

- インデックス画面が表示されます。
- 巻戻しボタン（◀◀）または早送りボタン（▶▶）を押すと、ページ単位で表示を切り替えることができます。

4 メニューダイヤルで表示したい静止画を選び、ダイヤルを押す

- 選択した静止画が表示されます。

静止画のファイル情報を見る

● 撮影した日付や画像サイズなどを確認したいとき

静止画を表示しているときに、ファイル情報（日付や画像サイズなど）を確認することができます。

静止画のファイル情報

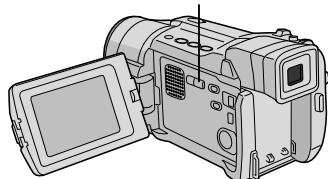
DCF	：	フォルダ番号とファイル番号が表示されます。
フォルダ	：	メモリーカード内のフォルダ名が表示されます。
ファイル	：	ファイル名が表示されます
日付	：	撮影した日付が表示されます。
サイズ	：	画像サイズが表示されます。（☞57 ページ）
画質	：	記録した静止画の画質が表示されます。（☞57 ページ）
プロテクト	：	ファイルにプロテクトをかける（間違って削除しないようにする）と、「ON」が表示されます（☞93 ページ）

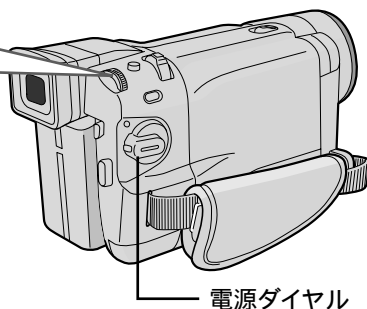
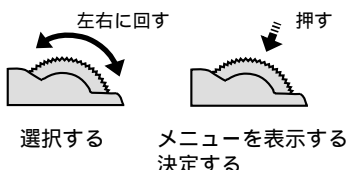
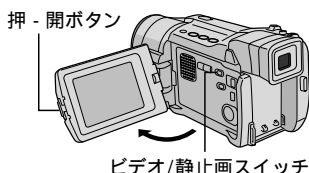
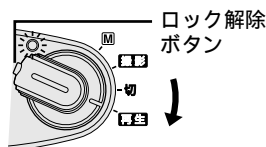
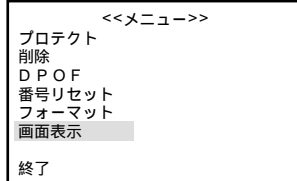
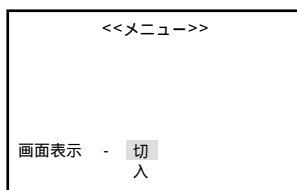
●他の機器で撮影された静止画などの画質は「－－－」と表示されます。

ファイル情報を表示する

静止画またはインデックス画面が表示されているときにインフォボタンを押す

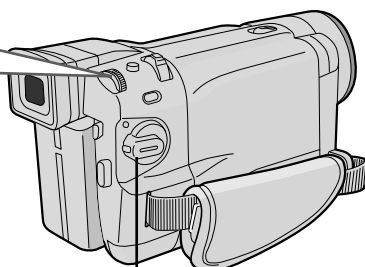
- ファイル情報が表示されます。
- 表示を消すには、再度、インフォボタンを押します。

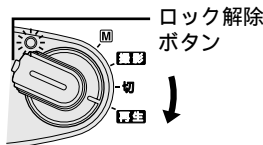
インフォボタン

静止画の再生画面表示を変更する

静止画の再生時に表示されるモード表示（▶）やバッテリー表示（▭）を消すことができます。

1 **液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「静止画」に合わせる**

2 **電源ダイヤルを「再生」に合わせ、メニューダイヤルを押す**

3 **メニューダイヤルで「画面表示」を選び、ダイヤルを押す**

4 **メニューダイヤルで「切」を選び、ダイヤルを押す**

静止画を削除できないようにする（プロテクト）

● 大切な静止画を削除したくないとき

間違えて削除しないように、大切な静止画にはプロテクトをかけることをおすすめします。
プロテクトをかけた静止画は削除されません。

静止画にプロテクトをかける

1 液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「静止画」に合わせる

2 電源ダイヤルを「再生」に合わせ、メニューダイヤルを押す

3 もう一度メニューダイヤルを押す

● 「表示ファイル」「すべてプロテクト」「すべて解除」が表示されます。

次ページへつづく

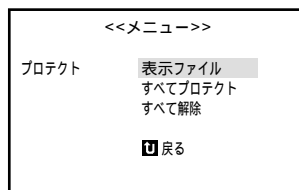
静止画を削除できないようにする（プロテクト）

❹ もう一度メニューダイヤルを押す

● プロテクト画面が表示されます。

<<メニュー>>

プロテクト　表示ファイル
すべてプロテクト
すべて解除

戻る

❺ 「◀◀」または「▶▶」ボタンを押してプロテクトをかける静止画を選ぶ

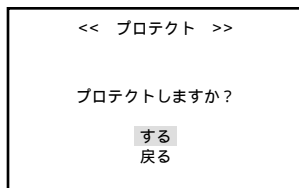
❻ メニューダイヤルで「する」を選び、ダイヤルを押す

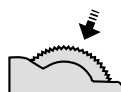
● 静止画がプロテクトされ、静止画中央に「O-π」マークが表示されます。

● 他の静止画もプロテクトしたいときは、手順 ❺ ～ ❻ を繰り返します。

<<　プロテクト　>>

プロテクトしますか？

する
戻る

❼ メニューダイヤルを 3 回押す

● 再生画面に戻ります。

<すべての静止画をプロテクトしたいときは>

手順 ❹ で「すべてプロテクト」を選び、メニューダイヤルを押します。表示された画面で「する」を選び、ダイヤルを押すと、すべての静止画がプロテクトされます。

● SDカードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、ファイルにプロテクトをかけることはできません。

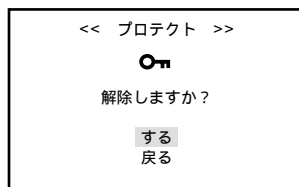
● ファイルにプロテクトをかけていても、フォーマットした場合は削除されます。必要なファイルはパソコンに転送して保存してください。

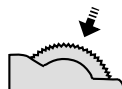
静止画のプロテクトをはずす

1 93、94 **ページの手順❶～❹を行う**

- プロテクト画面が表示されます。

2 **プロテクトをはずしたい静止画を選んでから、メニューダイヤルで「する」を選び、ダイヤルを押す**

- 静止画中央の「O┳」マークが消えます。
- 他の静止画もプロテクトをはずしたいときは、手順❷を繰り返します。

3 **メニューダイヤルを 3 回押す**

- 再生画面に戻ります。

＜すべての静止画のプロテクトをはずしたいときは＞

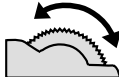
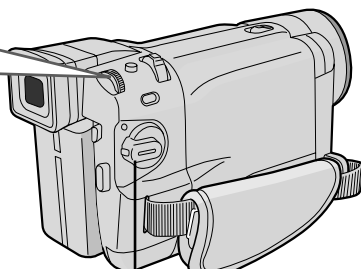
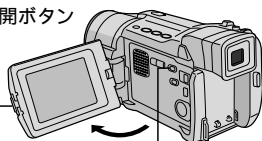
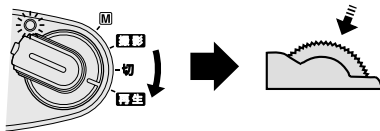
94 ページの手順❹で「すべて解除」を選び、メニューダイヤルを押します。表示された画面で「する」を選び、ダイヤルを押すと、すべての静止画のプロテクトがはずれます。

- SDカードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、ファイルのプロテクトをはずすことはできません。

静止画を削除する

●不要な静止画を削除したいとき

メモリーカードに空きがなくなると静止画を撮れなくなります。不要な静止画を削除してください。

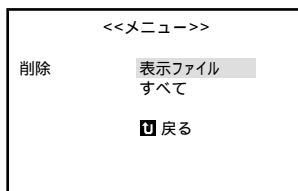
静止画を選択して削除する

1 **液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「静止画」に合わせる**

2 **電源ダイヤルを「再生」に合わせ、メニューダイヤルを押す**

3 **メニューダイヤルで「削除」を選び、ダイヤルを押す**

●「表示ファイル」「すべて」が表示されます。

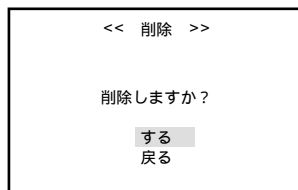
<<メニュー>>
プロテクト
削除
DPOF
番号リセット
フォーマット
画面表示

終了

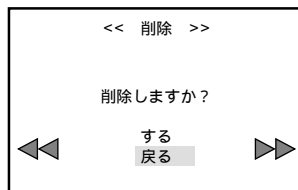
❹ もう一度メニューダイヤルを押す

● 削除画面が表示されます。

❺ 「◀◀」または「▶▶」ボタンを押して、削除したい静止画を表示する

❻ メニューダイヤルで「する」を選び、ダイヤルを押す

● 表示されている静止画が削除されます。

❼ 他の静止画も削除したいときは、手順❺～❻を繰り返す

❽ 静止画の削除を終了するときは、「戻る」が選ばれていることを確認して、メニューダイヤルを 3 回押す

● 静止画の再生画面に戻ります。

静止画を削除する

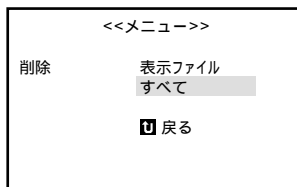
すべての静止画を削除する

1 「静止画を選択して削除する」（☞96ページ）の手順❹で「すべて」を選び、メニューダイヤルを押す

● 削除画面が表示されます。

<<メニュー>>

削除　　表示ファイル
　　　　すべて

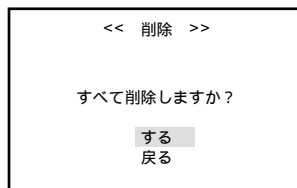
　　　　戻る

2 メニューダイヤルで「する」選び、メニューダイヤルを押す

● 削除をやめるには「戻る」を選びます。

● 静止画がすべて削除されます。

<<　削除　>>

すべて削除しますか？

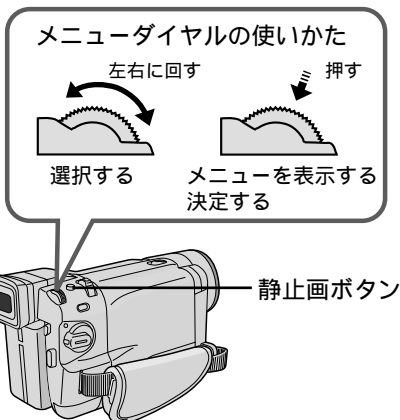
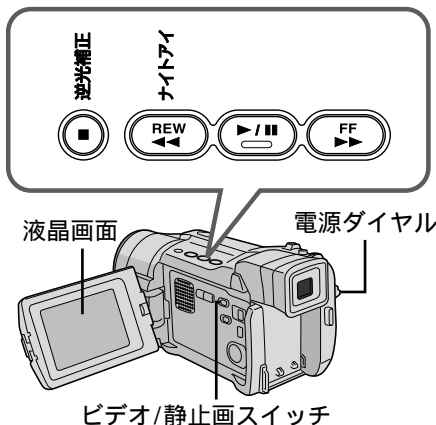
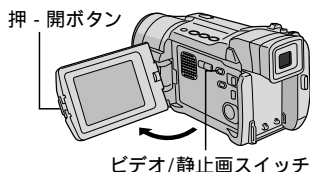
する
戻る

● SDカードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、静止画は削除できません。

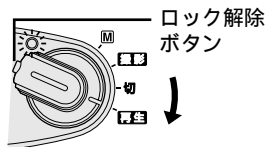
● プロテクトした静止画は、上記の操作で削除されません（☞93ページ）。
プロテクトした静止画を削除するには、あらかじめプロテクトを解除しておきます（☞95ページ）。

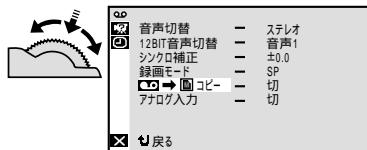
● 削除中はメモリーカードを取り出したり、電源を切らないでください。故障などの原因となることがあります。
また、別売のACアダプターをお使いください。途中でバッテリーがなくなると、故障の原因となります。

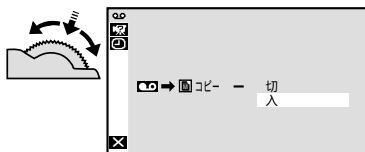
● 削除した画像は元に戻せません。削除する前に内容を確認してください。

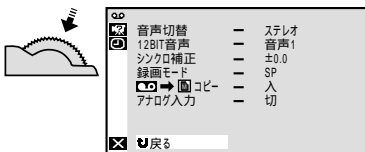
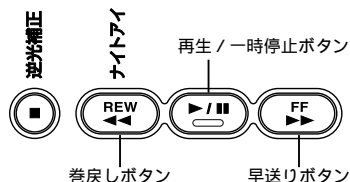
テープからメモリーカードへコピーする

● テープに撮った映像を静止画としてパソコンへ取り込みたいとき

1 液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「ビデオ」に合わせる

2 電源ダイヤルを「再生」に合わせる

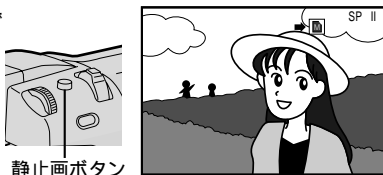
● 電源ランプが点灯し、電源が入ります。

3 メニューダイヤルを 2 回押す

4 メニューダイヤルで「 ➡ M コピー」を選び、ダイヤルを押す

次ページへつづく

❺ メニューダイヤルで「入」を選び、ダイヤルを押す

❻ メニューダイヤルを 2 回押す

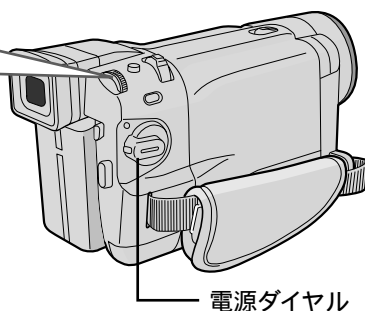
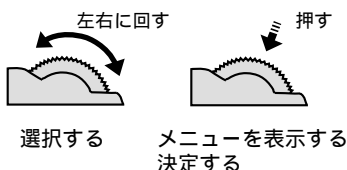
- 再生画面に戻ります。

❼ 再生／一時停止ボタン、早送りボタン、巻戻しボタンでコピーしたい画像を探す

❽ コピーする画像が見つかったら再生／一時停止ボタンを押して再生一時停止にする

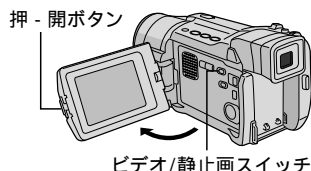
❾ 静止画ボタンを押す

- 選んだ画像がメモリーカードに640×480ドットでコピーされます。
- コピー中は「➡」表示が点滅します。

- 「メモリーカードへ記録できません」と表示されたときは（☞44 ページ）
- コピーをするときの静止画（記念写真）モードを選ぶことができます。記念写真モードについては（☞140 ページ）

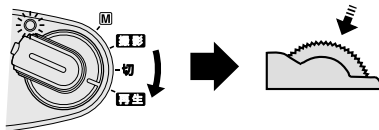
プリント情報を設定する（DPOF設定）

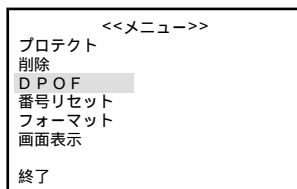
● 静止画を自動プリントしたいとき

今後の自動プリントシステムなど将来の環境を考慮し、自動プリントするための情報を記録するDPOF（Digital Print Order Format）規格に対応しています。
DPOF設定で自動プリントの指定ができるのは、メモリーカードに記録された静止画のみです。ビデオの映像をDPOF設定によってプリントしたいときは、プリントしたい場面をあらかじめ静止画としてメモリーカードにコピーしておきます（☞99ページ）。

すべての静止画を1枚ずつプリントするよう設定する

1 液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「静止画」に合わせる

次ページへつづく

プリント情報を設定する（DPOF設定）

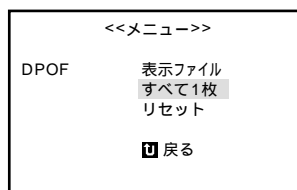
❷ 電源ダイヤルを「再生」に合わせ、メニューダイヤルを押す

❸ メニューダイヤルで「DPOF」を選び、ダイヤルを押す

● 「表示ファイル」「すべて１枚」「リセット」などが表示されます。

❹ メニューダイヤルで「すべて１枚」を選び、ダイヤルを押す

● DPOF 画面が表示されます。

<<メニュー>>

DPOF　表示ファイル
すべて1枚
リセット

戻る

❺ メニューダイヤルで「する」を選び、ダイヤルを押す

● 再生画面に戻ります。

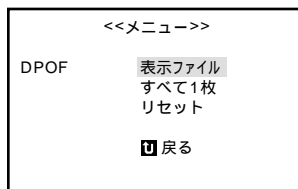
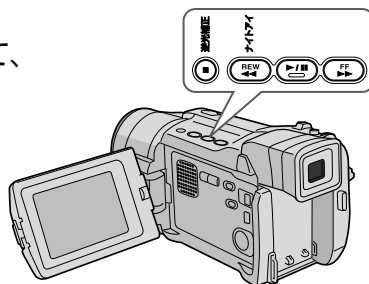
<< DPOF >>

すべて１枚

する
戻る

静止画とプリント枚数を選んで設定する

❶ 「すべての静止画を１枚ずつプリントするよう設定する」（☞101 ページ）の手順 ❹ で「表示ファイル」を選び、メニューダイヤルを押す

● DPOF 画面が表示されます。

❷ 「◀◀」または「▶▶」ボタンを押して、プリントしたい静止画を選ぶ

❸ メニューダイヤルで「00」を選び、ダイヤルを押す

● 枚数設定を変更できるようになります。

● すでに枚数が設定されている場合は、「00」のかわりに設定されている枚数が表示されています。

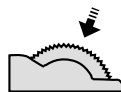
❹ メニューダイヤルで枚数を設定し、ダイヤルを押す

● 最大 15 枚まで設定できます。

❺ 他の静止画も設定したいときは、手順 ❷ ～ ❹ を繰り返す

次ページへつづく

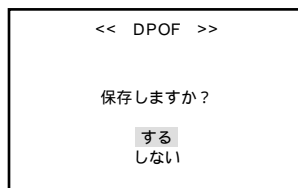
❻ 「戻る」が選ばれていることを確認して、メニューダイヤルを押す

● 設定の保存を確認する画面が表示されます。

❼ メニューダイヤルで「する」を選び、ダイヤルを押す

● 設定が保存され、再生画面に戻ります。

<< DPOF >>

保存しますか？

する
しない

＜枚数をすべて0枚に戻すには＞

「すべての静止画を１枚づつプリントするよう設定する」の手順❹で「リセット」を選んでください。すべての静止画が 0 枚に設定されます。

● 操作中は電源を抜かないでください。静止画像ファイルが壊れます。安全のため、DPOF設定の実行中は電源ダイヤルを含むすべてのボタンが働きません。

● SD カードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、DPOF設定を実行することはできません。

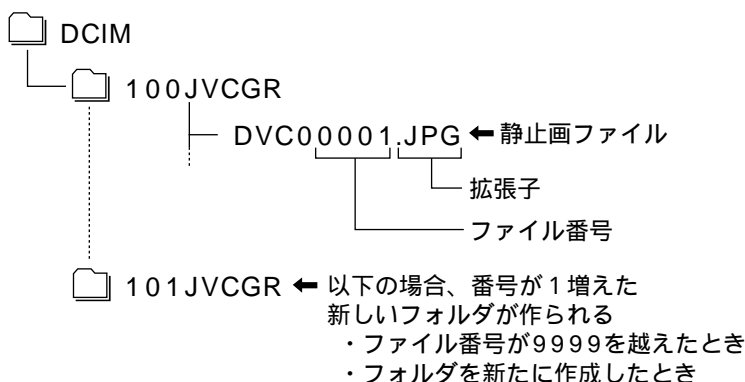
● DPOF対応プリンターを使用する場合、上記の操作をしたメモリーカードを入れると選択した静止画だけを自動的に印刷できます。

● テープの映像を印刷するには、あらかじめメモリーカードへコピーしてください（☞99 ページ）。

静止画のファイル名をリセットする

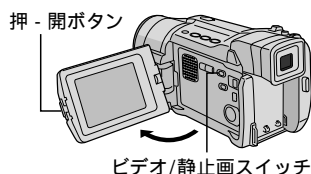
静止画は、撮影した順に「0001」から「9999」までの番号を持ったファイル名がつけられます。リセットを行うと、新たにフォルダを作成し、その中に「0001」から始まるファイル名をつけて保存するようになります。例えば、これまでの静止画とこれから撮影する静止画の区別をつけやすくしたいときに便利です。

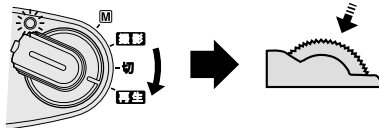
静止画のファイル名とフォルダ名について

静止画のファイル名は「DVC00001.JPG」「DVC00002.JPG」…の順につけられます。「DVC09999.JPG」を越えると、自動的に新しいフォルダが作成され、その中に「DVC00001.JPG」として保存されます。

- **途中の番号の静止画を削除したときは、その番号は使用されません。撮影した最新の静止画は、つねにフォルダ内で一番大きな番号を持ったファイル名がつけられます。**

❶ 液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「静止画」に合わせる

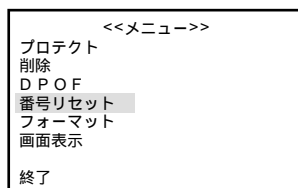
次ページへつづく

デジタルスチルカメラ

静止画のファイル名をリセットする

❷ 電源ダイヤルを「再生」に合わせ、メニューダイヤルを押す

❸ メニューダイヤルで「番号リセット」を選び、ダイヤルを押す

● 番号リセット画面が表示されます。

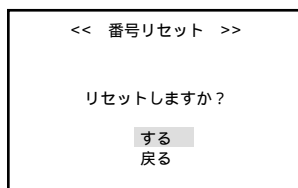
<<メニュー>>
プロテクト
削除
DPOF
番号リセット
フォーマット
画面表示

終了

❹ メニューダイヤルで「する」を選び、ダイヤルを押す

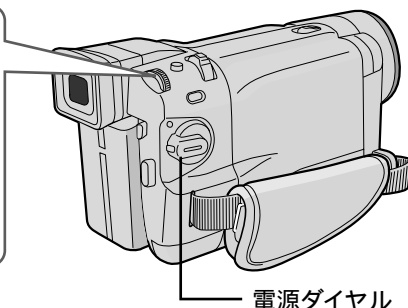
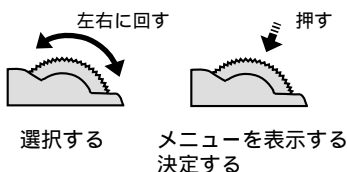
● 静止画の再生画面に戻ります。

<<　番号リセット　>>

リセットしますか？

する
戻る

メモリーカードを初期化する（フォーマット）

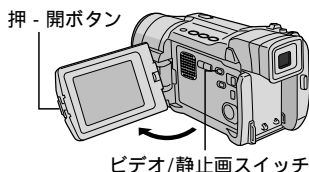
万一、一部のファイルが読み書きできなくなったなどの不具合が生じた場合は、メモリーカードをフォーマットすることで機能を回復できることがあります。通常、メモリーカードのフォーマットは不要ですが、どうしてもフォーマットする必要が生じた場合は、下記の手順で行ってください。
フォーマットするとメモリーカード内のファイルはすべて消去されます。

デジタルスチルカメラ

1 AC アダプターを取り付ける

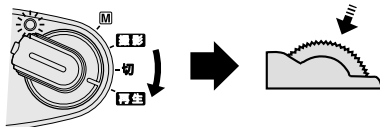
- AC アダプターを取り付けるには（☞52 ページ）

2 保存したいファイルがあればコピーする

- パソコンにファイルを取り込むには（☞138ページ）
- ファイルが壊れているときは、コピーできないこともあります。

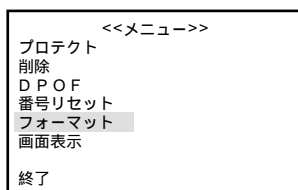
3 液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「静止画」に合わせる

次ページへつづく

メモリーカードを初期化する（フォーマット）

4 電源ダイヤルを「再生」に合わせ、メニューダイヤルを押す

5 メニューダイヤルで「フォーマット」を選び、ダイヤルを押す

- フォーマット画面が表示されます。

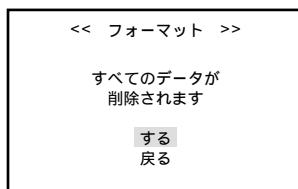
<<メニュー>>
プロテクト
削除
D P O F
番号リセット
フォーマット
画面表示

終了

6 メニューダイヤルで「する」を選び、ダイヤルを押す

- メモリーカードがフォーマットされます。フォーマットが終了すると、再生画面に戻ります。
- フォーマットをやめるには「戻る」を選びます。

<<　フォーマット　>>

すべてのデータが
削除されます

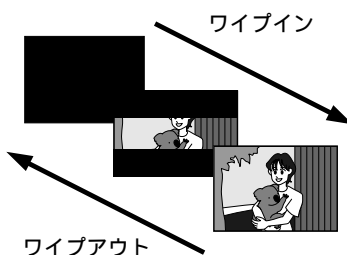
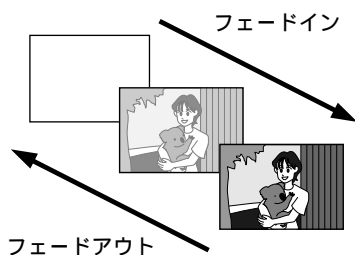
する
戻る

- フォーマット中は電源を切ったり、ほかの操作をしないでください。故障の原因となります。
- ファイルにプロテクトをかけていても、フォーマットした場合は消去されます。必要なファイルはパソコンに転送して保存してください。

- SDカードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、フォーマットすることはできません

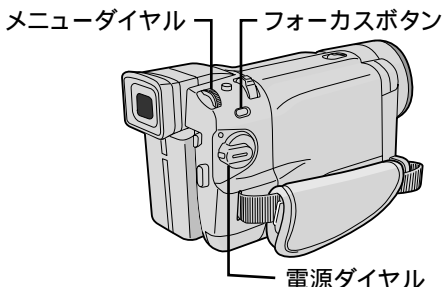
- メモリーカードは精密機器です（☞165ページ)。フォーマットしても、メモリーカードの機能が回復しない場合は、新しいメモリーカードを購入してください。

手動

マニュアル（手動）撮影で さらに高度なビデオライフを！

場面の切替を演出して、思い出を楽しく残そう！

ピントを手動で合わせる（マニュアルフォーカス）

●ピントが合いにくいとき

オートフォーカスでは、約 5 センチから無限遠まで自動的にピントが合います。しかし、ピントが合いにくいときや被写体が画面中央にないときは、手動でピントを合わせてください。

1 電源ダイヤルを「M」に合わせる

2 フォーカスボタンを押す

● ピントの調整モードになります。

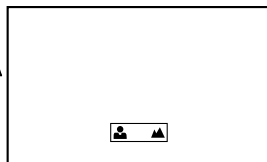
フォーカスボタン

3 メニューダイヤルを回してピントを合わせる

● 被写体が良く見えるように合わせます。

左いっぱいに回す（－側）（最至近点） ⟷ 右いっぱいに回す（＋側）（最遠点）

4 メニューダイヤルを押す

● フォーカスが固定します。固定したピントを合わせ直したいときは、手順 ❷からくり返します。

＜ピントをオートフォーカスに戻すには＞

● 手順 ❷ でフォーカスボタンを 2 回押します。

● 電源ダイヤルを「撮影」に合わせてもオートフォーカスに切り替えることができます。

●こんなときに手動でピントを合わせます
- 平らな壁や青空など、コントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るとき
- 金網などの障害物が被写体との間にあるとき
- 細かい模様や同じ模様が規則正しく並んでいる被写体を撮るとき
- 蛍光灯などのちらつきのある光源の下で撮影するとき

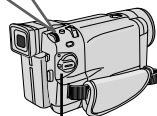
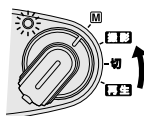
画像の明るさを調節する（明るさ補正）

●逆光補正ボタン（☞70ページ）で補正できないとき
●スポットライト機能（☞116ページ）で補正できないとき

太陽が背景にあって被写体が暗くなったり、スポットライトなどがあたって被写体が明るくなりすぎるとき、逆光補正ボタンやスポットライト機能では補正しきれないことがあります。このようなときは、手動で明るさを調節してください。

❶ 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

●メニューが表示されます。

M
撮影
切
再生

❷ メニューダイヤルで「明るさ補正」を選び、ダイヤルを押す

❸ メニューダイヤルで「マニュアル」を選び、ダイヤルを押す

オート
マニュアル

❹ メニューダイヤルを回して明るさを調節する

● 被写体を程良い明るさに調節します。
●「＋ 3」は逆光補正ボタンと同じ効果です。
●「－ 3」はスポットライト機能と同じ効果です。

＋6

左に回す：暗くする（–6まで）
右に回す：明るくする（+6まで）

❺ メニューダイヤルを押す

● 明るさの補正が固定されます。
固定した明るさを合わせ直したいときは、手順❷からくり返します。

＜明るさを自動調節に戻すには＞

● 手順 ❸ で「オート」を選択します。
● 電源ダイヤルを「撮影」に合わせても自動調節に切り替えることができます。

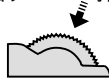
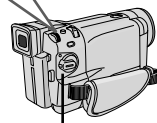
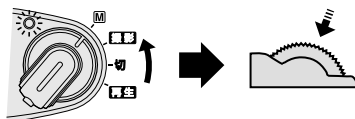
●**一定の明るさで撮影するには**
・手順❹のあと、メニューダイヤルを2秒以上押す。明るさ調節表示の数字の横にLが表示されます。
・再度メニューダイヤルを押す
明るさが固定されます。動きのある被写体や、ズーム操作を行うときなど画面上の被写体を一定の明るさにすることができます。

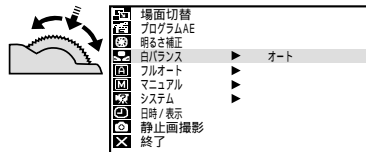
● **明るさ補正機能は**
逆光補正ボタン（☞70ページ）、スポットライト機能（☞116ページ）、スノー機能（☞116ページ）などとの併用はできません。

手動

画像の色合いを調節する（白バランス）

●画像の色合いが不自然なとき

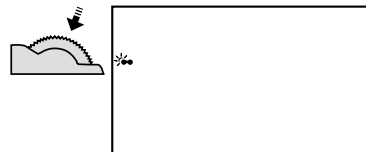
ビデオカメラは、通常、色のバランスを自動的に調節し、最も自然な色合いを再現します。ただし、天候やビデオライトなど光源の状態によって、自然な色合いを再現できないときは、手動で白バランスを設定してください。

❶ **電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す**

❷ **メニューダイヤルで「白バランス」を選び、ダイヤルを押す**

● 白バランスメニューが表示されます。

❸ **メニューダイヤルでモードを選択し、ダイヤルを押す**

次の5つのモードから選択できます。

- オート ---------- 自動的に色のバランスを調節します。フルオートモードでは「オート」に設定されています。
- ワンタッチ ---------- あらかじめ被写体に合わせて設定しておいた色のバランスで撮影したいときに選択します。(☞113ページ)
- はれ ---------- 晴れた日に屋外で撮影するときに選択します。
- くもり ---------- 曇りの日や日陰で撮影するときに選択します。
- ハロゲン ---------- ビデオライトなどの照明を使用して撮影するときに選択します。

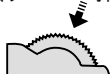
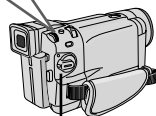
❹ **メニューダイヤルを押す**

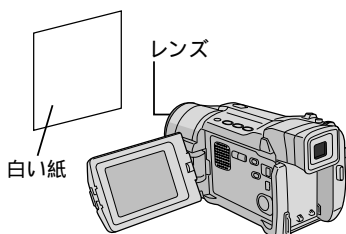
● 白バランスが固定されます。

<白バランスを自動調節に戻すには>

● 手順 ❸ で「オート」を選択します。

白バランスを正確に設定する

●自然な色で撮影したいとき

ビデオカメラに設定されている白バランスモードで撮影するより正しい色で撮影することができます。

1 レンズの前に白い紙を置き、画面いっぱいに白い紙を映す

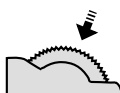
- ピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカス（☞109 ページ）であわせてください。
- 裏の透けない紙（コピー用紙など）をお使いください。

2 前ページ（☞112 ページ）の手順 ❸ で「ワンタッチ」を選ぶ

3 「 」が点滅するまでメニューダイヤルを押し続ける

- 「 」の点滅が止まったところの色のバランスが、ビデオカメラに記憶されます。

4 メニューダイヤルを 2 回押す

- 「 」が表示されます。

手動

●設定した白バランスは
「ワンタッチ」に別の白バランスを設定するまで記憶されています。

●室内で撮影するときは
外光、蛍光灯、ロウソクの光など、いろいろな光源が被写体にあたります。自然な色合いで撮影したいときは白バランスを調節してください。

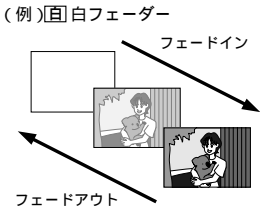
変化をつけて映像をつなぐ（場面切替）

● 場面と場面のつなぎ目に変化をつけたいとき

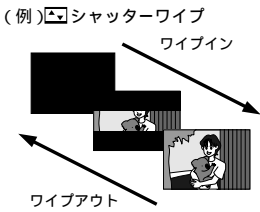
「白・黒画面で切替」を使ったときの効果

1）フェーダー効果

ビデオの撮り始めと撮り終わりをフェードイン、フェードアウトでつなぎます。

（例）白 白フェーダー

2）ワイプ効果

ビデオの撮り始めと撮り終わりをワイプイン、ワイプアウトでつなぎます。

（例）シャッターワイプ

場面切替には 9 種類の効果があります。

■白・黒画面で切替

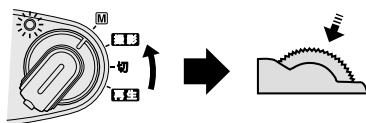
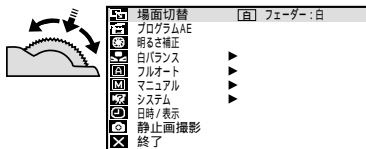
アイコン	効　果
白 フェーダー：白	白い画面でフェードイン、フェードアウトします。
黒 フェーダー：黒	黒い画面でフェードイン、フェードアウトします。
白黒 フェーダー：白黒	白黒画面からカラー画面にフェードインし、カラー画面から白黒画面にフェードアウトします。
ワイプ：コーナー	黒い画面の右上から左下へ映像が徐々にワイプインし、左下から右上へワイプアウトします。
ワイプ：ウィンドウ	黒い画面の中心から映像が徐々にワイプインし、画面の中心へワイプアウトします。
ワイプ：スライド	黒い画面の右から左へ映像が徐々にワイプインし、左から右へワイプアウトします。
ワイプ：ドア	黒い画面の中央から映像が左右にドアを開けていくように徐々にワイプインし、閉めていくようにワイプアウトします。
ワイプ：スクロール	黒い画面から映像が下から上へ徐々にワイプインし、上から下へワイプアウトします。
ワイプ：シャッター	黒い画面の中央から映像が上下に徐々にワイプインし、上下から中央にワイプアウトします。

ご注意

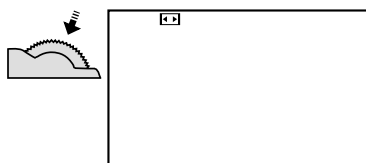
- アイコンが点滅しているとき、またはアイコンが表示されないときは、その機能は動作しません。
（☞115 ページ）

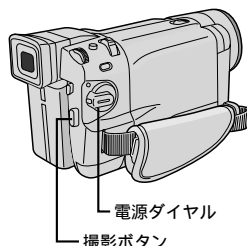
場面切替を設定する

❶ 電源ダイヤルを「Ⓜ」に合わせ、メニューダイヤルを押す

- メニュー画面が表示されます。

❷ メニューダイヤルで「場面切替」を選び、ダイヤルを押す

❸ メニューダイヤルでお好みの場面切替を選ぶ

❹ メニューダイヤルを 2 回押す

- 選択した場面切替が設定され、画面に選択した場面切替のアイコンが表示されます。

❺ 撮影ボタンを押す

- 選択した場面切替でビデオを撮り始めます。
- もう一度撮影ボタンを押すと選択した場面切替でビデオを撮り終えます。

<場面切替をやめたいときは>

- **手順 ❸ で「切」を選択します。**

- **場面切替設定と演出効果設定（☞114、116ページ）を一緒に使うと**
  さらに効果的なビデオ撮影をお楽しみいただけます。ただし、演出効果設定と一緒に使えない場面切替があります。
  場面切替設定アイコンが点滅して、使えない機能であることをお知らせします。

手動

映像に変化をつける（プログラムAE）

● 映像そのものに変化をつけたいとき

被写体をセピア色に撮影したり、暗い場所の被写体を明るく撮影することなどができます。プログラム AE は全部で 10 種類の効果があります。

アイコン	効　果
1/60 シャッター1/60	テレビ画面などを撮影するときに出る黒い帯は細くなります。
1/100 シャッター1/100	蛍光灯や水銀灯の光で撮影するときに出るちらつきは少なくなります。（50Hz地域のみ）
スポーツ	被写体の明るさに合わせてシャッタースピードを1/250から1/4000まで自動的に調節して撮影します。スポーツをしている人物やモータースポーツなど、動きの速い被写体を1コマ1コマ鮮明に撮ることができます。
スノー	晴れた日の雪原など周囲が明るい場所で撮影するときに、被写体を明るく補正することができます。効果としては「逆光補正」（☞ 70ページ）と同じですが、こちらの方がやや弱い効果になるので「逆光補正」では効果が強すぎる場合に便利です。
スポットライト	スポットライトなどがあたって被写体（人物）が明るく写りすぎるときに、被写体を暗く補正することができます。
夜景	夜景などを撮るとき、映像がザラザラせず、自然な感じで記録することができます。「白バランス」は ☀ になりますが、お好みの設定に変えることができます。（☞112ページ）ピントは、10m～無限遠の間では自動的に合います。10m以内の間では手動で合わせてください。

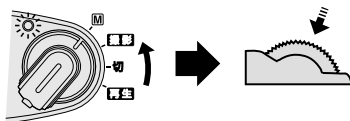
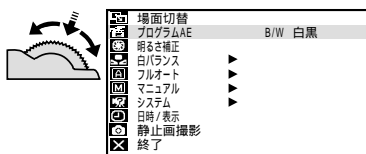
アイコン	効　果
セピア	古い写真のようなセピア色で映像を記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」（☞ 143ページ）と合わせて使うと、古い白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。
B/W 白黒	映像を白黒で記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」と合わせて使うと、白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。
映画効果	早いコマ落とし効果を付けて映像を記録します。（ビデオモードのみ）
ストロボ	コマ落としの効果で、連続写真のように記録します。（ビデオモードのみ）

ご注意

- アイコンが点滅しているとき、またはアイコンが表示されないときは、その機能は動作しません。（☞117 ページ）

プログラムＡＥを設定する

❶ 電源ダイヤルを「Ⓜ」に合わせ、メニューダイヤルを押す

● メニュー画面が表示されます。

❷ メニューダイヤルで「 プログラムAE」を選び、ダイヤルを押す

❸ メニューダイヤルでお好みのプログラム AE を選ぶ

❹ メニューダイヤルを 2 回押す

● メニューを終了し、通常の撮影画面に戻ります。

手動

＜プログラム AE をやめたいときは＞

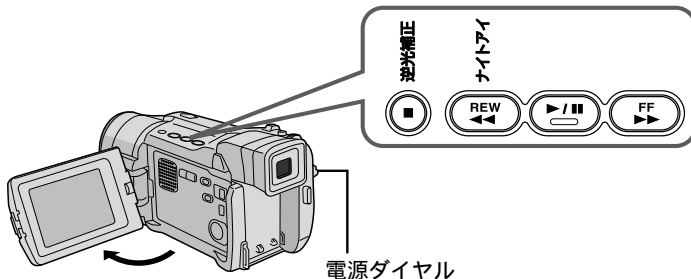
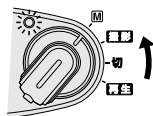
● 手順 ❸ で「切」を選択します。

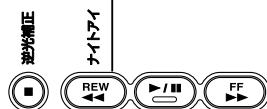
● シャッターモードまたはスポーツモードを使うときは
シャッタースピードが速くなればなるほど画面が暗くなります。できるだけ明るい場所で撮影してください。

● 演出効果設定と場面切替設定を一緒に使うと
さらに効果的なビデオ撮影をお楽しみいただけます。ただし、場面切替設定と一緒に使えない演出効果があります。演出効果設定アイコンが点滅して、使えない機能であることをお知らせします。

暗い場所で撮影する（ナイトアイ）

● 暗い場所の映りにくい被写体を撮影するとき

被写体の明るさに応じてビデオカメラがシャッタースピードを自動調整して、被写体を最大約30倍まで明るくさせて撮影することができます。ビデオライトを点灯させたくないときなどにお使いください。

1 電源ダイヤルを「M」に合わせる

2 ナイトアイボタンを押す

- 「[ナイトアイマーク]」マークが表示されます。
- ナイトアイが働いているときは、「[ナイトアイマーク]」マークの横に「A」マークが表示されます。

<ナイトアイをやめたいときは>

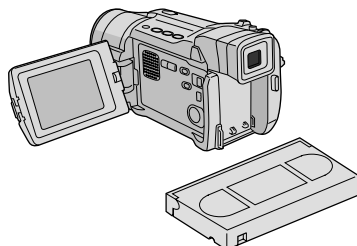
再度、ナイトアイボタンを押します。
「[ナイトアイマーク]」マークが消えます。

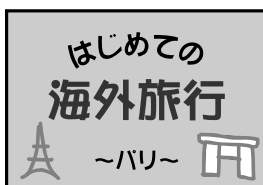
- ナイトアイ設定中は、働かない機能があります。この場合、その機能のアイコンが点滅、または表示されません。〔プログラムAEの一部（☞116ページ）、感度アップ（☞140ページ）、手振れ補正（☞143ページ）、オートライト（☞67ページ）など〕

- 撮影した映像は、コマ落としの効果がついたようになります。
- ナイトアイが働いているときは、ピントが合いにくくなりますので三脚を使用することをおすすめします。
- ナイトアイ設定中でも被写体が明るいときは、「A」マークが表示されずナイトアイは働きません。

編集

撮影した映像を 編集して楽しもう！

ダビングして
お友達にあげよう！

ナレーションを加えて
映像を演出しよう！

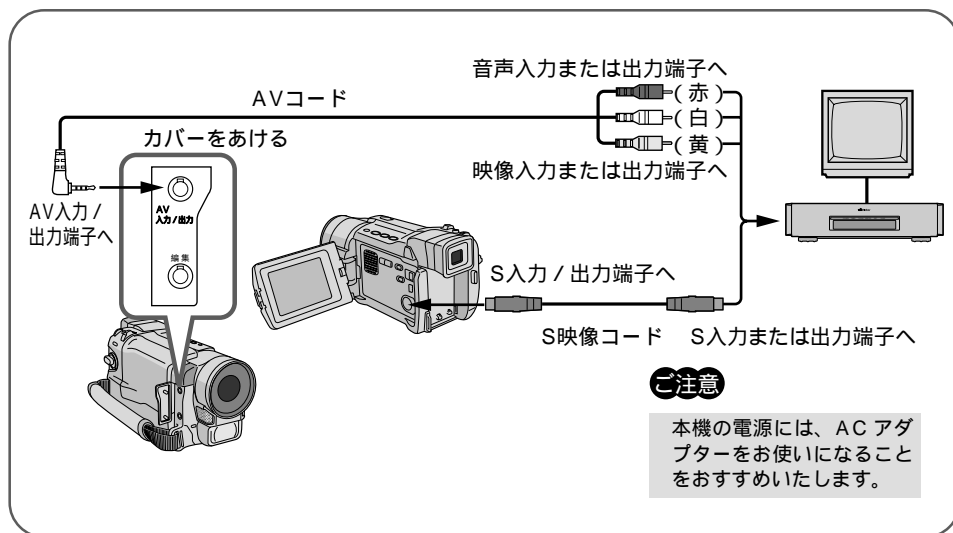
タイトルなどを入れて
オリジナルのドラマづくり！

ダビングする

本機を再生側として使う

●ビデオデッキを使ってダビングしたいとき

S 映像端子付きのビデオデッキと本機を S 映像コードを使ってダビングすると、より高画質の映像をダビングできます。

ご注意

- **本機の電源には、A C アダプターをお使いになることをおすすめいたします。**

1 電源を入れない状態で
本機のAV入力／出力端子とビデオデッキの映像／音声入力端子をAVコードで接続する

- S 映像コードでビデオをダビングするときは、本機のS入力／出力端子とビデオデッキの S 入力端子を接続してください。

2 本機を再生し、ダビングしたいところで
ビデオデッキの録画ボタンを押す

- 本機またはリモコンを操作してテープを再生してください。

●ビデオデッキでダビングする前に

・ご使用になるビデオデッキの取扱説明書もお読みください。
・画面に表示されるメッセージを消してダビングしてください。
・テレビの画面に表示されるメッセージは、そのままダビングされます。メッセージを消してからダビングしてください。(☞78、80、148 ページ)

●カットしたい映像があるときは
ビデオデッキの一時停止ボタンを押してダビングを一時停止させ、ダビングしたい場面がテレビや液晶画面に現われたら録画を再開してください。

●ダビングを終了したいときは
ビデオデッキの録画停止ボタンを押します。

本機を録画側として使う

● VHS テープなどから DV テープへダビングしたいとき

ビデオデッキなど、DV端子を持たないビデオ機器からビデオカメラへダビングできます。

1 電源を入れない状態で
本機のAV入力／出力端子とビデオ機器の映像／音声出力端子をAVコードで接続する（☞120 ページ）
- Ｓ映像コードでダビングするときは、本機のＳ入力／出力端子とビデオ機器のＳ出力端子を接続してください。

2 テープへ記録する録画モード（SP またはLP）を選ぶ（☞ 54 ページ）

3 ビデオ機器の電源を入れる

4 ビデオ／静止画スイッチを「ビデオ」に合わせ、電源ダイヤルを「再生」に合わせる

5 メニューダイヤルを 2 回押す
- ビデオ再生モードメニューが表示されます。

6 メニューダイヤルで「アナログ入力」を選び、ダイヤルを押す

7 メニューダイヤルで「入」を選び、ダイヤルを押す

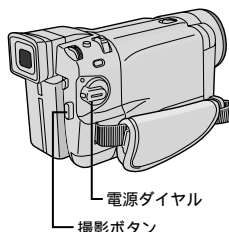
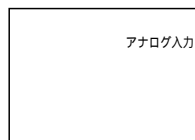
8 メニューダイヤルを 2 回押す
- 通常の画面に戻ります。

アナログ入力

9 撮影ボタンを押す
- 録画一時停止状態になり、画面に「アナログ入力」と表示されます。

10 ビデオ機器を再生し、ダビングしたいところで
撮影ボタンを押す
- 録画を開始し、✱ 表示が回転します。

11 録画を止めたいときは、再度撮影ボタンを押す
- 録画一時停止状態に戻り、✱ 表示の回転が停止します。

電源ダイヤル
撮影ボタン

ダビング終了後は、手順❼で「アナログ入力」の設定を「切」に戻してください。
「入」のまま再生すると、ご使用のビデオ機器やテープにより映像が乱れることがあります。

- アナログ信号がデジタル信号に変換されてテープに記録されます。
- 他のビデオカメラから本機へダビングすることもできます。

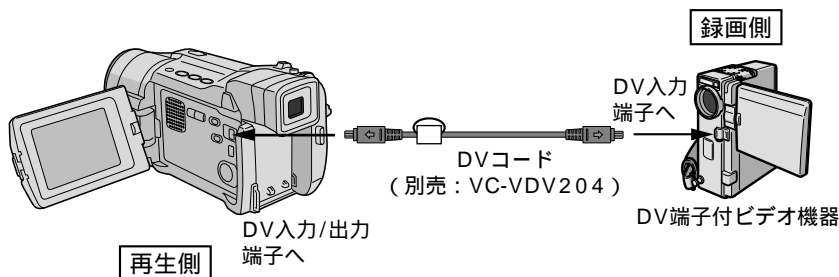
編集

デジタルダビングする

本機を再生側として使う

●DV 入力端子付きのビデオ機器へダビングしたいとき

デジタル信号でダビングするために画質や音質の劣化がほとんどありません。

ご注意

- 本機の電源には、AC アダプターをお使いになることをおすすめいたします。

1 電源を入れない状態で
ビデオカメラと DV 端子付ビデオ機器を DV コードで接続する

- DV コード（別売）で、本機の DV 入力 / 出力端子と DV 端子付ビデオ機器の DV 入力端子を接続してください。

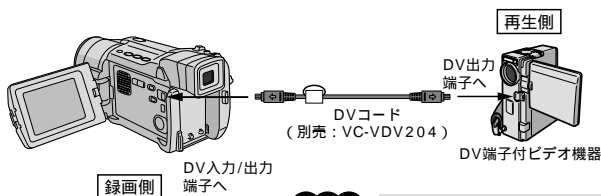
2 本機を再生し、ダビングしたいところで
DV 端子付ビデオ機器の録画ボタンを押す

- **再生側が映像の乱れた部分や無記録部分を再生すると**
  異常な映像が記録されたりダビングが停止することがあります。
- **再生時に「場面切替」「演出効果」「デジタルズーム」「記念写真」を設定していても**
  DV出力端子からは、テープの通常再生映像のみ出力されます。

本機を録画側として使う

●DV 出力端子付きのビデオ機器からダビングしたいとき

デジタル信号でダビングするために画質や音質の劣化がほとんどありません。

ご注意

●本機の電源には、AC アダプターをお使いになることをおすすめいたします。

電源を入れない状態で

1 本機と DV 出力端子付きのビデオ機器を DV コードで接続する

● DV コード（別売）で本機の DV 入力 / 出力端子と DV 出力端子付きビデオ機器の DV 出力端子を接続してください。

2 テープへ記録する録画モード（SP または LP）を選ぶ（☞ 54 ページ）

3 電源ダイヤルを「再生」に合わせる

4 ビデオ機器の電源を入れる

5 撮影ボタンを押す

● 録画一時停止状態になり、画面に「DV 入力」と表示されます。

DV 端子付きビデオ機器を再生し、ダビングしたいところで

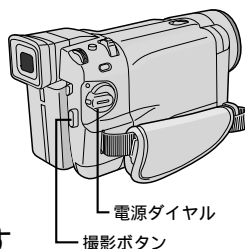
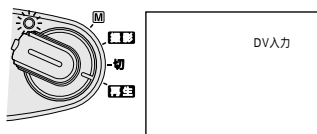
6 撮影ボタンを押す

● 録画を開始し、表示が回転します。

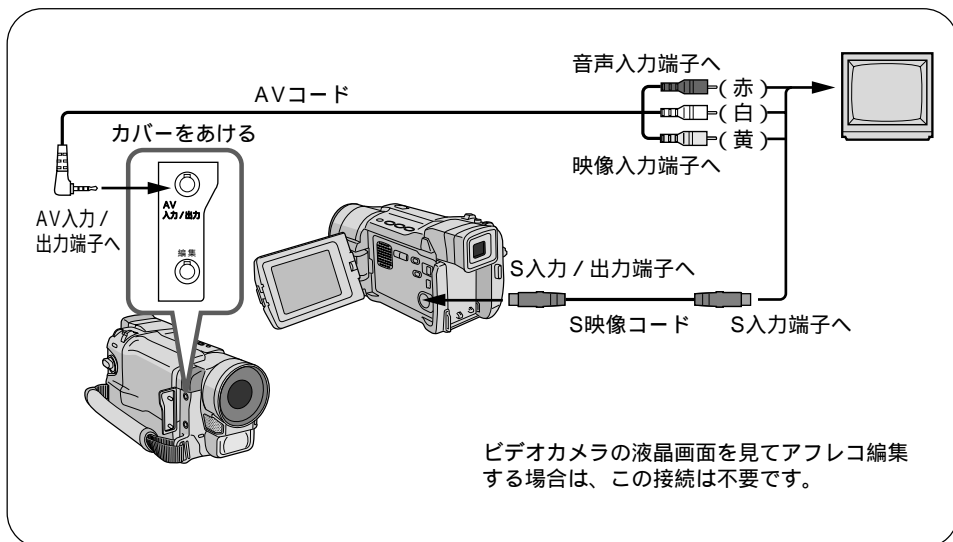
7 録画を止めたいときは、再度撮影ボタンを押す

● 録画一時停止状態に戻り、表示の回転が停止します。

●再生側が映像の乱れた部分や無記録部分を再生すると
異常な映像が記録されたり、ダビングが停止することがあります。

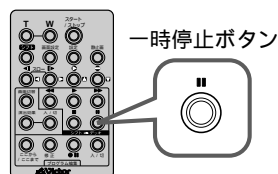
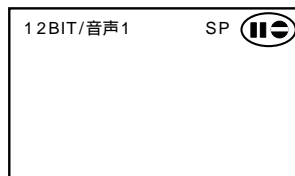
編集

音声を加える（アフレコ編集）

●撮影したテープにナレーションを入れたいときなど

録画モード SP で、音声モードを 12BIT で撮影しておくと、後でオリジナルテープにナレーションなどを追加することができます。アフレコ編集は、付属のリモコン（☞46ページ）を使用して行います。

1 テープを再生し、アフレコ編集したい場面でビデオカメラを一時停止する

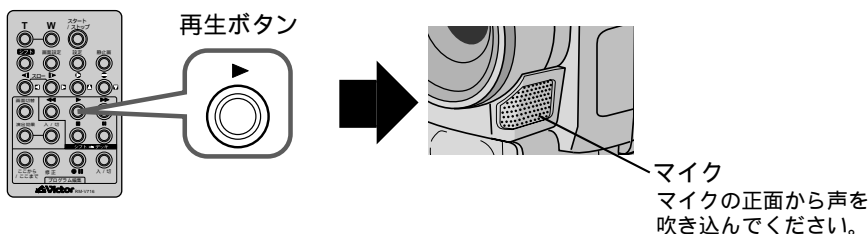
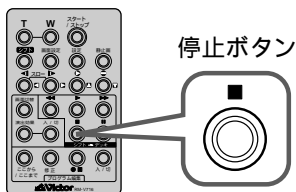
一時停止ボタン

2 リモコンのアフレコボタンを押しながら一時停止ボタンを押す

● 画面にアフレコ編集アイコンが表示されます。

●アフレコ編集で吹き込んだ音声は
撮影時の音声とは別に、アフレコ編集した声がステレオ音声で記録されます。

❸ 再生ボタンを押し、ビデオカメラのマイクに向かってナレーションなどを吹き込む

- アフレコ編集が始まり、吹き込んだ声が記録されます。

マイク
マイクの正面から声を吹き込んでください。

❹ 停止ボタンを押して、アフレコ編集を終了する

- **アフレコ編集した音声を聞きたいときは**
  （☞76 ページ）
- **別の場面からアフレコ編集を再開したいときは**
  リモコンの「一時停止ボタン」を押します。ビデオが静止画になります。リモコンの停止ボタンを押してアフレコ編集を終了し、アフレコ編集を再開したい場面を表示させてから再び編集を行ってください。
- **テレビから「ピー」、「ウワーン」というノイズ音が出るときは**
  テレビからビデオカメラを離すか、テレビの音量を下げてください。

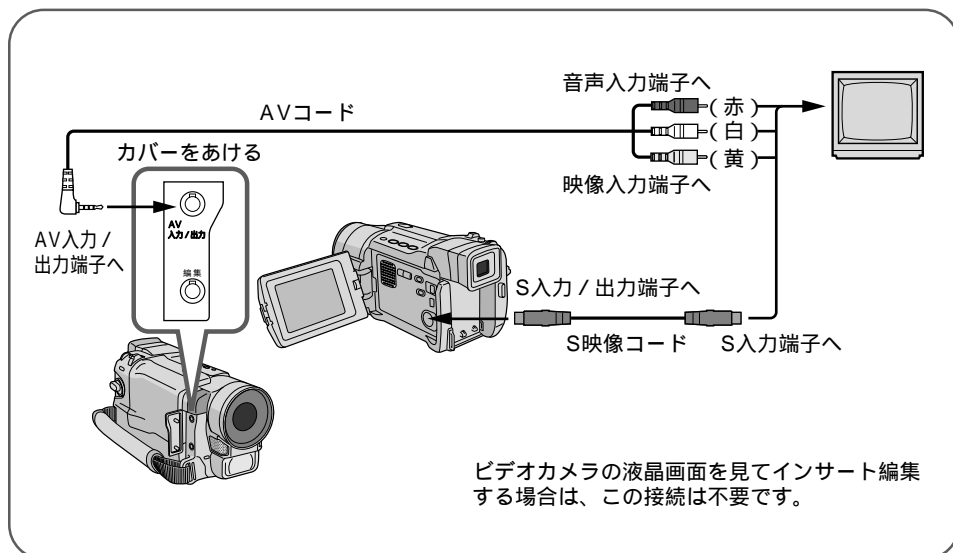
- **画面に「音声アフレコできません」と表示されたときは****（☞44 ページ）**
  LPモードで撮影したテープ、16BITで音声を記録したテープ、誤消去防止用ツマミが「ＳＡＶＥ」側になっているテープ、およびテープの無記録部分ではアフレコ編集できません。

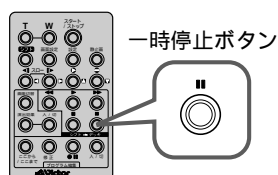
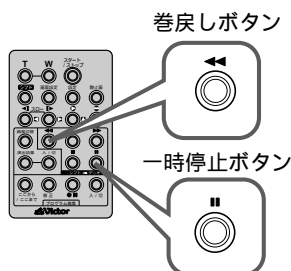
映像を入れかえる（インサート編集）

●撮影したテープにタイトルなどを入れたいとき

録画モード SP で撮影済みのテープに、後でタイトルなど別の場面を挿入することができます。タイトルを書いた紙などを用意してからインサート編集を行ってください。インサート編集は付属のリモコン（☞46 ページ）を使用して行います。

音声入力端子へ
AVコード
（赤）
（白）
（黄）
カバーをあける
映像入力端子へ
AV 入力／出力
編集
AV入力／出力端子へ
S入力／出力端子へ
S映像コード
S入力端子へ

ビデオカメラの液晶画面を見てインサート編集する場合は、この接続は不要です。

1 テープを再生し、インサート編集を終える場面でビデオカメラを一時停止する

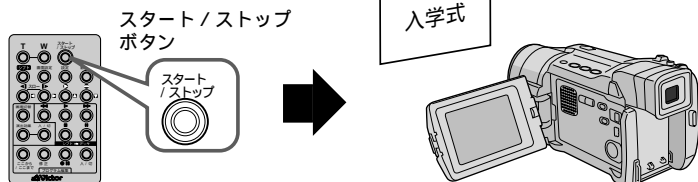
- 終える場面のタイムコードを確認してください。タイムコード表示が出ていないときは（☞80 ページ）

2 インサート編集を開始する場面までビデオカメラを巻き戻し、一時停止ボタンを押す

- インサート編集中、映像に変化をつけたいときは（☞116 ページ）

ご注意

- インサート編集すると、オリジナルの映像は上書きされてなくなります。

❸ リモコンのインサートボタンを押しながら一時停止ボタンを押す

● 画面にインサート編集アイコンが表示されます。

❹ インサートするタイトルなどをカメラに映るようにしてリモコンの「スタート／ストップ」ボタン（またはビデオカメラの撮影ボタン）を押す

❺ リモコンのスタート / ストップボタンを押して、手順 ❶ で確認したタイムコードの位置でインサートを終了する

❻ リモコンの停止ボタン（■）を押して、インサート編集を終了する

●**画面に「インサート録画できません」と表示されたときは**（☞44 ページ）
LP モードで撮影したテープ、誤消去防止用ツマミが「SAVE」側になっているテープ、およびテープの無記録部分ではインサート編集できません。

編集

ビデオを自動で編集する（自動編集）

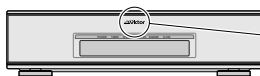
●好きな場面を選んでビデオデッキに自動でダビングしたいとき

撮影済みのビデオの中からお好きな場面を8場面まで選んで、ビデオデッキのテープに自動的にダビングすることができます。あらかじめアフレコ編集（☞124ページ）してあるビデオを編集すると、テレビドラマや映画のようなビデオを作成することができます。編集する場面と場面の間に場面切替効果（☞114ページ）を挿入したり、プログラムAE（☞116ページ）を使って映像そのものに変化をつけることもできます。自動編集は、ビデオカメラ、および付属のリモコン（☞46 ページ）とご家庭のビデオデッキを接続して行います。

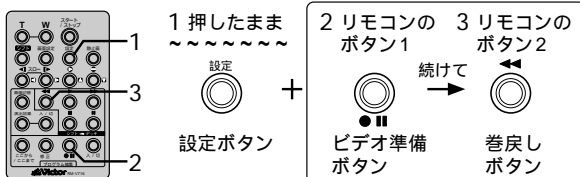
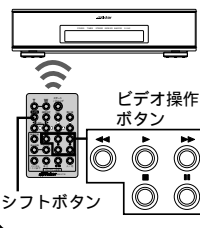
ビデオデッキのメーカーをリモコンに登録する

自動編集では、付属のリモコンを使用してご家庭のビデオデッキを操作します。ここでは、自動編集を行う前に、ご家庭のビデオデッキのメーカーをリモコンに登録する方法を説明します。ビデオデッキをリモコンに登録しておくと、自動編集以外でもリモコンでご家庭のビデオを操作できるようになります。

1 ビデオデッキの電源を切る

2 ご使用のビデオデッキのメーカー名を確認する

3 設定ボタンを押したまま「メーカー別リモコン設定表」（次ページ）に対応したボタンを順番に押す

- ビデオデッキの電源が入れば設定終了です。
- 同じメーカーでも信号の種類は複数あります。
- 「リモコン信号①」でビデオデッキが反応しないときは、「リモコン信号②」「リモコン信号③」...の順でボタンを押してください。

例：ビクター（リモコン信号①）の場合

リモコンメーカー設定表

メーカー名	リモコン信号	リモコンのボタン1	リモコンのボタン2
ビクター	①	●II（ビデオ準備）	◀◀（巻戻し）
	②	●II（ビデオ準備）	■（停止）
	③	●II（ビデオ準備）	（シフト）
アカイ	①	■（停止）	▶▶（早送り）
	②	■（停止）	▶（再生）
	③	（ここから/ここまで）	（ここから/ここまで）
サンヨー	①	■（停止）	▶（再生）
	②	（シフト）	II（一時停止）
	③	（シフト）	（プログラム編集入/切）
	④	（ここから/ここまで）	●II（ビデオ準備）
シャープ	①	◀◀（巻戻し）	II（一時停止）
	②	◀◀（巻戻し）	（プログラム編集入/切）
ソニー	①	■（停止）	II（一時停止）
	②	■（停止）	（プログラム編集入/切）
	③	（シフト）	●II（ビデオ準備）
	④	（シフト）	◀◀（巻戻し）
東芝	①	■（停止）	●II（ビデオ準備）
	②	■（停止）	◀◀（巻戻し）
NEC	①	（シフト）	（ここから/ここまで）
	②	（シフト）	（修正）
日立	①	■（停止）	■（停止）
	②	■（停止）	（シフト）
フナイ	①	（ここから/ここまで）	（シフト）
松下	①	◀◀（巻戻し）	（シフト）
	②	◀◀（巻戻し）	（ここから/ここまで）
	③	◀◀（巻戻し）	◀◀（巻戻し）
	④	●II（ビデオ準備）	▶（再生）
	⑤	◀◀（巻戻し）	（修正）
三菱	①	■（停止）	（ここから/ここまで）
	②	■（停止）	（修正）
LG	①	◀◀（巻戻し）	◀◀（巻戻し）
SAMSUNG	①	●II（ビデオ準備）	▶（再生）

編集

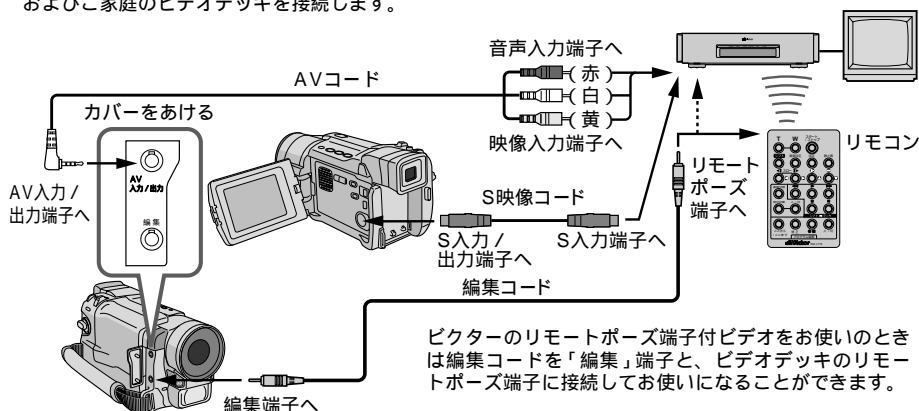
● **乾電池の容量がなくなったときは**
設定したビデオデッキのメーカー設定も消えてしまいます。乾電池を交換してメーカー設定をやり直してください。

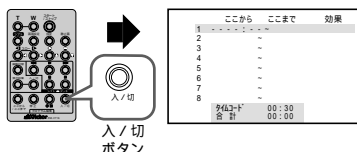
● **リモコンでビデオデッキを操作できないときは**
機種によってはリモコンでのビデオデッキのメーカー設定ができないものや、特定のボタンだけ操作できないものもあります。ご了承ください。

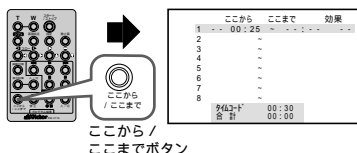
好きな場面を選んでダビングする

編集を行う前に、ビデオカメラと付属のリモコン、
およびご家庭のビデオデッキを接続します。

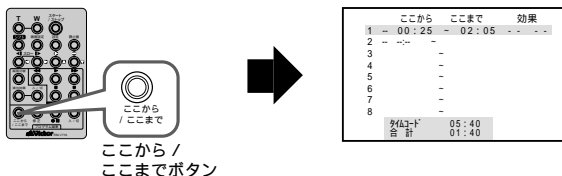
音声入力端子へ
AVコード
(赤)
(白)
(黄)
映像入力端子へ
カバーをあける
AV入力／出力端子へ
AV 入力／出力
編集
リモコン
リモート ポーズ 端子へ
S映像コード
S入力／出力端子へ
S入力端子へ
編集コード
編集端子へ

ビクターのリモートポーズ端子付ビデオをお使いのときは編集コードを「編集」端子と、ビデオデッキのリモートポーズ端子に接続してお使いになることができます。

1 リモコンをビデオカメラのリモコン受光部に向けてビデオカメラを再生し
自動編集の「入 / 切」ボタンを押す

- 液晶画面に自動編集表示画面が表示されます。

2 編集を開始したい場面で
リモコンの「ここから / ここまで」ボタンを押す

- ビデオカメラの液晶画面やテレビに編集開始場面のタイムコードが表示されます。

●場面の撮り始めに変化を付けたいときは（☞114 ページ）
リモコンの場面切替ボタンを押します。ボタンを押すたびにカウンターの左側に表示される場面切替アイコンが変わります。利用したい場面切替アイコンが表示されるまでボタンを押してください。
場面切替が設定されていないときは「――」が表示されます。

❸ 編集を終了したい場面で リモコンの「ここから / ここまで」ボタンを押す

● ビデオカメラの液晶画面やテレビに編集終了場面のタイムコードが表示されます。

●**場面の録り終わりに変化を付けたいときは**（☞114 **ページ**）
リモコンの場面切替ボタンを押します。ボタンを押すたびにカウンターの右側に表示される場面切替アイコンが変わります。利用したい場面切替アイコンが表示されるまでボタンをくり返し押してください。録り終わりの場面切替効果を決めると、次の編集開始映像が自動的に録り終わりの場面切替効果で始まります。また、場面の録り終わりで場面切替効果を使用すると、編集終了時点からフェードアウトやワイプアウトを行うため、その時間がビデオの編集時間に加算されます。ただし、デジタルダビングでは変化を付けることはできません。場面切替が設定されていないときは「ーー」が表示されます。

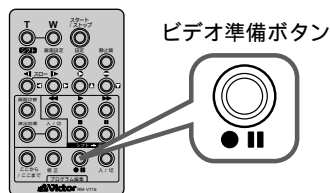
●**映像そのものに変化を付けたいときは**（☞116 **ページ**）
リモコンの演出効果ボタンを押します。ボタンを押すたびに「効果」の下に表示される演出効果アイコンが変わります。ただし、デジタルダビングでは変化を付けることはできません。演出効果が設定されていないときは「ーー」が表示されます。

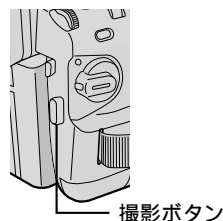
編集

❹ 手順❷、❸を繰り返して自動編集したい場面を登録する

5 最初に登録した場面1の編集開始点の前までビデオカメラのテープを巻き戻し、ビデオカメラを再生一時停止する

6 ビデオデッキのリモコン受光部に向けて リモコンのビデオ準備ボタン（●II）を押す

- ビデオデッキが録画一時停止になります。一時停止にならないときは、手動でビデオデッキを操作して録画一時停止にしてください。

7 ビデオカメラの撮影ボタンを押す

- 自動編集が始まり、指定した場面を最後まで自動的にダビングします。ダビングが終了するとビデオカメラが一時停止し、ビデオデッキは録画一時停止状態になります。

8 ビデオカメラとビデオデッキを停止させ、編集を終了する

●画面に表示されるメッセージを消して自動編集してください
テレビの画面に表示されるメッセージは、自動編集でもそのまま記録されます。メッセージを消してから自動編集してください。（☞78、80、148ページ）
（自動編集表示は自動編集をスタートすると消え、ビデオには記録されません）。

●各場面のタイムコードとタイムコードの合計時間は
編集開始場面と終了場面のタイムコードには1秒以下の数値（フレーム）が表示されないため、各場面のタイムコードの時間と合計時間が合わないことがあります。

●ダビング中のリモコンの位置は
ビデオデッキのリモコン受光部に向けてください。障害物があるとうまくダビングできません。

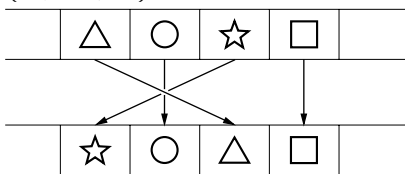
- **こんなときは自動編集できません**
  - ・同じタイムコード（☞81ページ）が2つ以上存在するテープでタイムコードを指定しても、どのタイムコードかわからないため誤動作することがあります。
  - ・編集終了場面のタイムコードの値が編集開始場面の値より小さいときは自動編集できません。
  - ・編集終了場面と開始場面までの早送り時間がビデオデッキの一時停止可能時間（当社の場合約5分以内）を超えるときは、自動編集できません

- リモコンのプログラム編集入/切ボタンを押して「切」にしたときは、自動編集に登録した内容すべてが消えてしまいます。
- 編集開始場面や終了場面の前後に無記録部分があるときは、ブルーバック（青い画面）を記録してしまうことがあります。
- 自動編集中にビデオカメラを操作すると、ビデオデッキが録画一時停止状態になり、自動編集を中止します。

- **自動編集の登録場面を修正したいときは**
  リモコンの「修正ボタン」を押します。ボタンを押すたびに最後から登録場面が消去されます。
- **編集終了場面を決めずにダビングしたときは**
  ビデオの最後まで自動的にダビングします。

知っておきたい自動編集のしくみ

普通に自動編集したときは

撮影済みのビデオの中から最大8つまでの場面を指定して、お好きな順番に並べ替えてダビングすることができます。普通に自動編集すると、ビデオは次のようにダビングされます。

撮影済みテープ
（ビデオカメラ）

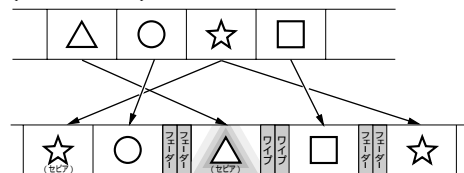
編集済みテープ
（ビデオデッキ）

場面切替や演出効果を入れて自動編集したときは

自動編集するビデオの最初と終わりに場面切替を入れたり、映像そのものに演出効果を付けてダビングすることができます。場面切替や演出効果を入れて自動編集すると、ビデオは次のようにダビングされます。

撮影済みテープ
（ビデオカメラ）

編集済みテープ
（ビデオデッキ）

編集

より正確に自動編集する（シンクロ補正）

●録画タイミングの誤差を補正したいとき

ビデオデッキには録画タイミングの早いものと遅いものがあります。自動編集（☞130ページ）でビデオカメラとビデオデッキを同時にスタートさせてもそれぞれ動き出すタイミングが異なるため、余計な場面をダビングしてしまったり、必要な場面をダビングできなかったりすることがあります。そんなときはビデオカメラ側でビデオデッキの録画タイミングの誤差を補正してから再度自動編集を行ってください。

録画タイミングのズレを確認する

任意の場面を自動編集してみて、ビデオカメラのビデオ再生開始タイミングとビデオデッキの録画開始タイミングのズレを確認します。

1 適当な場面を 1 場面だけ自動編集する

- 録画タイミングのズレを確認するだけなので、自動編集の指定は 1 場面だけでかまいません。自動編集する場面は、録画タイミングのズレがわかりやすいように場面が切り替わっている場面を指定してください。

2 ダビングしたテープを巻き戻し、再生する

- 指定した編集開始場面よりも前の場面が録画されているときは、ビデオカメラのビデオ再生開始場面よりも先にビデオデッキが録画を開始しています。
- 指定した編集開始場面よりも後の場面から録画されているときは、ビデオカメラのビデオ再生開始時点よりも後にビデオデッキが録画を開始しています。

このようなときは録画タイミングのズレを補正する必要があります。

●自動編集を行う前に
数回自動編集のテストを行って補正値が適切であることを確認してから、最終的な自動編集を行ってください。

●補正しても録画タイミングが合わないときは
ビデオデッキによっては、録画タイミングのズレを補正しきれないことがあります。ご了承ください。

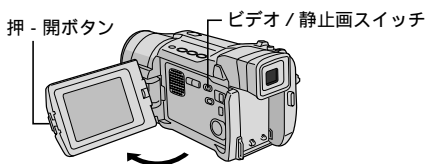
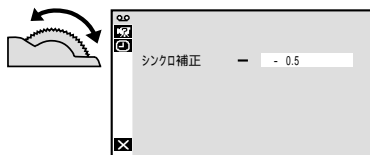
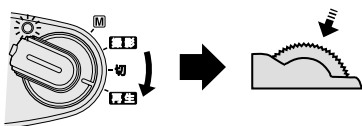
録画タイミングのズレを補正する

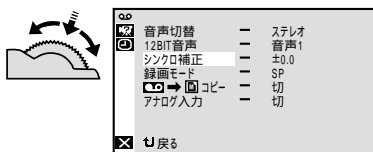
「録画タイミングのズレを確認する」（☞134ページ）でビデオカメラのビデオ再生開始タイミングとビデオデッキの録画開始タイミングのズレがあったときは、録画タイミングのズレを補正します。

❶ ビデオ／静止画スイッチを「ビデオ」にする

❷ 電源ダイヤル「再生」で、メニューダイヤルを押す

❸ メニューダイヤルを押す

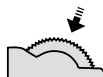
❹ メニューダイヤルで「シンクロ補正」を選び、ダイヤルを押す

❺ メニューダイヤルで「シンクロ補正」の数値を設定する

－1.3〜＋1.3秒まで、0.1秒単位で補正値を設定することができます。

- ビデオカメラのビデオ再生開始場面よりも先にビデオデッキが録画を開始しているときは、マイナス（－）の値を設定します。
- ビデオカメラのビデオ再生開始場面よりも後にビデオデッキが録画を開始しているときは、プラス（＋）の値を設定します。

❻ メニューダイヤルを押す

❼ メニューダイヤルを2回押す

- メニューを終了し、通常の画面に戻ります。

編集

知って得する ビデオ撮影のコツ

一生の思い出になるように演出しましょう

ポイント 1

式次第を事前に確認し、司会者と打ち合わせをして式の流れを把握しておきます。

ポイント 2

会場を下見して、広さや照明、明るさ、電源などをチェックしておきます。

ポイント 3

長時間の撮影になるので、ACアダプターや三脚などを用意しておきます。

結婚式編

1 会場

フェードインなどを利用して会場の入口や立て札を撮影しましょう。

2 入場シーン

入場の少し前から撮影をスタート。入場の瞬間をしっかり狙います。

3 来賓の様子

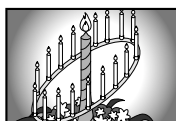
新郎・新婦だけではなく、来賓の喜びの表情なども撮影しておきます。

4 ケーキカット

ウエディングケーキに入刀の際は、手元のアップも忘れずに。

5 余興

余興はズームアウトした全体イメージと、表情のアップを撮ります。

6 キャンドルサービス

ローソクのアップ、２人の表情、手元のアップ、来賓の顔などを撮ります。

7 花束贈呈

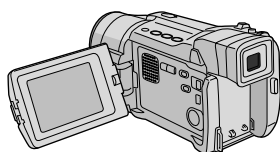
花束のアップ、受け取っている様子、父親の涙などをズームインして。

8 送賓（お見送り）

お送りしている２人の表情からフェードアウトしてエンド。

パソコン

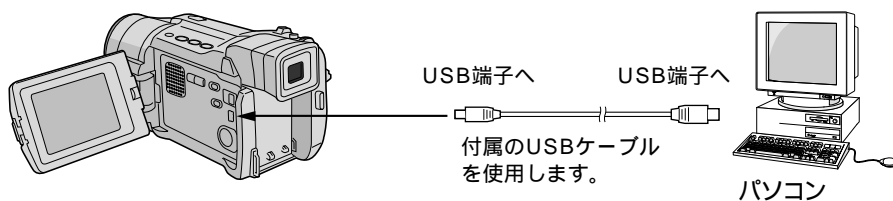
パソコンに画像を取り込んで楽しもう！

**パソコンにつないで
静止画をメールで送ったりして楽しもう！**

パソコンにつなぐ

●静止画を取り込みたいとき

本機に付属のパソコン接続キット（CD-ROM、USBケーブル）を使用するとメモリーカードに記録した静止画をパソコンに取り込むことができます。

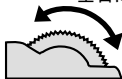
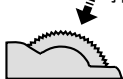
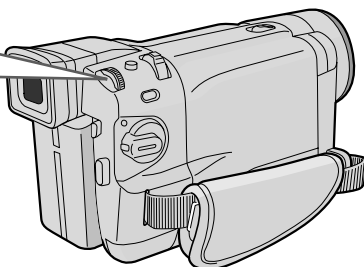
USB端子へ　USB端子へ

付属のUSBケーブルを使用します。

パソコン

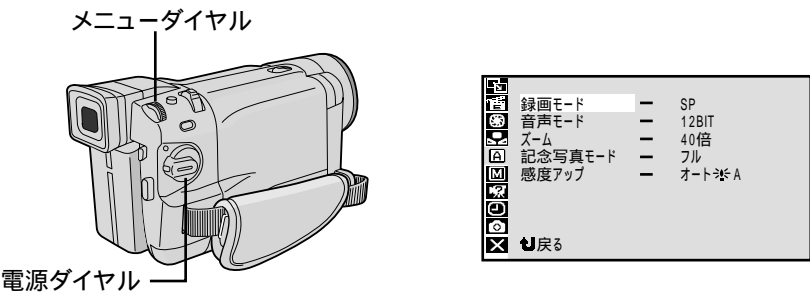
ご注意　**●本機の電源には、ACアダプターをお使いになることをおすすめします。**

●日時情報などは、パソコンに取り込むことができません。
●パソコン、パソコン接続キットの取扱説明書もご覧ください。

メニュー
設　定

メニューの設定を変更しよう

フルオートメニューについて

電源ダイヤルでⓂを選択しているときにメニューダイヤルを押して、ビデオカメラの撮影設定を変更する方法を説明します。

設定内容は、電源ダイヤルが「撮影」および「Ⓜ」の両方で働きます。

項　目	設定内容	機　能	参　照
録画モード テープの撮影時間が1.5倍になる	SP	アフレコ編集とインサート編集を可能にする	☞124 ☞126 ☞54
	LP	撮影時間をSPモードの1.5倍にする	
音声モード アフレコ可能なモードで録音する	12BIT	アフレコ編集を可能にする	☞124
	16BIT	高音質で録音する	
ズーム ズーム倍率の上限を設定する	10倍	光学ズーム（画質が劣化しない）	☞66
	40倍	デジタルズーム	
	100倍	デジタルズーム	
記念写真モード 静止画の演出方法を設定する	フル	全面に静止画を表示する	☞68
	ピンナップ	白フチと影をつける	
	フレーム	白フチをつける	
感度アップ 撮影の感度を設定する	切	自然のままの明るさにする	☞141
	AGC	電気的に感度を上げる	
	オート　A	シャッタースピードの調整で感度を上げる	

• お買い上げ時の設定値は、　　　で表示してあります。

補足説明

録画モード

・本機の「LP」モードで撮影したテープは本機で再生することをおすすめします。他のデジタルビデオではうまく再生できない場合があります。
・ビデオ再生モード設定メニューにある「録画モード」でも「SP」、「LP」の設定を切り替えることができます。

音声モード

・アフレコ編集をするには、あらかじめ「12BIT」に設定して撮影してください。一方、「16BIT」に設定すると、より高音質で録音できます。
・どちらのモードでも、ステレオで録音されます。

ズーム

・10倍まではレンズの機能で映像をズームしますが、10倍以上は映像をデジタル処理してズームするため、映像品質が少し劣化します。

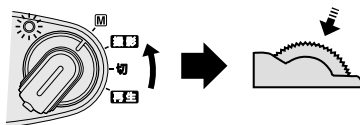
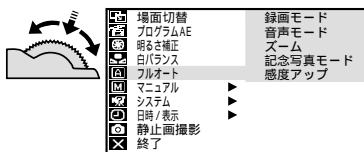
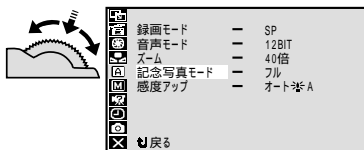
感度アップ

・「AGC」で撮影した画面は、デジタル映像を処理して実際よりも明るい映像を記録します。ただし、映像がザラザラした感じになります。
・「オート」で撮影した画面は、自動的にシャッタースピードを調整して、実際よりも明るい映像を記録します。ただし、被写体の動きは多少不自然になります。

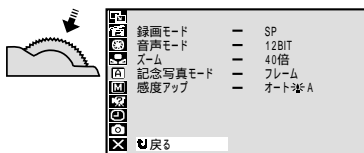
フルオートメニューの設定方法

例）「記念写真モード」を「フレーム」に変更する

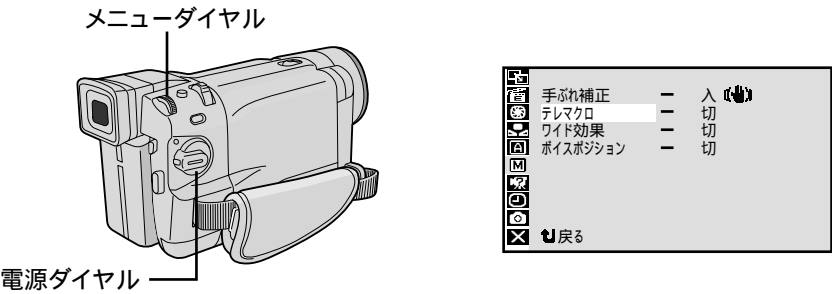
1 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

● メニューが表示されます。

2 メニューダイヤルで「Aフルオート」を選び、ダイヤルを押す

3 メニューダイヤルで「記念写真モード」を選び、 ダイヤルを押す

4 メニューダイヤルで「フレーム」を選び、ダイヤルを押す

5 メニューダイヤルを 2 回押す

● 撮影画面に戻ります。

マニュアルメニューについて

電源ダイヤルで Ⓜ を選択しているときにメニューダイヤルを押して、ビデオカメラの撮影設定を変更する方法を説明します。

設定内容は、電源ダイヤルが「 Ⓜ 」のときのみ働きます。

項　目	設定内容	機　能	参　照
手ぶれ補正	切	—	☞144
手ぶれ補正をやめる	入	手ぶれで映像が振れない	
テレマクロ	切	T側（望遠側）で1mまで接近可能	☞66
接写を設定する	入	T側（望遠側）で60cmまで接近可能	
ワイド効果	切	—	☞144
ワイドテレビに合わせた画面にする	シネマ	映画風に上下に黒い帯が入る	
	ワイド	ワイドテレビと同じ横長の画面になる	
	ワイドエリア	撮影できる範囲が広がる	
ボイスポジション	切	自然な音声を録音する	—
録音される雑音を軽減する	入	風による雑音を軽減して録音する	

・お買い上げ時の設定値は、　　　で表示してあります。
・電源ダイヤルが「撮影」のときは　　　の設定で動作します。

メニュー設定

次ページへつづく

マニュアルメニューについて

補足説明

手ぶれ補正

- **デジタル処理するため、多少映像品質が劣化します。**
- **「フルオート」モードの手ぶれ補正は**
  「手ぶれ補正」を「切」に設定していても、自動的に「入」になります。
- **三脚などでビデオカメラを固定して撮影するときは**
  「手ぶれ補正」を「切」にしてください。「入」のままだと被写体の動きに合わせて必要のない補正を行い、不自然な映像になることがあります。
- **手ぶれが大きいときやコントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るときは**
  補正できないことがあります。
- **映像をデジタル処理する機能と同時に使えないものがあります。**
- **手ぶれ補正が働かないときは**
  「((✋))」表示が点滅、または表示が消えます。

ワイド効果

- **普通のテレビ（画面比率 4:3）やファインダー、液晶画面で見るときは**
  ワイド映像は、撮影時、再生時ともに縦長の映像が映ります。シネマ映像は、撮影時、再生時ともに上下に黒い帯が入った映像が映ります。
- **ワイドテレビで再生するときは**
  ワイドで撮った映像には、ワイド用の識別信号が記録されています。本機のＳ入力／出力端子をＳ映像コードでワイドテレビに接続してください。テレビのS2端子に接続すれば、ワイド、シネマをテレビが自動判別します。S1端子に接続すると、ワイドを自動判別します。テレビ側にS2またはS1端子がないときは、Ｓ端子に接続してください。自動判別はできません（詳細はお使いのワイドテレビの取扱説明書を参照してください）。
- **ビデオデッキでダビングしたワイド映像を再生するときは**
  ワイド映像になるようにテレビ側でモードを切り替えてください（詳細はお使いのワイドテレビの取扱説明書を参照してください）。
- **ワイド映像とシネマ映像を混在させて撮ったときは**
  早送り再生中、巻戻し再生中は、ワイド映像とシネマ映像を判別できません。
- **ワイドエリア**
  ワイドエリアに設定したあと、ズームスイッチを「W」側に動かしてください。
  ワイドコンバージョンレンズを使用しなくても広角側0.9倍のワイド撮影ができます。室内などの狭いところでも、撮影範囲が広がります。このモードでは、手ぶれ補正が働きません。

マニュアルメニューの設定方法

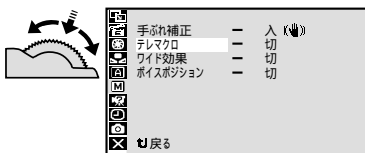
例）「テレマクロ」を「入」に変更する

❶ 電源ダイヤルを「Ⓜ」に合わせ、メニューダイヤルを押す

●メニューが表示されます。

❷ メニューダイヤルで「Ⓜマニュアル」を選び、ダイヤルを押す

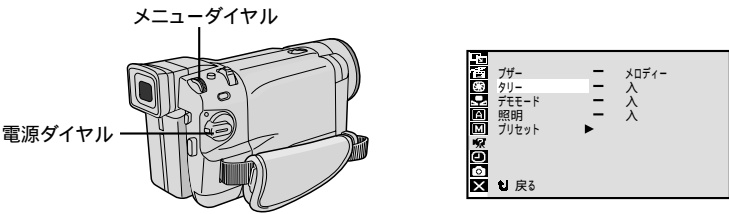
❸ メニューダイヤルで「テレマクロ」を選び、ダイヤルを押す

●「切」と「入」が表示されます。

❹ メニューダイヤルで「入」を選び、ダイヤルを押す

❺ メニューダイヤルを 2 回押す

● 撮影画面に戻ります。

システムメニューについて

電源ダイヤルでⓂを選択しているときにメニューダイヤルを押して、撮影設定を変更する方法を説明します。設定内容は、電源ダイヤルが「撮影」および「 Ⓜ 」の両方で働きます。

項　目	設定内容	機　能	参　照
ブザー 操作音を消す	切	操作音を消す	—
	ブザー	一部の操作のみ音を出す	
	メロディー	操作するごとにメロディー音を出す	
タリー 撮影中ランプを消す	切	ランプを消す	—
	入	撮影中にランプが点灯する	
デモモード 演出効果などを デモンストレーションで確認する	切	デモンストレーション表示をやめる	☞16
	入	カセットが入っていないときにデモンストレーションを表示する	
照明 撮影照明のライトを消す	切	ライトを消す	☞36
	入	ライトを点灯する	
プリセット メニューの設定をすべて最初に戻す	キャンセル	−	—
	実行	メニューの設定をすべて最初に戻す	

• お買い上げ時の設定値は、　　　で表示してあります。

補足説明

タリー

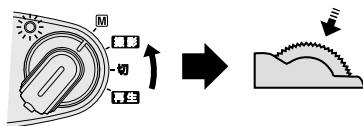
・「入」のとき、撮影中は撮影中ランプが点灯します。
・「切」のとき、撮影中でも撮影中ランプは点灯しません。

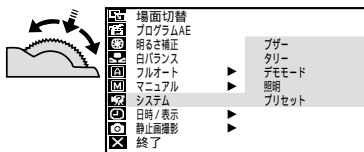
デモモード

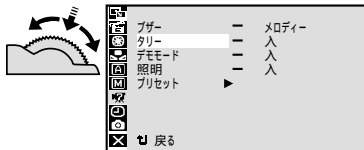
・ カセットテープを入れずに電源を入れ、「デモモード」を「入」にすると、画面にビデオカメラの機能デモを表示します。（☞16 ページ）
・ デモモード表示中にズームスイッチを動かすなどの操作をすると、デモモードを一時的に中断します。その後約 3 分間、なんの操作もしないとデモモードが再開します。

システムメニューの設定方法

例）「タリー」を「切」に変更する

❶ 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

●メニューが表示されます。

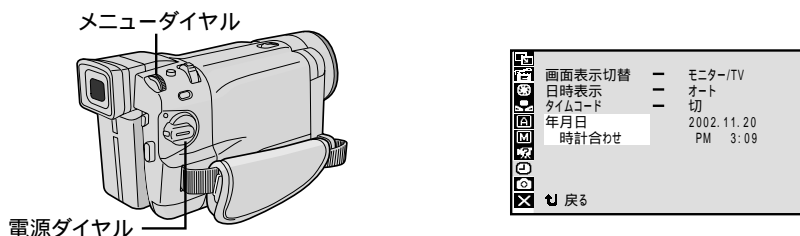
❷ メニューダイヤルで「システム」を選び、ダイヤルを押す

❸ メニューダイヤルで「タリー」を選び、ダイヤルを押す

●「切」と「入」が表示されます。

❹ メニューダイヤルで「切」を選び、ダイヤルを押す

❺ メニューダイヤルを 2 回押す

● 撮影画面に戻ります。

日時／表示メニューについて

電源ダイヤルでⓂまたは 再生 を選択しているときにメニューダイヤルを押して、ビデオカメラの画面に表示されるメッセージの表示方法や日時を変更する方法を説明します。

項　目	設定内容	機　能	参照
画面表示切替	モニター	TVやビデオデッキに、画面の表示を出力しない	–
	モニター/TV	TVやビデオデッキに、画面と常に同じ表示を出力する	
日時表示	切	表示しない	☞78
	オート	電源を入れたときや再生を始めたときなどに5秒間のみ表示する	
	入	常に表示する	
タイムコード	切	表示しない	☞80
	入	表示する	
年月日時計合わせ	年月日、時刻	日時を設定する（「Ⓜ」に設定したときのみ設定可能）	☞149

• お買い上げ時の設定値は、　　　で表示してあります。

補足説明

画面表示切替

・ダビングや編集を行うときに画面の文字などの余分な表示を消すために設定します。

日時表示

・日時表示を「入 / 切」するときに設定します。（☞78 ページ）
・日時表示を表示すると記録した日時がわかるので便利です。

タイムコード

・タイムコード表示を「入 / 切」するときに設定します。（☞80 ページ）

年月日時計合わせ

・ご購入時は、日時が設定されています。海外旅行、時刻がずれたときなどに設定しなおします。（☞149 ページ）

●「日時を設定してください！」が表示されたときは、時計用電池（内蔵）がなくなっています。電池交換は最寄りの「ビクターサービス窓口」にご相談ください。（☞170 ～ 171 ページ）

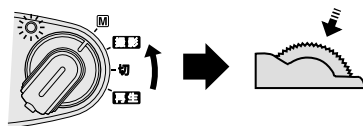
●「画面表示切替」、「日時表示」、および「タイムコード」の設定は電源ダイヤルを「撮影」にしたときも働きます。

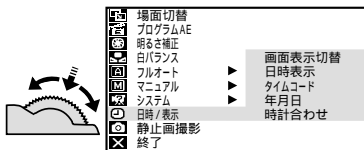
●「日時表示」の設定（入/切）はリモコンの「画面表示」ボタンでも切り替えることができます。

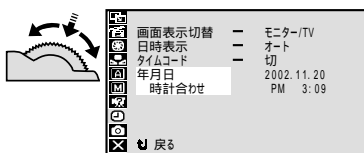
日時／表示メニューの設定方法

例）年月日と時計を合わせる

❶ 電源ダイヤルを「Ⓜ」に合わせ、メニューダイヤルを押す

- メニューが表示されます。

❷ メニューダイヤルで「◎ 日時／表示」を選び、ダイヤルを押す

- 電源ダイヤルが「再生」のときは、「年月日時計合わせ」が表示されません。

❸ メニューダイヤルで「年月日時計合わせ」を選び、ダイヤルを押す

- 年が変更できるようになります。

❹ メニューダイヤルを回して正しい年に合わせる

- 数値を大きくする→「＋」側
- 数値を小さくする→「ー」側

❺ メニューダイヤルを押す

- 月が変更できます。

❻ 同様に❹〜❺を繰り返して月日と時刻を合わせてメニューダイヤルを押す

❼ メニューダイヤルで「戻る」を選び、ダイヤルを2回押す

- 通常画面に戻ります。

他

故障かな？と思ったら 安全上のご注意など

⚠危険

⚠警告

⚠注意

故障かな？と思ったら

このビデオカメラはマイコンを使用しています。
雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そんなときはビデオカメラから電源（バッテリー、AC アダプターなど）をはずし、あらためてご使用ください。それでも不具合があり、以下の処置をしても改善されない場合は、お買い上げ販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
電源	電源が入らない	● 電源は正しく接続されていますか？ ● バッテリーは充電されていますか？	52 50
撮影中	撮影できない	● テープの誤消去防止用つまみが「SAVE」側になっていませんか？ ●「テープおわり」になってませんか？ ● 電源ダイヤルが 再生 になっていませんか？ ● カセットカバーが開いていませんか？	165 43 38
	映像が出ない	● 電源をもう一度入れ直してみてください 。	—
	メニューダイヤルの機能が使えない	● 電源ダイヤルを M にしてください。	—
	自動でピントが合わない	● 電源ダイヤルを 撮影 にしてください。M のまま撮影するときは「フォーカス」ボタンを押してマニュアルフォーカスを解除してください。 ● 暗いところや明暗差のないものを撮影していませんか？ ● レンズにゴミや水滴などが付いていませんか？	110 110 167
	撮影中、液晶画面に日時が出ない	●「日時表示」を「切」にしていませんか？	78、148
	撮影したビデオの縦に明るい線が出る	● 強い光の当たる被写体を撮影しませんでしたか？　被写体に強い光が当たると、コントラストの違いで線が出ることがあります。故障ではありません。	—
	太陽光が映ると、画面が一瞬赤くなったり、黒くなったりする	● 故障ではありません。	—
	ビデオライトが点灯しない	● 十分な明るさがある場合は、「オート」では点灯しません。「入」に切り替えてください。	67
	ビデオライトがついたり消えたりする	● ビデオライトスイッチが「オート」になっていると周囲の明るさによってはついたり消えたりします。「入」または「切」のどちらかにセットしてください。	67
	記念写真で撮影した画像の色がおかしい	● 照明の色や被写体に白い部分がない場合または被写体の背後にいろいろな光源がある場合に色がおかしくなるときがあります。	—

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
撮影中	デジタルズームできない	●「ズーム」が「10倍」に設定されているときは10倍ズームまでしかできません。 ● ビデオ／静止画スイッチが「静止画」になっているときは、10倍ズームまでしか使えません。	140
	手振れ補正が働かない	● 手振れ補正が「切」になっていませんか？ 「入」にしてください。	143
	「プログラムAE」や「場面切替」機能が使えない	● 電源ダイヤルを M にしてください。	38
	「白バランス」が設定できない	●「プログラムAE」の「セピア」や「ブラック/ホワイト」を選択していませんか？	117
	液晶画面の映像が暗い、または白くなる	● 液晶画面の角度や明るさを調節してください。 ● 寒い場所で再生していませんか？　寒い場所では、多少液晶画面が暗く見えます。故障ではありません。 ● 液晶画面の寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。	60 — —
	液晶画面の裏側が熱くなる	● 液晶画面を長時間使用していませんか？　長時間使用すると、液晶画面裏の蛍光管が温かくなります。液晶画面を切るか電源を切ってしばらく放置しておくと元に戻ります。	—
	液晶画面に表示ムラが出る	● 液晶画面やそのまわりを押しませんでしたか？　液晶画面を圧迫すると映像ムラが生じます。手を離してしばらく放置しておくと元に戻ります。	—
	液晶画面のアイコン表示が点滅する	●「場面切替」「プログラムAE」「手ぶれ補正」機能のうち、同時に使用できない機能を選択しているときは各機能のアイコンが点滅します。	114 116 143
	「ツユが付きました」と表示される	● メッセージが消えてから使用してください。	156
	「ヘッドが汚れています」と表示される	● 別売のデジタルビデオヘッドクリーニングカセットでヘッドを掃除してください。	155

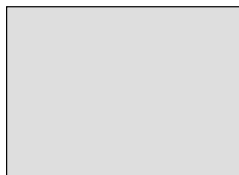
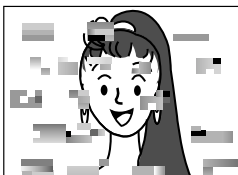
他

故障かな？と思ったら

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
再生中	液晶画面の映像が乱れる	● テープの無記録部分の再生、高速再生、および静止画再生中は液晶画面の映像が乱れることがあります。故障ではありません。	—
	テープの再生、巻戻し、早送りができない	● 電源ダイヤルが 撮影 M になっていませんか？	38
	テープは回っているが再生されない	● カセットカバーが開いていませんか？ ● テレビのチャンネルがビデオ用になっていますか？	53 74
	映像にモザイク状のノイズが出る	● 別売のデジタルビデオヘッドクリーニングカセットでヘッドを掃除してください。	155
	映像が映らず青い画面になる	● 別売のデジタルビデオヘッドクリーニングカセットでヘッドを掃除してください。	155
	メモリーカードの再生ができない	● ビデオ/静止画スイッチが「ビデオ」になっていませんか？	88
その他	液晶画面に「E01」または「E02」、「E06」と表示される	● なんらかのエラーが発生しています。この間ビデオカメラは操作できません。バッテリーと電源を取り外してつけなおし表示が消えてからお使いください。2、3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。また、テープに傷が付きますのでテープは取り出さないでください。	45
	液晶画面に「E03」または「E04」と表示される	● なんらかのエラーが発生しています。この間ビデオカメラは操作できません。テープを取り出していれなおし表示が消えてからお使いください。2、3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。	45
	液晶画面に映像が表示されない	● 液晶画面の明るさを調節してみてください。	60
	ファインダーに映像が表示されない	● 液晶画面を閉じてみてください。	—
	テープが入らない	● テープの向きが間違っていませんか？ ● バッテリーの容量が少なくなっていませんか？	53 43
	プリンターで印刷したら画面の下に黒い線が出る	● 故障ではありません。 手振れ補正「入」で撮影すると、黒い線は出なくなります。	—
	液晶画面とファインダーに黒、赤、青、緑の点が出る	● 故障ではありません。	164
	ファインダー内にゴミが入っている	● 市販のレンズブロワーでごみを取ってください。	167
	DVコードで接続しているとき、操作ができない	● 電源が入った状態でDVコードを抜き差ししませんでしたか？ 一度電源を切り、接続をやり直してから操作してください。	—
	メモリーカードが入らない	● メモリーカードの向きを確かめてください。	56
	メモリーカードが出てこない	● メモリーカードを2〜3回押してみてください。	56
	メモリーカードの画像を削除できない	● プロテクトを解除してください。	95

再生中の映像にノイズが出たら

ビデオカメラを使用していると、ヘッドに空気中のほこりやちりが付着します。また、傷のあるテープを使用したときにテープの磁性粉がはがれてヘッドに付着したりします。ヘッドが汚れると次のような症状が出ます。

・撮影中に「⊗ヘッドが汚れています」と表示される
・撮影しても映像が正常に記録されない
・再生しても音や映像が出ない（青い画面になる）
・再生すると、映像がモザイク画（ブロック状のノイズ）になる
・再生すると、映像に黒色やモザイク画の横しまが出る

このようなときは、別売のデジタルビデオヘッドクリーナー（M-DVSCL）テープをビデオカメラで再生して、ヘッドを清掃してください。清掃が終わったら、撮影・再生して上記の症状が消えていることを確認してください。

M-DVSCL を長時間繰り返し再生すると、ヘッド摩耗の原因になりますのでご注意ください。（ビデオカメラで M-DVSCL を再生すると、10 秒後に自動的に再生を停止します）

詳しくは M-DVSCL の取扱説明書をご覧ください。

●**M-DVSCL でクリーニングしても鮮明な映像が映らないときは**
ヘッドが摩耗しています。または、テープに傷があります。お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口（☞170 ページ）にご相談ください。

●**定期点検を行ってください**
ヘッドやテープを動かす機械部品は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりします。ビデオカメラの性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、およそ使用時間 1000 時間を目安に定期点検に出されることをおすすめします。定期点検は、お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口（☞170 ページ）にご相談ください。

「ツユが付きました」と表示されたら

よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップのまわりに徐々に水滴が付着します。この状態を「つゆつき」と言います。ビデオカメラでつゆつきが発生すると、心臓部のヘッドドラムのまわりに水滴が付着し、テープが貼り付いてしまいます。

■ つゆつきはこんなときに起こります

- ビデオカメラを寒いところから急に暖かいところに移動したとき
- 湿気の多い場所でビデオカメラを使用しているとき
- 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷風がビデオカメラに直接当たるとき

■ つゆつきが発生すると

- 液晶画面に「ツユが付きました」と「しばらくお待ち下さい」が交互に表示され、ビデオカメラが停止します。カセットの出し入れはしないでください。
- 通常、つゆつきは徐々に発生するため、10～15分間はメッセージが表示されないことがあります。メッセージが表示される前でもレンズや保護ガラスに水滴が付いているときはヘッドドラムにも水滴が付着している可能性がありますので、カセットカバーを開けないでください。
- つゆつきはレンズにも発生します。レンズに水滴が付着しているときれいに撮影できませんので、つゆつきがなくなってから撮影してください。

■ つゆつき後再び使い始めるときは

- 電源を切って1時間以上待ちます。その後、電源を入れて数分待ち、メッセージが消えてからご使用ください。メッセージが消えないときは点検が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 寒冷地帯では露が凍結し、霜になることがあります。寒冷地帯ではメッセージが消えるまでに、さらに時間がかかることがあります。

■ つゆつきのトラブルを防ぐには

- 寒いところから暖かいところ、冷風の効いたところから温度、湿度の高い場所に移動したときは、ビデオカメラとテープをしばらく放置して、使用する環境になじませてからご使用ください。
- 例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入るときは、ビニール袋などにビデオカメラを入れて空気を抜き、密封してください。しばらくその状態で室温になじませてからご使用ください。

安全上のご注意

⚠警告

■持ち運ぶときには、液晶画面やファインダーを持たない

・液晶画面、またはファインダーを持って運ぶと、故障したり落として、けがの原因となります。

■不安定な場所に置かない

・ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
・落ちたり、倒れたりして、故障やけがの原因となります。

■指定の電源電圧以外で使用しない

・ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
・火災や感電の原因となります。

■ AC アダプターのコードを傷つけない

・火災や感電の原因となります。
・次のようなことをすると、傷つく原因となります。ご注意ください。
加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、
熱器具に近づける。

■内部に物を入れない

・カセットの出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどを入れない でください。
・火災や感電の原因となります。
・特にお子様にご注意ください。

■内部の部品に触らない

・カセットの出し入れ口から見える部品に触らないでください。
・感電や故障の原因となります。

■機器を接続するときは、電源を切る

・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因となります。

■分解や改造はしない

・火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による点検、整備、修理は危険です。絶対おやめください。
・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

■自動車などの運転中に使用しない

・運転をしながら、撮影、再生をすることは絶対におやめください。
・交通事故の原因になります。

⚠警告

■レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けない

・レンズやファインダーを太陽に向けたまま放置しておくと、集光により内部部品が破損して発熱し、火災や故障の原因となります。

■ぬらさない

・火災や感電の原因となります。
・風呂場では使用しないでください。
・雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは、ご注意ください。
・水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧水、薬品など）は、こぼれたりしますので、機器の近くに置かないでください。

■雷が鳴り出したら、電源プラグにはふれない

・感電の原因となります。

■電源プラグが不完全な接続状態で使用しない

・接触不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
・最後までしっかりと接続してください。

■電源プラグにほこりや金属物を付着させせない

・ほこりや金属物を伝わって電気が流れ、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
・ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜き、取り除いてください。

■上に乗らない

・倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

⚠注意

■AC アダプターのコードの部分を持って抜かない

・コードの部分を持って抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
・AC アダプター本体を持って抜いてください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因となることがあります。

■次のような場所には置かない

・砂浜などの砂ぼこりのある所
・湿気やほこりの多い所
・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たる所
・熱器具の近くなど
・真夏の車内など高温になる所
・直射日光の強い所
火災や感電の原因となることがあります。

■上に重い物を置かない

・バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■カセットテープの出し入れ口に手を入れない

・手をはさまれてけがをする原因となります。
・特にお子様にご注意ください。

■本体に衝撃を与えない

・けがをするおそれがあります。また、本機が故障する原因となります。

■指定以外のアクセサリーを使わない

・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
・本機に指定されたものか確かめ､アクセサリーの取扱説明書もよくお読みください。

⚠注意

■照明用ライトなどを使うときはライト部に顔、素手、髪の毛などを近づけない

・高温のため、やけどや髪の毛が燃える原因となります。

■本機やアクセサリーなどを布などでおおった状態で使用しない

・熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。

■コード類は正しく配置する

・ACアダプターのコードや接続用コードなどは、足にひっかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
・十分注意して接続、配置してください。

■長期間使用しないときはバッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・電源が「切」でも本機に電気が流れていますので、安全のためにお守りください。

■別売の三脚を不安定な状態で使用しない

・足などの上に倒れる、けがをする原因となります。また、本機が故障する原因となります。
・足などを引っかけないようにご注意ください。強風にもご注意ください。

■移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

・接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
・カセットテープも取り出しておいてください。

■バッテリーやショルダーストラップは正しく取り付ける

・正しく取り付けられていないと、落下によりけがや故障の原因となることがあります。

■お手入れするときは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・電源が「切」でも機器に電源が流れていますので感電の原因となることがあります。

⚠注意

■ 5 年に一度は内部の点検を販売店に依頼する

・内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないで使用し続けると、火災や感電の原因となることがあります。
・湿気の多くなる梅雨期の前に点検すると、より効果的です。
・費用については、販売店にご相談ください。

■強い電波や磁気の発生する所、または雷が近いときは使用しない

・故障の原因となることがあります。
・テレビの上や近くでは使用しないでください。
・ACアダプターを使用しているときは、なるべく本機から遠ざけてご使用ください。

■飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

・本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与える原因となります。

ACアダプター、バッテリーや乾電池について

⚠危険

■ AC アダプターを指定の電源電圧以外で使用しない

・火災や感電の原因となります。

■ AC アダプターは指定以外のビデオカメラには使わない

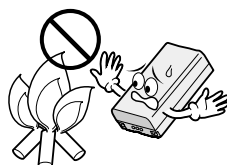
・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
・指定されたものか確かめ、取扱説明書もよくお読みください。

■ AC アダプターを分解や改造はしない

・火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による点検・整備・修理は危険です。絶対におやめください。
・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

他

■バッテリーは絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、加熱、火中投入などをしない

・液漏れ、発熱、破裂、発火し、火災やけがの原因となります。

ACアダプター、バッテリーや乾電池について

⚠危険

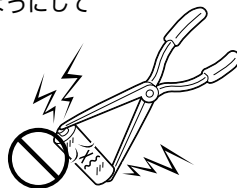
■高温の場所（60℃以上）に置かない

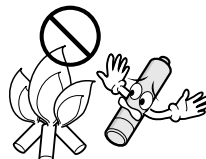
・発熱、破裂、発火の原因となります。

■バッテリーの端子部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

・ショートして発熱し、火災やけがの原因となります。
・持ち運びの際にはキャップを取りつけて､金属物と端子が接触しないようにしてください。

■乾電池の端子部（⊕と⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

・液漏れ、発熱の原因となります。
・持ち運びの際にはビニール袋などに入れ､金属物と端子が接触しないようにしてください。

■乾電池は絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、充電、加熱、火中投入などをしない

・液漏れ、破裂などの原因となります。

ACアダプター、バッテリーや乾電池について

⚠警告

■指定以外の乾電池は使わない、また液漏れを起こしたバッテリーや乾電池を使わない

・液漏れを起こした電池はショートによる発熱で、さわるとやけどをする原因となります。
・電池を入れる前に品番をよく確かめてください。
・電池の液が漏れたときは、電池取り付け部の液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
・電池の液が身体や衣服についたときには、水でよく洗い流してください。
万一、目などに液が入った場合はきれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。

■乾電池は幼児の手の届かない所に置く

・万一、誤って飲み込んだときは、ただちに医師と相談してください。

■濡れたバッテリーは使わない

・故障、感電、発熱、発火の原因となります。

⚠注意

■乾電池を入れるときは、極性表示（⊕と⊖）の向きに注意する

・機器の指示通りに乾電池を入れてください。間違えると電池の破壊、液漏れにより、火災やけが、周囲を汚す原因になることがあります。

■通電中のACアダプターや充電中のバッテリーに長時間触れない

・温度が上がり、長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

他

使用上のご注意

ビデオカメラについて

■ **本機はDV方式のデジタルビデオカメラです。**

従来式のビデオ、およびDV方式以外のデジタルビデオとは互換性がありません

■ **電源（バッテリーやACアダプター）をはずすときは、必ず電源が「切」になっていることを確認してください。**

・ビデオカメラの動作中に電源を外すと、テープを傷めたり誤動作の原因になります。

■ **長時間使用しないときは電源ダイヤルを「切」にしてください。**

・長時間電源を入れたままにしておくと、ビデオカメラの表面が温かくなります。長時間使用しないときは電源を「切」にしてください。

■ **ビデオカメラを保管するときはカセットテープを出し、電源を切り、バッテリーをはずしてください。**

・機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて動作を点検してください。

液晶画面について

■ **液晶画面の表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。**

・傷がついたり割れたりして故障の原因となることがあります。

■ **ファインダーや液晶画面に小さな光る点や黒い点が出ることがあります。**

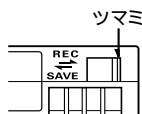
・ファインダーや液晶画面には99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の小さな光る点（赤、青、緑）や黒い点が出ることがあります。（故障ではありません。）
　これらはテープに記録されません。

カセットテープおよびメモリーカードについて

■ 本機はDV方式のデジタルビデオカメラです。またデジタルスチルカメラとしても使用できます。

Mini DV マークの付いたデジタルビデオカセットテープをご使用ください。
MultiMediaCard マークまたは SD マークの付いたメモリーカード（マルチメディアカードまたは SD メモリーカード）をご使用ください。

■ 大切な録画を消してしまわないように注意してください。

・保存しておきたい録画済みテープは、カセット背面にあるツマミを「SAVE」の矢印方向に引いてください（ツマミを「REC」の方向に引くと、再び録画できます）。

■ 事前に試し撮りをしてください。

・大切な録画をするときは、事前に試し撮りを行い、正常に録画、録音されていることをご確認ください。

■ 内容の補償についてはご容赦ください。

・万一、ビデオカメラ、カセットおよびメモリーカード等の不具合により正常に録画、録音や再生ができなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 権利者に無断で使用できません。

・あなたがビデオカメラで録画、録音したビデオは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■ 撮影を制限している場所があります。

・鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。

■ モザイク状のノイズが出る場合があります。

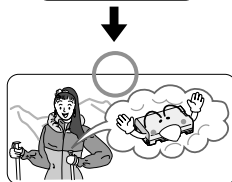
・LP モードで録画されたテープは、他の LP モードのついたデジタルビデオで再生した場合、モザイク状のノイズが出る場合があります。また、LP モードのないデジタルビデオでは正常に再生できません。
・LP モードでは、SP モードに比べ、音切れやノイズが出やすくなります。大切な撮影には SP モードをご利用ください。

■ カセットテープおよびメモリーカードは湿気が少なく風通しのよい、カビの発生しない場所に保存してください。

■ メモリーカードは精密機器です。曲げたり、落としたり、強い力、衝撃、振動を与えないでください。

バッテリーについて

■ リチウムイオンバッテリーの特性

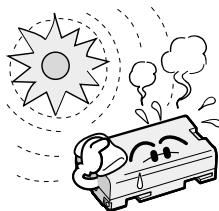
・リチウムイオンバッテリーは小型で高容量のバッテリーです。しかし、冬場の屋外などの低温（10℃以下）でバッテリーが冷えている場合、バッテリーの使用時間が短くなる特性があり、動作しないことがあります。このような時は、バッテリーをポケットに入れるなどして温かくし、撮影前にビデオカメラに取り付けてください。バッテリー自体が冷えていなければ、ビデオカメラの動作上問題ありません（カイロなどをご使用になっている場合は、直接カイロがバッテリーに触れないようにご注意ください）。

■ リチウムイオンバッテリーの保存

・充電された状態で長期間保存すると特性が劣化することがあります。
・しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。

<残りの容量を使い切るには>

① カセットテープを入れずに電源を入れる。

② ビデオカメラの電源が自動的に切れたらバッテリーを取り出す

・長期間保存する場合は、半年に一回程度充電した後、使い切ってから保存してください。
・使用しないときは必ずバッテリーをビデオカメラから取りはずしてください。付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、過放電になり使用できなくなる恐れがあります。
・涼しい所で保存してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した所をおすすめします。暑い所や極端に寒い所は避けてください。
・ご使用にならないときはバッテリーキャップを取り付けて保存してください。

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

時計用電池について

・日時を記憶するために電池が内蔵されています。電池の容量がなくなると、バッテリーやACアダプターの電源をはずしたとき日時情報が失われます。電池の交換は最寄りの「ビクターサービス窓口」にご相談ください。（☞170ページ）日時の合わせ方については、☞149ページをご覧ください（日時を合わせなくても、ビデオカメラで撮影をすることはできます）。

日常のお手入れ

本体の汚れを取る

バッテリーやACアダプターをはずして電源を切ってから、次のようにお手入れしてください。

・汚れを乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。

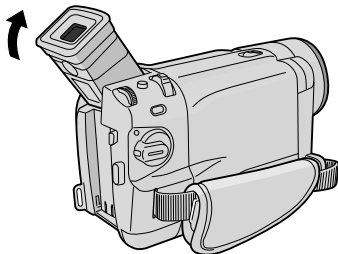
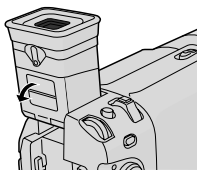
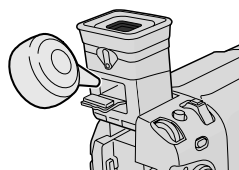
・ひどい汚れは水で薄めた中性洗剤に布を浸して固く絞ってから汚れを拭き、乾いた布で水分を拭き取ってください。

●ベンジンやシンナーは使用しないでください
ボディの損傷や故障の原因になります。
●化学ぞうきんや洗剤をご使用になるときはご使用になる製品の注意書きに従ってください。

レンズや液晶画面のゴミ・汚れを取る

市販のレンズブロワーでほこりを落とし、また市販のレンズクリーニングペーパー等で汚れを落としてください。汚れたまま放置しておくと、かびなどが発生することがあります。

ファインダー内部のゴミを取る

ファインダーの内部にゴミなどが入ったときは、ファインダー底面のフタを開け、レンズブロワーでゴミ、汚れを取ってください。
終わったらファインダー底面のフタを確実に閉め、ファインダーをもとに戻します。

他

海外でお使いになるときは

付属の AC アダプターは海外でも使用可能です。バッテリーをビデオカメラに取り付けて充電したりコンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なります。訪問国のコンセントに合った変換プラグをご用意ください。詳細は旅行代理店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

コンセントの形状と使用する変換プラグ

現地のテレビで再生する

NTSC 方式の映像、音声入力端子付きテレビが必要です。NTSC 方式を採用している国、および地域は以下の通りです。

- アメリカ合衆国
- プエルトリコ
- バルバドス
- キューバ
- フィリピン
- チリ
- コロンビア
- 台湾
- バミューダ
- バハマ
- カナダ
- 米領サモア
- 韓国
- コスタリカ
- メキシコ
- ニカラグア
- パナマ
- エルサルバドル
- ペルー
- グアム
- グァテマラ
- ミクロネシア
- スリナム
- ハイチ
- エクアドル
- ベネズエラ
- ミャンマー
- ボリビア
- ホンジュラス
- ドミニカ
- トリニダード・トバコ

●再生できるテープは

日本と同じ NTSC 方式で撮影したミニ DV テープが再生できます。

●ビデオカメラが海外で故障したときは

- ☞170ページ「ビクターサービス窓口案内」の「海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口」にご相談ください。日本語での対応ができない窓口もあります。海外では日本の保証書は適用されません。
- その他の地域に関しては、日本にお持ち帰りになった後、お買い上げ販売店にご相談ください。

保証とアフターサービス

保証書（別途添付しています）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みになってから大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、デジタルビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」（☞170ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼される場合（持込修理）

152〜156ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
万一本機およびデジタルビデオカセットなどの不具合により、正常に撮影や再生できなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	デジタルビデオカメラ
型　　名	GR-DV500K
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	
お 名 前	
電話番号	（　　）　ー

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

愛情点検

● 長年ご使用のデジタルビデオカメラの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●再生しても映像が出ない。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物が入った。 ●その他の異常な故障がある。

ご使用を中　止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

他

ビクターサービス窓口案内

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	085-0005	釧路市松浦町3-3
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101号
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	宇都宮S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	さいたま市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市柱曙3-10-12
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

・所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0102

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		近　畿		
滋　賀	滋　賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京　都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京　都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31番地の1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈　良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈　良S.C.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大　阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺　S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田　辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵　庫 中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神　戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫　路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		中　国		
岡　山	岡　山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広　島	広　島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福　山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山　口	山　口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳　山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下　関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
		四　国		
香　川	高　松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳　島	徳　島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高　知	高　知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛　媛	松　山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
		九　州・沖　縄		
福　岡 佐　賀	福　岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区片野2-15-12
長　崎	長　崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大　分	大　分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊　本	熊　本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮　崎	宮　崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延　岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖　縄	沖　縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
		山　陰		
島　根	山陰ビクター販売(株) サービスセンター (松江・米子担当)	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1丁目16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥　取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

●海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口

カナダ　JVC CANADA INC.
・トロント　〔416-293-1311〕
21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario M1X 1A7

アメリカ　JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA
・ロサンゼルス　〔714-229-8011〕
5665 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024
・ニュージャージー　〔973-396-1000〕
10 New Maple Avenue, Pine Brook, NJ 07058-9641
・ホノルル　〔808-833-5828〕
2969 Mapunapuna Place, SUITE 105, Honolulu, HI 96819-2040

イギリス　JVC（U.K.）LIMITED
・ロンドン　〔0208-450-3282〕
JVC BUSINESS PARK, 14 Priestley Way, London NW2 7BA

フランス　JVC FRANCE S.A.
・パリ　〔08-25-800-811〕
1, Avenue, Eiffel 78422 Carrieres Sur Seine Cedex

シンガポール　JVC ASIA PTE. LTD.
・シンガポール　〔255-8155〕
31Kaki Bukit Roard 3, #06-18 Techlink, Singapore 417818

(注)・その他の地域に関しては、おでかけの前にお客様ご相談センターにご相談ください。・海外では日本の保証書は適用されません。
・日本語での対応はできないサービスセンターもございます。

●ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

窓口	TEL	〒	所在地
お客様ご相談センター	(03)5684-9311	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7　ビクター本郷ビル
	(06)6765-4161	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16　大阪ビクタービル

他

サービスネットワークＢＳ　9001

主な仕様

[ビデオカメラ]

一般仕様

項　　目	仕　　様
電源	DC11.0 V（ACアダプター使用時）、DC 7.2 V（バッテリー使用時）
消費電力	4.5 W（ファインダー使用時）、5.7 W（液晶画面使用時）、 7.3 W（ファインダーとビデオライト使用時）、 8.5 W（液晶画面とビデオライト使用時）
外形寸法	79 mm × 89 mm × 184 mm（幅×高さ×奥行き）
質量	本体質量　約 580 g 撮影時質量　約 720 g（バッテリーBN-V416、カセットM-DV30ME含む）
許容動作温度	0 °C ～ 40 °C
許容相対湿度	35 % ～ 80 %
許容保存温度	–20 °C ～ 50 °C

カメラ部仕様

項　　目	仕　　様
撮像素子	1/3.8型 102万画素CCD （撮像エリア　動画:89万画素（ワイドエリアモード時）、71～62万画素（通常時）※、静止画:96万画素）
レンズ	F1.8、f＝3.8 mm ～ 38 mm （35mmカメラ換算:35.6mm～356mm（ワイドエリアモード時）、39.7mm～428mm（通常時）※）
フィルター径	37 mm（ネジピッチ 0.75 mm）
ズーム倍率	光学10倍、最大100倍（デジタル使用）
最低照度	10ルクス（ナイトアイ使用時：約1ルクス）

※ワイドエリア対応メガピクセル CCD の採用により、通常動画撮影時には、ズーム倍率に応じて有効画素エリアおよび画素数が可変します。それにより、ズーム比としては、光学約 10.8 倍相当のズーム効果を得ることができます。

デジタルビデオカメラ部仕様

項　　目	仕　　様
録画／再生方式	DV方式（SD仕様） 映像：デジタルコンポーネント記録 音声：PCMデジタル記録、32 kHz 4チャンネル（12BIT）、 48 kHz 2チャンネル（16BIT）、44.1kHz（再生のみ）
信号方式	NTSC日米標準信号方式
使用カセット	ミニDVカセット
録画／再生時間	SPモード：80分、LPモード：120分（DVM80テープ使用時）
早送り／巻き戻し時間	約3分（DVM60テープ使用時）

デジタルスチルカメラ部仕様

項　　目	仕　　様
記憶メディア	マルチメディアカード／SDメモリーカード
圧縮方式	JPEG準拠
画像サイズ	640×480ドット／1024×768ドット／1280×960ドット
画質	2モード（ファイン/スタンダード）
撮影可能枚数	☞59ページ

液晶画面／ファインダー部仕様

項　　目	仕　　様
液晶画面	3.5型、11.2万画素　カラー液晶
ファインダー	0.44型、11.3万画素　カラー液晶

端子部仕様

項　　目	仕　　様
DV入力／出力端子	4ピン（i.LINK／IEEE1394準拠）
S入力／出力端子 （S映像入力／出力端子）	アナログ入力（Y:0.8 V (p-p)－1.2 V (p-p)、75Ω C:0.2 V (p-p)－0.4 V (p-p)、75Ω） アナログ出力（Y:1.0 V (p-p)、75 Ω　C:0.29 V (p-p)、75 Ω）
AV入力／出力端子 （映像／音声入力／出力端子）	φ3.5 mmミニジャック 映像：アナログ入力（0.8 V (p-p)－1.2 V (p-p)、75 Ω） アナログ出力（1.0 V (p-p)、75 Ω） 音声：ステレオ／アナログ入力（300 mVrms、50 kΩ） ステレオ／アナログ出力（300 mVrms、1 kΩ）
USB端子	5 ピン
編集端子	φ3.5 mmミニジャック

[AC アダプター]

一般仕様

項　　目	仕　　様
定格入力	AC 100 V ～ 240 V、50 Hz/60 Hz
入力容量	25 VA（100 V）、34 VA（240 V）
定格出力	DC 11 V 、1 A
許容動作温度	0℃～40℃（充電時は10℃～35℃）
外形寸法	59 mm × 31 mm × 84 mm（幅×高さ×奥行き）
質量	約130 g

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

● 本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書に従って正しく取り扱いをしてください。

他

メニュー一覧

撮影時

電源ダイヤルを「M」に設定し、メニューダイヤルを押すと表示されます。

■は初期値

アイコン	メニュー	
	場面切替	
	フェーダー：白	ワイプ：スライド
	フェーダー：黒	ワイプ：ドア
	フェーダー：白黒	ワイプ：スクロール
	ワイプ：コーナー	ワイプ：シャッター
	ワイプ：ウィンドウ	**切**
	プログラムAE	
	1/60　シャッター1/60	B/W 白黒
	1/100 シャッター1/100	映画効果
	スポーツ	ストロボ
	スノー	**切**
	スポットライト	
	夜景	
	セピア	
	明るさ補正	
	オート	
	マニュアル	－6 ～ ＋6
	白バランス	
	オート	くもり
	ワンタッチ	ハロゲン
	はれ	

アイコン	メニュー	サブメニュー			
A	**フルオート**				
	録画モード	**SP**	LP		
	音声モード	**12BIT**	16BIT		
	ズーム	10倍	**40倍**	100倍	
	記念写真モード	**フル**	ピンナップ	フレーム	
	感度アップ	切	AGC	**オート**	
M	**マニュアル**				
	手ぶれ補正	切	**入**		
	テレマクロ	**切**	入		
	ワイド効果	**切**	シネマ	ワイド	ワイドエリア
	ボイスポジション	**切**	入		
	システム				
	ブザー	切	ブザー	**メロディー**	
	タリー	切	**入**		
	デモモード	切	**入**		
	照明	切	**入**		
	プリセット	**キャンセル**	実行		

■ は初期値

アイコン	メニュー	サブメニュー		
(日時アイコン)	**日時／表示**			
	画面表示切替	モニター	**モニター/TV**	
	日時表示	切	**オート**	入
	タイムコード	**切**	入	
	年月日時計合わせ	現在の年月日、時刻を設定する		
(カメラアイコン)	**静止画撮影**			
	画質設定	**ファイン**	スタンダード	
	画像サイズ	640×480	**1024×768**	1280×960
	記録選択	**➔(テープ)**	➔(テープ) / ➔M	

再生時

電源ダイヤルを「再生」に設定し、メニューダイヤルを押すと表示されます。

■ は初期値

アイコン	メニュー	サブメニュー		
(テープアイコン)	**ビデオ再生モード**			
	音声切替	**ステレオ**	音声L	音声R
	12BIT音声	ミックス	**音声1**	音声2
	シンクロ補正	－1.3～ **±0.0**	～＋1.3	
	録画モード	**SP**	LP	
	(テープ) ➔M コピー	**切**	入	
	アナログ入力	**切**	入	
(システムアイコン)	**システム**			
	ブザー	切	ブザー	**メロディー**
	タリー	切	**入**	
	デモモード	切	**入**	
	照明	切	**入**	
	プリセット	**キャンセル**	実行	
(日時アイコン)	**日時／表示**			
	画面表示切替	モニター	**モニター/TV**	
	日時表示	切	**オート**	入
	タイムコード	**切**	入	

他

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

アルファベット

他

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング**	本製品についての技術的なお問い合わせは **DVご相談窓口**
170～171ページをご覧ください。	**電話：(045)450-2770**

お買い物情報や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

東京	大阪
東京 電話：(03) 5684-9311 **Fax：(03) 5684-9317** 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル	**大阪 電話：(06) 6765-4161** **Fax：(06) 6765-4891** 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

ホームAVネットワークビジネスユニット
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地

0102HOV＊BS＊VP